

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

PCT

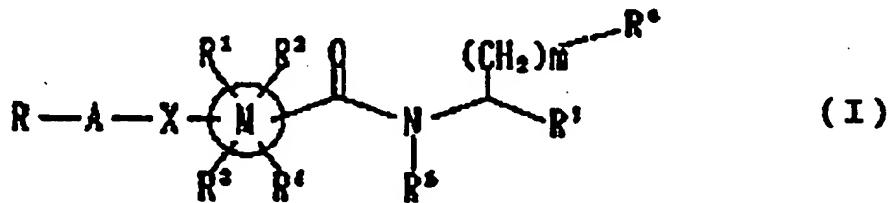
世界知的所有権機関
国際事務局
特許協力条約に基づいて公開された国際出願



(51) 国際特許分類6 C07C 235/60, 279/08, C07D 211/34, 241/04, 295/08, 295/10, 263/58, 271/06, A61K 31/215, 31/445, 31/495	A1	(11) 国際公開番号 WO97/08133
		(43) 国際公開日 1997年3月6日(06.03.97)
(21) 国際出願番号 PCT/JP96/02305		
(22) 国際出願日 1996年8月15日(15.08.96)		
(30) 優先権データ 特願平7/213855 1995年8月22日(22.08.95) JP		(81) 指定国 AL, AM, AT, AU, AZ, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, HU, IL, IS, KE, KG, KR, KZ, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, ARIPO特許 (KE, LS, MW, SD, SZ, UG), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), 欧州特許 (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 日本たばこ産業株式会社(JAPAN TOBACCO INC.)(JP/JP) 〒105 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 Tokyo, (JP)		添付公開書類 国際調査報告書 補正書
(72) 発明者: および		
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) 春田純一(HARUTA, Junichi)(JP/JP)		
佐久間和彦(SAKUMA, Kazuhiko)(JP/JP)		
渡部良広(WATANABE, Yoshihiro)(JP/JP)		
〒569 大阪府高槻市紫町1番1号		
日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所内 Osaka, (JP)		
(74) 代理人 弁理士 高島 一(TAKASHIMA, Hajime)		
〒541 大阪府大阪市中央区平野町三丁目3番9号 (湯木ビル) Osaka, (JP)		

(54) Title: AMIDE COMPOUNDS AND USE OF THE SAME

(54) 発明の名称 アミド化合物及びその用途

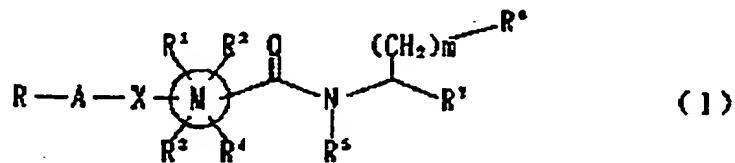


(57) Abstract

Amide compounds represented by general formula (I), pharmaceutically acceptable acid-addition salts thereof and a drug comprising the same as the active ingredient, wherein R represents amino, etc.; A represents alkylene, etc.; X represents O, S, etc.; M represents arylene, etc.; R¹, R², R³ and R⁴ represent each H, hydroxy, etc.; R⁵ represents H, alkyl, etc.; m is an integer of from 0 to 6; R⁶ represents optionally substituted aryl, etc.; and R⁷ represents H, optionally substituted alkyl, etc. The amide compounds exhibit excellent inhibitory effects on cytokines (IL-8, IL-1, IL-6, TNF- ζ g(a), GM-CSF, etc.) relating directly or indirectly to inflammation and are useful in the prevention or treatment of arthritis caused by rheumatic diseases, gout, etc.

(57) 要約

一般式 (I) :



[Rはアミノ基等；Aはアルキレン基等；XはO、S等；Mはアリーレン基等；R¹、R²、R³、R⁴はH、水酸基等；R⁵はH、アルキル基等；mは0～6の整数；R⁶は置換されていてもよいアリール基等；R⁷はH、置換されていてもよいアルキル基等]で表されるアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩及びこれを有効成分とする医薬。該アミド化合物は、IL-8、IL-1、IL-6、TNF- α 、GM-CSF等の炎症に直接的又は間接的に関与するサイトカインに対して優れた抑制作用を示し、リウマチ性疾患、痛風による関節炎等の予防又は治療に有用である。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出願をパンフレット第一頁にPCT加盟国を同定するために使用されるコード

AL	アルベニア	DE	ドイツ	LI	リヒテンシュタイン	PL	ポーランド
AM	アルメニア	DK	デンマーク	LC	ゼントルシア	PT	ポルトガル
AT	オーストリア	ES	エストニア	LK	スリランカ	RO	ルーマニア
AU	オーストラリア	FR	スペイン	LR	リベリア	RU	ロシア連邦
AZ	アゼルバイジャン	FR	フランス	LS	レソト	SD	スードアン
BA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	GB	ガボン	LT	リトアニア	SG	スウェーデン
BB	ベルベドス	GB	ギギリス	LU	ルクセンブルグ	SI	シンガポール
BE	ベルギー	GE	グルジア	LV	ラトヴィア	SK	クロアチア
BF	ブルキナ・ファソ	GN	ギニア	MC	モナコ	SN	セネガル
BG	ブルガリア	GR	ギリシャ	MD	モルドバ共和国	SZ	スウェーデン
BJ	ベナン	HU	ハンガリー	MG	マダガスカル	TD	チヤンド
BR	ブラジル	IE	アイルランド	MK	マケドニア旧ユーゴスラ	TG	トーゴ
BY	ベラルーシ	IL	イスラエル	ML	マリ	TM	タジキスタン
CA	カナダ	IS	アイスランド	MN	モンゴル	TR	トルクメニスタン
CF	中央アフリカ共和国	IT	イタリア	MR	モーリタニア	TT	トリニダード・トバゴ
CG	コンゴ	JP	日本	MW	マラウイ	UA	ウクライナ
CH	スイス	KE	ケニア	MX	メキシコ	UG	ウガンダ
CI	コート・ジボアール	KG	キルギスタン	NE	ニジェール	US	アメリカ合衆国
CM	カメルーン	KP	朝鮮民主主義人民共和国	NL	オランダ	UZ	ウズベキスタン
CN	中国	KR	大韓民国	NO	ノールウェー	VN	ヴィエトナム
CU	キューバ	KZ	カザフスタン	NZ	ニュージーランド		
CZ	チェコ共和国						

明細書

アミド化合物及びその用途

「技術分野」

本発明は、インターロイキン-8 (IL-8)、インターロイキン-1 (IL-1)、インターロイキン-6 (IL-6)、腫瘍壞死因子 (TNF- α)、GM-CSF 等の炎症に直接的又は間接的に関与するサイトカインに対して優れた抑制作用を示す新規化合物、及び該化合物を含んでなる医薬、例えば抗炎症剤に関する。

「背景技術」

炎症とは異物、病原菌等の排除や、損傷を受けた組織の修復を目的として起こる生体の防御反応の一つである。炎症刺激を受けると、まず微小循環系の反応、特に血管の透過性の亢進が起こる。この血管の透過性の亢進には、ケミカルメディエーターやサイトカインが重要な役割を担っている。それに引き続いて、好中球の遊走、浸潤、活性化が起こり、炎症局所で異物、病原菌の貪食やケミカルメディエーターの放出により炎症反応が惹起される。好中球に引き続き、マクロファージの遊走、局所への集積が起こり、活性化されたマクロファージは、好中球と同様に異物、病原菌、組織の崩壊産物などを貪食し、種々のサイトカインを産生する。その後、病原菌や異物、損傷を受けた組織が除去され、組織が再構築されると炎症は終息を迎える。以上は正常な反応としての炎症であるが、アレルギーや自己免疫疾患（慢性関節リウマチや全身性エリテマトーデス等）では、異常な免疫反応の結果、炎症が遷延したり、強い全身症状の出現を伴う。

多くのサイトカインが炎症反応の各局所で重要な役割を担っているが、例えば炎症局所への白血球の浸潤には、白血球の遊走、血管内皮細胞との接着、血管壁の通過が必要であるが、この現象には IL-1、TNF- α 、IL-8 等が関与しており、IL-1、TNF- α や IL-8 で好中球が活性化され、リソゾーム酵素の放出や活性酸素、プロスタグランジンの産生等が起こり、炎症が惹起される。IL-1、TNF- α 、IL-6 等は循環中に移行すると、肝臓に働いて急

性期炎症蛋白 (C R P、S A A 等) の産生を誘導したり、骨髄に作用して、好中球や血小板の増加を引き起す。慢性関節リウマチ (R A) 等結合組織の炎症では、IL-1、TNF- α が線維芽細胞や破骨細胞を活性化し、プロスタグランジンやコラゲナーゼの産生を誘導するといわれている (Mebio, 11 (2), 18-23, 1994)。

このように、IL-1 や TNF- α は炎症反応の各局面で中心的役割を担っている。

ところで IL-8 は、末梢血単球、組織マクロファージのみならず、ナチュラルキラー細胞として知られる大顆粒リンパ球 (large granular lymphocytes, L GL)、T リンパ球や種々の組織・細胞 (線維芽細胞、血管内皮細胞、皮膚角化細胞等) によっても産生される。その際、産生刺激物質としては、L P S、P H A、P S K (Coriolus versicolor 由来蛋白結合性多糖体、クレスチン) 等のマイトーゲン・レクチンや、IL-1、TNF- α 等のサイトカインが挙げられる。

これらの細胞の多くは、恒常的にはほとんど IL-8 を産生しないが、上記のごとき IL-8 産生刺激物質によって刺激されると 24 時間以内に、未刺激時に比べ 100 倍を越える IL-8 を産生する。例えば、ヒト末梢血単核球を P S K で刺激すると、1 時間以内に IL-8 mRNA が誘導され、3 時間後に IL-8 mRNA 量はピークに達し、その後、漸時減少する。IL-8 mRNA 誘導に伴い、培地中に好中球遊走能を有する IL-8 蛋白が刺激 3 時間後に検出され、漸時増加する。IL-1、TNF- α 刺激による IL-8 mRNA 誘導の時間経過も同様である。IL-8 は、活性化マクロファージ等が産生する蛋白分解酵素に対して著しく安定である。

更に、IL-8 の生物活性について述べるなら、IL-8 は *in vitro* において、好中球に対して走化性亢進作用、脱顆粒誘導作用、レスピラトリーバースト (respiratory burst) 誘導作用、リソゾーム酵素放出誘導作用、未刺激若しくは刺激血管内皮細胞への接着誘導作用、血管外遊走の亢進作用、接着因子発現の増強作用、ロイコトリエン B₄ - H E T H 放出誘導作用等の作用を有し、T 細胞に対し

ては走化性亢進作用、B細胞に対してはIL-4によるIgE産生抑制作用、好塩基球に対しては走化性亢進作用、ヒスタミン・ロイコトリエン放出誘導作用等を有している。また、in vivoにおいては、好中球・リンパ球の浸潤誘導作用の他、好中球增多症誘導作用、血管透過性の増強作用、好中球依存性関節滑膜破壊作用を有している（臨床免疫、25（8）、1013-1020、1993）。

上記のとおり、IL-8は好中球に対して様々な作用を有しているが、好中球以外にもTリンパ球、好塩基球、単球、角化細胞、メラノーマ細胞等にも作用することがわかってきており、その生物活性、標的細胞は他のサイトカインと同様、実に多様であることがわかってきてている。

一方、in vivoにおいてIL-8は、皮内注射により好中球、リンパ球の注射部位への浸潤をもたらし、また局所リンパ節へのTリンパ球のホーミング（Homing）を増加させることが知られている。静脈若しくは腹腔注射により、末梢血中の好中球数を著しく増加させ、大量投与により肺胞等の破壊を起こすことも知られている。また、IL-8のラビット関節腔内投与により、大量の好中球浸潤を伴う関節滑膜の破壊がみられることが知られている。以上のこととは、IL-8が強い炎症誘発作用をin vivoでも有することを示唆するものである。

上記のとおり、IL-8は好中球走化性亢進作用の他にも様々な作用を有し、更には痛風やリウマチ性の関節炎においてその関節液中にIL-8が検出されていること、乾癬等の皮膚炎の場合においてもその皮膚片からIL-8が検出されていること、或いは喘息の場合においてその末梢血単核球がIL-8様走化性因子を産生していること、また成人呼吸窮迫症候群(adult respiratory distress syndrome, ARDS)の原因の一つと考えられる敗血症においてもその末梢血中にIL-8が検出されている事実からして、IL-8は炎症をはじめとした様々な疾患に関与していることは明らかである。

それ故、このようなIL-1、IL-6、IL-8、TNF- α 等の炎症に関与するサイトカインを抑制する物質が得られるなら、それら物質は慢性関節リウマチ等のリウマチ性疾患、痛風による関節炎、全身性エリトマトーデス、乾癬・

膿疱症・アトピー性皮膚炎等の皮膚疾患、気管支喘息・気管支炎・ARDS・びまん性間質性肺炎等の呼吸器疾患、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、激症肝炎を含む急性・慢性肝炎、急性・慢性糸球体腎炎、腎孟腎炎、ベーチェット病・vogt-小柳・原田病等に伴うぶどう膜炎、地中海熱（多発性漿膜炎）、心筋梗塞等の虚血疾患、敗血症に伴う全身循環不全や多臓器不全等に代表される好中球の浸潤を伴う非感染性、感染性疾患等に対する新しいタイプの治療薬としても極めて有益である。とりわけ新しい作用機序の抗炎症剤としての有効性が期待される。

このような技術背景のもとに、最近、IL-8等の炎症性サイトカイン阻害活性を有する化合物の報告がなされている。例えば、特表平7-503017号公報にはサイトカイン阻害剤として4-(4-フルオロフェニル)-2-(4-メチルチオフェニル)-5-(4-ピリジル)イミダゾール等のイミダゾール誘導体が、特表平7-503018号公報にはサイトカイン阻害剤として1-(4-ピリジル)-2-(4-フルオロフェニル)-4-フェニルイミダゾール等のピリジル置換イミダゾール誘導体が、特開平3-34959号公報にはサイトカイン阻害活性を有するナフタレンメタンアミノ誘導体が開示されている。しかしながら、これら刊行物には本発明化合物を示唆する記載はない。

更に、炎症性疾患等に関与する蛋白分解酵素阻害活性を有する化合物の報告もなされている。例えば、特開平4-330094号公報にはIL-1等の前炎症性変化を誘発するトロンビン等のセリンプロテアーゼ阻害剤としてt-ブチルオキシカルボニル-トリメチルシリル-A1a-Pr0-NH-CH₂[(CH₂)₃N₃]-B-ピナンジオールが開示されている。また、特公平7-53705号公報にはN-(トランス-4-アミノメチルシクロヘキシルカルボニル)-L-フェニルアラニン4-アセチルアニリド等のフェニルアラニン誘導体が開示されている。しかしながら、同公報にはフェニルアラニンの一方にアミノ基を、他方には4-アミノメチル-6員環-カルボニル基を有することを特徴とするものであり、しかも蛋白分解酵素阻害剤に関するものであって、本発明のごとき炎症性サイトカ

イン産生抑制剤に関するものではない。

本発明の目的は、IL-8、IL-1、TNF- α 、IL-6等の炎症性サイトカインの产生及び遊離を抑制する新規な選択的抗炎症剤になり得る化合物を提供することにある。

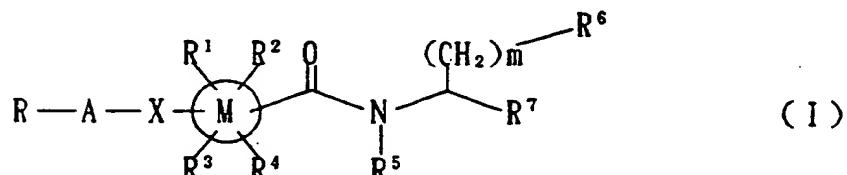
また本発明の目的は、該化合物を含む医薬を提供することにある。

「発明の開示」

本発明者らは、上記目的を達成するために銳意研究を行った結果、本発明を完成するに至った。

即ち、本発明は次に示す通りである。

(1) 一般式 (I) :



式中、RはR₁、R₂で置換されたアルコキシ基；R₃で置換されたアルキルチオ基；R₄で置換されたアルキルアミノ基；置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基；又は水酸基〔ここで、R₅はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）である〕を表し、

Aは置換されていてもよく、かつ鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分歧状のアルキレン基；又は単結合を表し、

Xは酸素原子；硫黄原子； $-NR^8-$ ； $-SO-$ ； $-SO_2-$ ； $-CR^9R^{10}-$ ；
 $-C=C-$ ； $-C\equiv C-$ ； $-CO-$ ； $-COO-$ ； $-OOC-$ ； $-NR^8CO-$ ；
 $-CONR^8-$ ； $-NR^8SO_2-$ ； $-SO_2NR^8-$ ； $-CS-$ ； $-COS-$ ；
 $-O-CO-O-$ ； $-NR^8-COO-$ ； $-OOC-NR^8-$ ；
 $-NH-CO-NH-$ ； $-NH-CS-NH-$ ； $-NH-C(=NH)-NH-$ ；

窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、R⁸は水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、R⁹、R¹⁰は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；又はアラルキル基を示す〕を表し、

Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカブト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は-O-CO-R¹¹〔ここで、R¹¹はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていてもよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す〕を表し、

R⁵は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を表し、

mは0又は1～6から選ばれる整数を表し、

R^6 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい低級アルキル基；置換されていてもよい低級アルコキシ基；置換されていてもよい低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；又は置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基を表し、

R^7 は水素原子；置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y)$ ， R^{12} 〔ここで、Yは酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13}-$ ；又は $-NR^{13}-SO_2-$ (R^{13} は水素原子；アルキル基；アラルキル基；水酸基；アルコキシ基；アリール基；又はアミノ保護基を示す) を、

p は0又は1を、

R^{12} は水素原子；水酸基、アルコキシ基、アルコキシアルコキシ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基はアルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルケニル基；置換されていてもよいアルキニル基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいアラルキル基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す）を表す}で表されるアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩。

(2) 一般式(I)において R 、 A 、 X 、 M 、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 m 、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする(1)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

RはR₁₁；R₁₂で置換されたアルコキシ基；R₁₃で置換されたアルキルチオ基；R₁₄で置換されたアルキルアミノ基；又は低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基〔ここで、R₁₁はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドログニアジノ基、ヒドログニアカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）である〕を示す。

Aは鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基；又は単結合を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR⁸-；-SO-；-SO₂-；-CR⁹R¹⁰-；-C=C-；-C≡C-；-CO-；-COO-；-OOC-；-NR⁸CO-；-CONR⁸-；-NR⁸SO₂-；-SO₂NR⁸-；-CS-；-COS-；-O-CO-O-；-NR⁸-COO-；-OOC-NR⁸-；-NH-CO-NH-；-NH-CS-NH-；-NH-C(=NH)-NH-；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、R⁸は水素原子；低級アルキル基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、R⁹、R¹⁰は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；又はアラルキル基を示す〕を示す。

Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルコキシ基；メルカブト基；低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；低級ア

ルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は
 $-O-CO-R^{11''}$ [ここで、 $R^{11''}$ はアミノ基、低級アルコキシカルボニル基、
 アシルオキシ基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アシル
 基、低級アルコキシ基又はカルボキシル基から選ばれる置換基で置換されていて
 もよい低級アルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていても
 よい）；低級アルコキシ基；低級アルキル基、カルボキシル基又はベンジルオキ
 シカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアリール基；又は置
 換されていてもよいシクロアルキル基を示す] を示す。

R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換され
 ていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を示す。

m は 0 又は 1 ～ 6 から選ばれる整数を示す。

R^6 はアリール基；シクロアルキル基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子
 から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基 [ここで、アリール基、シ
 クロアルキル基及び窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘ
 テロ原子を有する複素環基は、低級アルキル基、ハロゲン原子、水酸基、低級ア
 ルコキシ基、アミノ基、カルボキシル基又は低級アルコキシカルボニル基から選
 ばれる置換基で置換されていてもよい] を示す。

R^7 は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、メルカプト基、低級アルキルチ
 オ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基又はアミノ基から選ばれる
 置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルキル基で置換され
 てもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ
 原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y')$ ， $R^{12''}$ [ここで、 Y' は酸
 素原子；硫黄原子； $-NR^{13''}-$ ；又は $-NR^{13''}-SO_2-$ ($R^{13''}$ は水素原
 子；低級アルキル基；アラルキル基；水酸基；低級アルコキシ基；又はアミノ保
 護基を示す) を、 p は 0 又は 1 を、 $R^{12''}$ は水素原子；水酸基、低級アルコキ
 基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオ
 キシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以

上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロアルキル基；低級アルキル基、ハロゲン原子、アミノ基、カルボキシル基、水酸基又は低級アルコキシ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアリール基；アラルキル基；低級アルキル基、ハロゲン原子、アミノ基、カルボキシル基、水酸基又は低級アルコキシ基から選ばれる置換基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す]を示す。

(3) 一般式(I)においてR、A、X、M、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、m、R⁶又はR⁷から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする(1)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

RはR₁₂；R₁₂で置換されたアルコキシ基；又は低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基（ここで、R₁₂はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基又はカルバモイル基（これらの基は、低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい）である）を示す。

Aは直鎖のアルキレン基；又は単結合を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR^{8..}-；-CR^{9..}R^{10..}-；-COO-；-OOC-；-NR^{8..}CO-；-CONR^{8..}-；-NR^{8..}SO₂-；-SO₂NR^{8..}-；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基（ここで、R^{8..}は水素原子；低級アルキル基；又はアミノ保護基を、R^{9..}、R^{10..}は同一又は異なって、水素原子；又は低級アルキル基を示す）を示す。

Mはアリーレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原

子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルコキシ基；又は $-O-CO-R^{11''}$ 〔ここで、 $R^{11''}$ はアミノ基、アシルオキシ基又はアラルキルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい）；低級アルコキシ基；低級アルキル基で置換されていてもよいアリール基；又はシクロアルキル基を示す〕を示す。

R^5 は水素原子；低級アルキル基；又はアミノ保護基を示す。

m は1を示す。

R^6 はアリール基；又はシクロアルキル基〔ここで、アリール基及びシクロアルキル基は、ハロゲン原子又は水酸基で置換されていてもよい〕を示す。

R^7 は水素原子；水酸基又は低級アルコキシ基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y'')$, $R^{12''}$ 〔ここで、 Y'' は酸素原子；硫黄原子；又は $-NR^{13''}-$ （ $R^{13''}$ は水素原子；低級アルキル基；水酸基；又はアミノ保護基を示す）を、 p は0又は1を、 $R^{12''}$ は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロアルキル基；ハロゲン原子で置換されていてもよいアリール基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す〕を示す。

(4) 一般式(I)において R 、 A 、 X 、 M 、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 m 、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するもので

あることを特徴とする (1)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

Rはアミノ基；アミノ基で置換された低級アルコキシ基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基〔ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい〕を示す。

Aは直鎖のアルキレン基を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NH-；又は-CH₂-を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R^{11'..}〔ここで、R^{11'..}はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す〕を示す。

R⁵は水素原子を示す。

mは1を示す。

R⁶はフェニル基を示す。

R⁷は-COO-R^{12'..}〔ここで、R^{12'..}は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基；アダマンチル基；又はシクロヘキシリデンアミノ基を示す〕を示す。

(5) Mがフェニレン基である (4)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

(6) R⁷が-COO-R^{12'..}〔ここで、R^{12'..}は低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基を示す〕である (4)記載の

アミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

(7) Xが酸素原子又は-CH₂-である(4)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

(8) R⁶がフェニル基であり、かつmが1である(4)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

(9) Rが低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基、低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基である(4)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

(10) R¹、R²、R³、R⁴が同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R¹¹···〔ここで、R¹¹···は低級アルキル基又はフェニル基を示す〕である(4)記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

(11)一般式(I-a)



〔式中、RはR₁；R₂で置換されたアルコキシ基；R₃で置換されたアルキルチオ基；R₄で置換されたアルキルアミノ基；置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基；又は水酸基〔ここで、R₅はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）である〕を表し、

Aは置換されていてもよく、かつ鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基；又は単結合を表し、

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR⁸-；-SO-；-SO₂-；-CR⁹R¹⁰-；-C=C-；-C≡C-；-CO-；-COO-；-OOC-；-NR⁸CO-；-CONR⁸-；-NR⁸SO₂-；-SO₂NR⁸-；-CS-；-COS-；

$-O-CO-O-$; $-NR^8-COO-$; $-OOC-NR^8-$;
 $-NH-CO-NH-$; $-NH-CS-NH-$; $-NH-C(=NH)-NH-$;
 窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2
 値の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基（ここで、 R^8 は水素原子；アル
 キル基；シクロアルキル基；アリール基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、
 R^9 、 R^{10} は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；ア
 リール基；又はアラルキル基を示す）を表し、
 Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子
 から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2値の
 複素環基を表し、
 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；
 水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されてい
 てもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル
 基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換され
 ていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカル
 ボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ [こ
 こで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、
 アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラ
 ルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級ア
 ルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換され
 ていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換
 されていてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよ
 いアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよ
 いアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていて
 もよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す）を表
 す} で表されるカルボン酸化合物。
 (12)一般式 (I-a) においてR、A、X、M、 R^1 、 R^2 、 R^3 又は R^4 から

選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする(11)記載のカルボン酸化合物。

Rはアミノ基；アミノ基で置換された低級アルコキシ基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基〔ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい〕を示す。

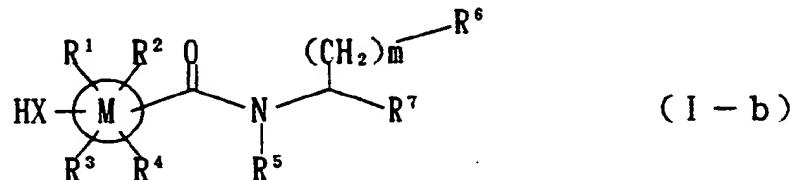
Aは直鎖のアルキレン基を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NH-；又は-CH₂-を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R¹¹〔ここで、R¹¹はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す〕を示す。

(13)一般式 (I-b)



{式中、Xは酸素原子；硫黄原子；-NR⁸-；-SO-；-SO₂-；-CR⁹R¹⁰-；-C=C-；-C≡C-；-CO-；-COO-；-OOC-；-NR⁸CO-；-CONR⁸-；-NR⁸SO₂-；-SO₂NR⁸-；-CS-；-COS-；-O-CO-O-；-NR⁸-COO-；-OOC-NR⁸-；-NH-CO-NH-；-NH-CS-NH-；-NH-C(=NH)-NH-；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、R⁸は水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、

R^9 、 R^{10} は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；又はアラルキル基を示す]を表し、

M はアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ 〔ここで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換されてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていてもよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す〕を表し、

R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を表し、

m は0又は1～6から選ばれる整数を表し、

R^6 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい低級アルキル基；置換されていてもよい低級アルコキシ基；置換されていてもよい低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アリール基、

アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；又は置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基を表し、

R^7 は水素原子；置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y)$ ， R^{12} 〔ここで、Yは酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13}-$ ；又は $-NR^{13}-SO_2-$ (R^{13} は水素原子；アルキル基；アラルキル基；水酸基；アルコキシ基；アリール基；又はアミノ保護基を示す) を、

p は0又は1を、

R^{12} は水素原子；水酸基、アルコキシ基、アルコキシアルコキシ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基はアルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルケニル基；置換されていてもよいアルキニル基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいアラルキル基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す〕を表す}で表されるアミド化合物。

(14)一般式(I-b)においてX、M、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、m、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする(13)記載のアミド化合物。

Xは酸素原子；硫黄原子；又は $-NH-$ を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原

子；又は $-O-CO-R^{11\dots\dots\dots}$ [ここで、 $R^{11\dots\dots\dots}$ はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す]を示す。

R^5 は水素原子を示す。

m は1を示す。

R^6 はフェニル基を示す。

R^7 は $-COO-R^{12\dots\dots\dots}$ [ここで、 $R^{12\dots\dots\dots}$ は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基；アダマンチル基；又はシクロヘキシリデンアミノ基を示す]を示す。

(15)薬学的に許容される担体及び(1)～(10)のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を含んでなる医薬組成物。

(16) (1)～(10)のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を有効成分とする炎症性サイトカイン産生抑制剤。

(17) (1)～(10)のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を有効成分とする炎症性疾患の為の治療又はその予防薬。

本明細書において、各置換基の定義は次の通りである。

「アルコキシ基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基を意味し、具体的にはメトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ブトキシ基、イソブトキシ基、sec-ブトキシ基、tert-ブトキシ基、ペンチルオキシ基、イソペンチルオキシ基、ネオペンチルオキシ基、tert-ペニチルオキシ基、ヘキシルオキシ基、イソヘキシルオキシ基、ネオヘキシルオキシ基等が挙げられる。好ましくは炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルコキシ

基であり、具体的にはメトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ブトキシ基、イソブトキシ基、sec-ブトキシ基、tert-ブトキシ基である。

「低級アルコキシ基」とは、炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基を意味し、具体的にはメトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ブトキシ基、イソブトキシ基、sec-ブトキシ基、tert-ブトキシ基等が挙げられる。好ましくはメトキシ基、エトキシ基である。

「アルキルチオ基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルキルチオ基を意味し、具体的にはメチルチオ基、エチルチオ基、プロピルチオ基、イソプロピルチオ基、ブチルチオ基、イソブチルチオ基、sec-ブチルチオ基、tert-ブチルチオ基、ペンチルチオ基、イソペンチルチオ基、ネオペンチルチオ基、tert-ペンチルチオ基、ヘキシルチオ基、イソヘキシルチオ基、ネオヘキシルチオ基等が挙げられる。

「低級アルキルチオ基」とは、炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルキルチオ基を意味し、具体的にはメチルチオ基、エチルチオ基、プロピルチオ基、イソプロピルチオ基、ブチルチオ基、イソブチルチオ基、sec-ブチルチオ基、tert-ブチルチオ基等が挙げられる。

「アルキルアミノ基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のモノアルキルアミノ基又はジアルキルアミノを意味し、具体的にはメチルアミノ基、ジメチルアミノ基、エチルアミノ基、ジエチルアミノ基、メチルエチルアミノ基、プロピルアミノ基、イソプロピルアミノ基、ブチルアミノ基、イソブチルアミノ基、sec-ブチルアミノ基、tert-ブチルアミノ基、ペンチルアミノ基、イソペンチルアミノ基、tert-ペンチルアミノ基、ヘキシルアミノ基、イソヘキシルアミノ基、ネオヘキシルアミノ基等が挙げられる。好ましくは直鎖のアルキルアミノ基であり、具体的にはメチルアミノ基、ジメチルアミノ基、エチルアミノ基、ジエチルアミノ基、プロピルアミノ基、ブチルアミノ基、ペンチルアミノ基、ヘキシルアミノ基である。特に好ましくは炭素数1～

4個の直鎖のアルキルアミノ基であり、具体的にはメチルアミノ基、ジメチルアミノ基、エチルアミノ基、ジエチルアミノ基、プロピルアミノ基、ブチルアミノ基等である。

「窒素含有非芳香族複素環基」とは、少なくとも1個の窒素原子を含有し、かつ他に硫黄原子又は酸素原子を有していてもよい3～7員の非芳香族複素環基を意味し、さらにこれらはベンゼン環と縮合していてもよい。具体的にはアジリジニル基、チアゼチジニル基、アゼチジニル基、ピロリジニル基、ピロリニル基、イミダゾリジニル基、イミダゾリニル基、ピラゾリジニル基、ピラゾリニル基、モルホリニル基、モルホリノ基、オキサジニル基、チアジニル基、ピペラジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ジオキサゼピニル基、チアゼピニル基、ジアゼピニル基、パーキドロジアゼピニル基、アゼピニル基、パーキドロアゼピニル基、インドリニル基、イソインドリニル基等が挙げられる。好ましくはアジリジニル基、アゼチジニル基、ピロリジニル基、ピラゾリジニル基、モルホリニル基、モルホリノ基、ピペラジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、パーキドロアゼピニル基である。特に好ましくはピロリジニル基、モルホリノ基、ピペラジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基である。

「アルキル基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルキル基を意味し、具体的にはメチル基、エチル基、プロピル基、イソプロピル基、ブチル基、イソブチル基、sec-ブチル基、tert-ブチル基、ペンチル基、イソペンチル基、ネオペンチル基、tert-ペンチル基、ヘキシル基、イソヘキシル基、ネオヘキシル基等が挙げられる。

「低級アルキル基」とは、炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルキル基を意味し、具体的にはメチル基、エチル基、プロピル基、イソプロピル基、ブチル基、イソブチル基、sec-ブチル基、tert-ブチル基等が挙げられる。

「ハロゲン原子」とは、具体的にはフッ素原子、塩素原子、臭素原子、ヨウ素原子である。

「ハロゲン化低級アルキル基」とは、前述の低級アルキル基にハロゲン原子が

置換したものであって、具体的にはフルオロメチル基、クロロメチル基、ブロモメチル基、ジフルオロメチル基、ジクロロメチル基、トリフルオロメチル基、トリクロロメチル基、ジフルオロエチル基、ジクロロエチル基、ペンタトリフルオロエチル基、トリクロロエチル基、フルオロプロピル基等が挙げられる。好ましくは、フルオロメチル基、クロロメチル基、ジフルオロメチル基、ジクロロメチル基、トリフルオロメチル基である。

「シクロアルキル基」とは、炭素数3～7個のシクロアルキル基を意味し、具体的にはシクロプロピル基、シクロブチル基、シクロペンチル基、シクロヘキシル基、シクロヘプチル基等が挙げられる。好ましくは炭素数5又は6個のシクロアルキル基であり、具体的にはシクロペンチル基、シクロヘキシル基である。

「アラルキル基」とは、アルキル基にアリール基が置換したものであって、具体的にはベンジル基、ベンズヒドリル基、トリチル基、フェネチル基、3-フェニルプロピル基、2-フェニルプロピル基、4-フェニルブチル基、ナフチルメチル基等が挙げられる。好ましくはベンジル基、フェネチル基である。

「アラルキルオキシ基」とは、前記のごときアラルキル基を有するアラルキルオキシ基であり、具体的にはベンジルオキシ基、ベンズヒドリルオキシ基、トリチルオキシ基、フェネチルオキシ基、3-フェニルプロピルオキシ基、2-フェニルプロピルオキシ基、4-フェニルブチルオキシ基、ナフチルメトキシ基等が挙げられる。好ましくはベンジルオキシ基、フェネチルオキシ基である。

「アラルキルオキシカルボニル基」とは、前記のごときアラルキル基を有するアラルキルオキシカルボニル基であり、具体的にはベンジルオキシカルボニル基、ベンズヒドリルオキシカルボニル基、トリチルオキシカルボニル基、フェネチルオキシカルボニル基、3-フェニルプロピルオキシカルボニル基、2-フェニルプロピルオキシカルボニル基、4-フェニルブチルオキシカルボニル基、ナフチルメトキシカルボニル基等が挙げられる。好ましくはベンジルオキシカルボニル基、フェネチルオキシカルボニル基である。

「アリール基」とは、フェニル基、ナフチル基、アントリル基、フェナントリ

ル基、ビフェニル基等を意味し、好ましくはフェニル基、ナフチル基である。

「アリールオキシ基」とは、前記のごときアリール基を有するアリールオキシ基であり、具体的にはフェノキシ基、ナフチルオキシ基等が挙げられる。

「アリールオキシカルボニル基」とは、前記のごときアリール基を有するアリールオキシカルボニル基であり、具体的にはフェノキシカルボニル基、ナフチルオキシカルボニル基等が挙げられる。

「アリールチオ基」とは、前記のごときアリール基を有するアリールチオ基であり、具体的にはフェニルチオ基、ナフチルチオ基等が挙げられる。

「アミノ保護基」とは、通常用いられる保護基であり、アミノ基を諸反応から保護するものであれば特に限定されない。具体的にはホルミル基、アセチル基、プロピオニル基、ブチリル基、オキサリル基、スクシニル基、ピバロイル基、2-クロロアセチル基、2-プロモアセチル基、2-ヨードアセチル基、2, 2-ジクロロアセチル基、2, 2, 2-トリクロロアセチル基、2, 2, 2-トリフルオロアセチル基、フェニルアセチル基、フェノキシアセチル基、ベンゾイル基、4-クロロベンゾイル基、4-メトキシベンゾイル基、4-ニトロベンゾイル基、ナフチルカルボニル基、アダマンチルカルボニル基、フタロイル基等のアシル基；メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、プロポキシカルボニル基、イソプロポキシカルボニル基、tert-ブトキシカルボニル基、ベンチルオキシカルボニル基、イソベンチルオキシカルボニル基、シクロヘキシルオキシカルボニル基、2-クロロエトキシカルボニル基、2-ヨードエトキシカルボニル基、2, 2, 2-トリクロロエトキシカルボニル基、2, 2, 2-トリクロロ-tert-ブトキシカルボニル基、ベンズヒドリルオキシカルボニル基、ビス-(4-メトキシフェニル)メトキシカルボニル基、フェナシルオキシカルボニル基、2-トリメチルシリルエトキシカルボニル基、2-トリフェニルシリルエトキシカルボニル基、フルオレニル-9-メトキシカルボニル基等のアルコキシカルボニル基；ビニルオキシカルボニル基、2-プロペニルオキシカルボニル基、2-クロロ-2-プロペニルオキシカルボニル基、3-メトキシカルボニル-2-プロペ

ニルオキシカルボニル基、2-メチル-2-プロペニルオキシカルボニル基、2-ブテニルオキシカルボニル基、シンナミルオキシカルボニル基等のアルケニルオキシカルボニル基；ベンジルオキシカルボニル基、4-ブロモベンジルオキシカルボニル基、2-クロロベンジルオキシカルボニル基、3-クロロベンジルオキシカルボニル基、3, 5-ジメトキシベンジルオキシカルボニル基、4-メトキシベンジルオキシカルボニル基、2-ニトロベンジルオキシカルボニル基、4-ニトロベンジルオキシカルボニル基、2-ニトロ-4, 5-ジメトキシベンジルオキシカルボニル基、3, 4, 5-トリメトキシベンジルオキシカルボニル基、フェネチルオキシカルボニル基等のアラルキルオキシカルボニル基；トリメチルシリル基、*tert*-ブチルジメチルシリル基等の低級アルキルシリル基；エチレンビス（ジメチルシリル）基、プロピレンビス（ジメチルシリル）基、エチレンビス（ジエチルシリル）基等のアルキレンビス（ジアルキルシリル）基；メチルチオカルボニル基、エチルチオカルボニル基、ブチルチオカルボニル基、*tert*-ブチルチオカルボニル基等のアルキルチオカルボニル基；ベンジルチオカルボニル基等のアラルキルチオカルボニル基；ジシクロヘキシルホスホリル基、ジフェニルホスホリル基、ジベンジルホスホリル基、ジー（4-ニトロベンジル）ホスホリル基、フェノキシフェニルホスホリル基等のホスホリル基；ジエチルホスフィニル基、ジフェニルホスフィニル基等のホスフィニル基等が挙げられる。

「鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基」とは、炭素数1～10個の直鎖又は分岐状の鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよいアルキレン基を意味し、具体的にはメチレン基、エチレン基、トリメチレン基、テトラメチレン基、ペンタメチレン基、ヘキサメチレン基、ヘプタメチレン基、オクタメチレン基、ノナメチレン基、デカメチレン基、ジメチルメチレン基、ジエチルメチレン基、プロピレン基、メチルエチレン基、エチルエチレン基、プロピルエチレン基、イソプロピルエチレン基、メチルペンタエチレン基、エチルヘキサメチレン基、ジメチルエチレン基、メチルトリエチレン基、ジメチルトリメチレン基、ビニレン基、プロペニレン基、ブ

テニレン基、ブタジエニレン基、ペンテニレン基、ペンタジエニレン基、ヘキセニレン基、ヘキサジエニレン基、ヘキサトリエニレン基、ヘプテニレン基、ヘプタジエニレン基、ヘプタトリエニレン基、オクテニレン基、オクタジエニレン基、オクタトリエニレン基、オクタテトラエニレン基、プロピニレン基、ブチニレン基、ペンチニレン基、メチルプロピニレン基等が挙げられる。好ましくは直鎖のアルキレン基であり、具体的にはメチレン基、エチレン基、トリメチレン基、テトラメチレン基、ペンタメチレン基、ヘキサメチレン基、ヘプタメチレン基、オクタメチレン基、ノナメチレン基、デカメチレン基、ビニレン基、プロペニレン基、ブテニレン基、ブタジエニレン基、ペンテニレン基、ペンタジエニレン基、ヘキセニレン基、ヘキサジエニレン基、ヘキサトリエニレン基、ヘプテニレン基、ヘプタジエニレン基、ヘプタトリエニレン基、オクテニレン基、オクタジエニレン基、オクタトリエニレン基、オクタテトラエニレン基、プロピニレン基、ブチニレン基、ペンチニレン基である。特に好ましくは、メチレン基、エチレン基、トリメチレン基、テトラメチレン基、ペンタメチレン基、ヘキサメチレン基、ヘプタメチレン基、オクタメチレン基等の炭素数1～8個の直鎖のアルキレン基である。

「窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基」とは、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する5又は6員の2価の芳香族複素環基を意味し、具体的にはテトラゾール環、オキサジアゾール環、チアジアゾール環、トリアゾール環、オキサゾール環、イソオキサゾール環、チアゾール環、イソチアゾール環、イミダゾール環、ピラゾール環、ピロール環、フラン環、チオフェン環、テトラジン環、トリアジン環、ピラジン環、ピリダジン環、ピリミジン環、ピリジン環等の2価の芳香族複素環基が挙げられる。好ましくは5員の2価の芳香族複素環基であり、具体的にはテトラゾール環、オキサジアゾール環、チアジアゾール環、トリアゾール環、オキサゾール環、イソオキサゾール環、チアゾール環、イソチアゾール環、イミダゾール環、ピラゾール環、ピロール環、フラン環、チオフェ

ン環の2価の芳香族複素環基である。特に好ましくはオキサジアゾール環、チアジアゾール環、トリアゾール環の2価の芳香族複素環基である。

「シクロアルキレン基」とは、炭素数3～7個のシクロアルキレン基、即ち2価のシクロアルキル基を意味し、具体的にはシクロプロピレン基、シクロブチレン基、シクロペンチレン基、シクロヘキシレン基、シクロヘプチレン基等が挙げられる。好ましくは炭素数5又は6個のシクロアルキレン基であり、具体的にはシクロペンチレン基、シクロヘキシレン基である。

「アリーレン基」とは、具体的にはフェニレン基、ナフチレン基、アントリレン基、フェナントリレン基、ビフェニレン基等が挙げられる。好ましくはフェニレン基、ナフチレン基、ビフェニレン基である。

「窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基」とは、具体的にはジオキソラン環、ジチオール環、ピロリジン環、モルホリン環、オキサジン環、ピペラジン環、ピペリジン環、ピロリン環、イミダゾリジン環、イミダゾリン環、ピラゾリジン環、ピラゾリン環、チアトリアゾール環、テトラゾール環、オキサジアゾール環、チアジアゾール環、トリアゾール環、イソオキサゾール環、オキサゾール環、チアゾール環、イミダゾール環、ピラゾール環、ピロール環、フラン環、チオフェン環、テトラジン環、トリアジン環、ピラジン環、ピリダジン環、ピリミジン環、ピリジン環、フロイソオキサゾール環、イミダゾチアゾール環、チエノイソチアゾール環、チエノチアゾール環、イミダゾピラゾール環、シクロペンタピラゾール環、ピロロピロール環、チエノチオフェン環、チアジアゾロピリミジン環、チアゾロチアジン環、チアゾロピリミジン環、チアゾロピリジン環、オキサゾロピリミジン環、オキサゾロピリジン環、ベンゾオキサゾール環、ベンゾイソチアゾール環、ベンゾチアゾール環、イミダゾピラジン環、プリン環、ピラゾロピリミジン環、イミダゾピリジン環、ベンゾイミダゾール環、インダゾール環、ベンゾオキサチオール環、ベンゾジオキソール環、ベンゾジチオール環、インドリジン環、インドリン環、イソインドリン環、フロピリミジン環、フロピリジン環、ベ

ンゾフラン環、イソベンゾフラン環、チエノピリミジン環、チエノピリジン環、ベンゾチオフェン環、シクロペニタオキサジン環、シクロペニタフラン環、ベンゾオキサジン環、ベンゾチアジン環、キナゾリン環、ナフチリジン環、キノリン環、イソキノリン環、ベンゾピラン環、ピリドピリダジン環、ピリドピリミジン環等の2価の複素環基が挙げられる。好ましくはピペラジン環、ピペリジン環、ピリジン環、ベンゾオキサゾール環、ベンゾイソチアゾール環、ベンゾチアゾール環、ベンゾイミダゾール環の2価の複素環基である。

「アルコキシカルボニル基」とは、炭素数2～7個の直鎖又は分岐状のアルコキシカルボニル基を意味し、具体的にはメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、プロポキシカルボニル基、イソプロポキシカルボニル基、ブトキシカルボニル基、イソブトキシカルボニル基、sec-ブトキシカルボニル基、tert-ブトキシカルボニル基、ペンチルオキシカルボニル基、イソペンチルオキシカルボニル基、ネオペンチルオキシカルボニル基、tert-ペンチルオキシカルボニル基、ヘキシルオキシカルボニル基、イソヘキシルオキシカルボニル基、ネオヘキシルオキシカルボニル基等が挙げられる。好ましくは炭素数2～5個の直鎖又は分岐状のアルコキシカルボニル基であり、具体的にはメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、プロポキシカルボニル基、イソプロポキシカルボニル基、ブトキシカルボニル基、イソブトキシカルボニル基、sec-ブトキシカルボニル基、tert-ブトキシカルボニル基、tert-ブトキシカルボニル基である。

「低級アルコキシカルボニル基」とは、炭素数2～5個の直鎖又は分岐状のアルコキシカルボニル基を意味し、具体的にはメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、プロポキシカルボニル基、イソプロポキシカルボニル基、ブトキシカルボニル基、イソブトキシカルボニル基、sec-ブトキシカルボニル基、tert-ブトキシカルボニル基等が挙げられる。好ましくはメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基である。

「アシル基」とは、具体的にはホルミル基、アセチル基、プロピオニル基、ブチリル基、イソブチリル基、バレリル基、イソバレリル基、ピバロイル基、カブ

ロイル基、イソカブロイル基、アクリロイル基、プロピオロイル基、メタクリロイル基、クロトノイル基、イソクロトノイル基、ベンゾイル基、ナフトイル基、トルオイル基、ヒドロアトロポイル基、アトロポイル基、シンナモイル基、フロイル基、グリセロイル基、トロポイル基、ベンジロイル基、サリチロイル基、アニソイル基、バニロイル基、ベラトロイル基、ピペロニロイル基、プロトカテクオイル基、ガロイル基等が挙げられる。好ましくはホルミル基、アセチル基、プロピオニル基、ブチリル基、イソブチリル基、バレリル基、イソバレリル基、ピバロイル基、ベンゾイル基、ナフトイル基である。

「アシルオキシ基」とは、前記のごときアシル基を有するアシルオキシ基であり、具体的にはホルミルオキシ基、アセチルオキシ基、プロピオニルオキシ基、ブチリルオキシ基、イソブチリルオキシ基、バレリルオキシ基、イソバレリルオキシ基、ピバロイルオキシ基、カブロイルオキシ基、イソカブロイルオキシ基、アクリロイルオキシ基、プロピオロイルオキシ基、メタクリロイルオキシ基、クロトノイルオキシ基、イソクロトノイルオキシ基、ベンゾイルオキシ基、ナフトイルオキシ基、トルオイルオキシ基、ヒドロアトロポイルオキシ基、アトロポイルオキシ基、シンナモイルオキシ基、フロイルオキシ基、グリセロイルオキシ基、トロポイルオキシ基、ベンジロイルオキシ基、サリチロイルオキシ基、アニソイルオキシ基、バニロイルオキシ基、ベラトロイルオキシ基、ピペロニロイルオキシ基、プロトカテクオイルオキシ基、ガロイルオキシ基等が挙げられる。好ましくはホルミルオキシ基、アセチルオキシ基、プロピオニルオキシ基、ブチリルオキシ基、イソブチリルオキシ基、バレリルオキシ基、イソバレリルオキシ基、ピバロイルオキシ基、ベンゾイルオキシ基、ナフトイルオキシ基である。

R^6 における「窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基」とは、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する 3 ~ 7 員の複素環基を意味し、具体的にはアジリジニル基、オキシラニル基、アゼチル基、アゼチジニル基、オキセタニル基、チアトリアゾリル基、テトラゾリル基、ジチアゾリル基、オキサジアゾリル基、チ

アジアゾリル基、トリアゾリル基、オキサゾリル基、イソオキサゾリル基、チアゾリル基、イソチアゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリル基、ジオキソラニル基、ピロリル基、ピロリジニル基、フラニル基、チエニル基、テトラジニル基、ジチアジアジニル基、チアジアジニル基、トリアジニル基、モルホリニル基、モルホリノ基、オキサジニル基、チアジニル基、ピペラジニル基、ピラジニル基、ピリダジニル基、ピリミジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ピリジル基、ピラニル基、チオピラニル基、ジオキサゼピニル基、ジアゼピニル基、アゼピニル基等が挙げられる。好ましくは5又は6員の複素環基であり、具体的にはチアトリアゾリル基、テトラゾリル基、ジチアゾリル基、オキサジアゾリル基、チアジアゾリル基、トリアゾリル基、オキサゾリル基、イソオキサゾリル基、チアゾリル基、イソチアゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリル基、ジオキソラニル基、ピロリル基、ピロリジニル基、フラニル基、チエニル基、テトラジニル基、ジチアジアジニル基、チアジアジニル基、トリアジニル基、モルホリニル基、モルホリノ基、オキサジニル基、チアジニル基、ピペラジニル基、ピラジニル基、ピリダジニル基、ピリミジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ピリジル基、ピラニル基、チオピラニル基であり、特に好ましくはピロリル基、フラニル基、チエニル基、ピペラジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ピリジル基である。

「窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基」とは、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する5又は6員の芳香族複素環基を意味し、具体的にはテトラゾリル基、オキサジアゾリル基、チアジアゾリル基、トリアゾリル基、オキサゾリル基、イソオキサゾリル基、チアゾリル基、イソチアゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリル基、ピロリル基、フラニル基、チエニル基、テトラジニル基、トリアジニル基、ピラジニル基、ピリダジニル基、ピリミジニル基、ピリジル基等が挙げられる。好ましくは5員の芳香族複素環基であり、具体的にはテトラゾリル基、オキサジアゾリル基、チアジアゾリル基、トリアゾリル基、オキサゾリル基、イソオキサゾリル基、チアゾリル基、イソチアゾリル基、イミダゾリル基、

ピラゾリル基、ピロリル基、フラニル基、チエニル基である。特に好ましくはオキサジアゾリル基、チアジアゾリル基、トリアゾリル基である。

「アルコキシアルコキシ基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基に、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基が置換したものを意味し、具体的にはメトキシメトキシ基、エトキシメトキシ基、プロポキシメトキシ基、イソプロポキシメトキシ基、ブトキシメトキシ基、イソブトキシメトキシ基、sec-ブトキシメトキシ基、tert-ブトキシメトキシ基、ペンチルオキシメトキシ基、イソペンチルオキシメトキシ基、ネオペンチルオキシメトキシ基、tert-ペンチルオキシメトキシ基、ヘキシルオキシメトキシ基、イソヘキシルオキシメトキシ基、ネオヘキシルオキシメトキシ基、tert-ヘキシルオキシメトキシ基、メトキシエトキシ基、エトキシエトキシ基、プロポキシエトキシ基、イソプロポキシエトキシ基、ブトキシエトキシ基、イソブトキシエトキシ基、sec-ブトキシエトキシ基、tert-ブトキシエトキシ基、ペンチルオキシエトキシ基、イソペンチルオキシエトキシ基、ネオペンチルオキシエトキシ基、tert-ペンチルオキシエトキシ基、ヘキシルオキシエトキシ基、イソヘキシルオキシエトキシ基、ネオヘキシルオキシエトキシ基、tert-ヘキシルオキシエトキシ基、メトキシプロポキシ基、エトキシプロポキシ基、プロポキシプロポキシ基、イソプロポキシプロポキシ基、ブトキシプロポキシ基、イソブトキシプロポキシ基、sec-ブトキシプロポキシ基、tert-ブトキシプロポキシ基、ペンチルオキシプロポキシ基、イソペンチルオキシプロポキシ基、ネオペンチルオキシプロポキシ基、tert-ペンチルオキシプロポキシ基、ヘキシルオキシプロポキシ基、イソヘキシルオキシプロポキシ基、ネオヘキシルオキシプロポキシ基、tert-ヘキシルオキシプロポキシ基、メトキシブトキシ基、エトキシブトキシ基、プロポキシブトキシ基、イソプロポキシブトキシ基、ブトキシブトキシ基、イソブトキシブトキシ基、sec-ブトキシブトキシ基、tert-ブトキシブトキシ基、ペンチルオキシブトキシ基、イソペンチルオキシブトキシ基、ネオペンチルオキシブトキシ基、tert-ペンチルオキシブトキシ

基、ヘキシルオキシブトキシ基、イソヘキシルオキシブトキシ基、ネオヘキシルオキシブトキシ基、*tert*-ヘキシルオキシブトキシ基、メトキシベンチルオキシ基、エトキシベンチルオキシ基、プロポキシベンチルオキシ基、イソプロポキシベンチルオキシ基、*sec*-ブトキシベンチルオキシ基、*tert*-ブトキシベンチルオキシ基、ベンチルオキシベンチルオキシ基、イソベンチルオキシベンチルオキシ基、ネオベンチルオキシベンチルオキシ基、*tert*-ベンチルオキシベンチルオキシ基、ヘキシルオキシベンチルオキシ基、イソヘキシルオキシベンチルオキシ基、ネオヘキシルオキシベンチルオキシ基、*tert*-ヘキシルオキシベンチルオキシ基、メトキシヘキシルオキシ基、エトキシヘキシルオキシ基、プロポキシヘキシルオキシ基、イソプロポキシヘキシルオキシ基、ブトキシヘキシルオキシ基、イソブトキシヘキシルオキシ基、*sec*-ブトキシヘキシルオキシ基、*tert*-ブトキシヘキシルオキシ基、ベンチルオキシヘキシルオキシ基、イソベンチルオキシヘキシルオキシ基、ネオベンチルオキシヘキシルオキシ基、*tert*-ベンチルオキシヘキシルオキシ基、ヘキシルオキシヘキシルオキシ基、イソヘキシルオキシヘキシルオキシ基、ネオヘキシルオキシヘキシルオキシ基、*tert*-ヘキシルオキシヘキシルオキシ基等が挙げられる。好ましくは炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基に、炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基が置換したものであり、具体的にはメトキシメトキシ基、エトキシメトキシ基、プロポキシメトキシ基、イソプロポキシメトキシ基、ブトキシメトキシ基、イソブトキシメトキシ基、*sec*-ブトキシメトキシ基、*tert*-ブトキシメトキシ基、メトキシエトキシ基、エトキシエトキシ基、プロポキシエトキシ基、イソプロポキシエトキシ基、ブトキシエトキシ基、イソブトキシエトキシ基、*sec*-ブトキシエトキシ基、*tert*-ブトキシエトキシ基、メトキシプロポキシ基、エトキシプロポキシ基、プロポキシプロポキシ基、イソプロポキシプロポキシ基、ブトキシプロポキシ基、イソブトキシプロポキシ基、*sec*-ブトキシプロポキシ基、メトキシブトキシ基、エトキ

シブトキシ基、プロポキシブトキシ基、イソプロポキシブトキシ基、ブトキシブトキシ基、イソブトキシブトキシ基、sec-ブトキシブトキシ基、tert-ブトキシブトキシ基である。

「低級アルコキシ低級アルコキシ基」とは、炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基に、炭素数1～4個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基が置換したものであり、具体的にはメトキシメトキシ基、エトキシメトキシ基、プロポキシメトキシ基、イソプロポキシメトキシ基、ブトキシメトキシ基、イソブトキシメトキシ基、sec-ブトキシメトキシ基、tert-ブトキシメトキシ基、メトキシエトキシ基、エトキシエトキシ基、プロポキシエトキシ基、イソプロポキシエトキシ基、ブトキシエトキシ基、イソブトキシエトキシ基、sec-ブトキシエトキシ基、tert-ブトキシエトキシ基、メトキシプロポキシ基、エトキシプロポキシ基、プロポキシプロポキシ基、イソプロポキシプロポキシ基、ブトキシプロポキシ基、イソブトキシプロポキシ基、sec-ブトキシプロポキシ基、tert-ブトキシプロポキシ基、メトキシブトキシ基、エトキシブトキシ基、プロポキシブトキシ基、イソプロポキシブトキシ基、ブトキシブトキシ基、イソブトキシブトキシ基、sec-ブトキシブトキシ基、tert-ブトキシブトキシ基等が挙げられる。好ましくはメトキシメトキシ基、エトキシメトキシ基、メトキシエトキシ基、エトキシエトキシ基である。

R^{12} における「窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基」とは、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する3～7員の複素環基を意味し、具体的にはアジリジニル基、オキシラニル基、アゼチル基、アゼチジニル基、オキセタニル基、チアトリアゾリル基、テトラゾリル基、ジチアゾリル基、オキサジアゾリル基、チアジアゾリル基、トリアゾリル基、オキサゾリル基、イソオキサゾリル基、チアゾリル基、インチアゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリル基、ジオキソラニル基、ピロリル基、ピロリジニル基、フラニル基、チエニル基、テトラジニル基、ジチアジアジニル基、チアジアジニル基、トリアジニル基、モルホリニル基、モ

ルホリノ基、オキサジニル基、チアジニル基、ピペラジニル基、ピラジニル基、ピリダジニル基、ピリミジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ピリジル基、ピラニル基、チオピラニル基、ジオキサゼピニル基、ジアゼピニル基、アゼピニル基等が挙げられる。好ましくは5又は6員の複素環基であり、具体的にはチアトリアゾリル基、テトラゾリル基、ジチアゾリル基、オキサジアゾリル基、チアジアゾリル基、トリアゾリル基、オキサゾリル基、イソオキサゾリル基、チアゾリル基、イソチアゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリル基、ジオキソラニル基、ピロリル基、ピロリジニル基、フラニル基、チエニル基、テトラジニル基、ジチアジアジニル基、チアジアジニル基、トリアジニル基、モルホリニル基、モルホリノ基、オキサジニル基、チアジニル基、ピペラジニル基、ピラジニル基、ピリダジニル基、ピリミジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ピリジル基、ピラニル基、チオピラニル基であり、特に好ましくはピロリル基、ピペラジニル基、ピペリジル基、ピペリジノ基、ピリジル基である。

「アルケニル基」とは、炭素数2～6個の直鎖又は分岐状のアルケニル基を意味し、具体的にはアリル基、ビニル基、プロペニル基、イソプロペニル基、1-メチル-2-プロペニル基、2-メチル-2-プロペニル基、1-メチル-1-ブテニル基、クロチル基、1-メチル-3-ブテニル基、3-メチル-2-ブテニル基、1-ペンテニル基、1-メチル-2-ペンテニル基、4-ペンテニル基、1-ヘキセニル基、3-ヘキセニル基、4-ヘキセニル基等が挙げられる。

「アルキニル基」とは、炭素数2～6個の直鎖又は分岐状のアルキニル基を意味し、具体的にはプロバルギル基、2-ブチニル基、1-メチル-2-ブチニル基、2-ペンチニル基、1-メチル-3-ペンチニル基、1-メチル-4-ペンチニル基、1-ヘキシニル基、5-ヘキシニル基等が挙げられる。

「シクロアルキリデンアミノ基」とは、具体的にはシクロプロピリデンアミノ基、シクロブチリデンアミノ基、シクロペンチリデンアミノ基、シクロヘキシリデンアミノ基、シクロヘプチリデンアミノ基等が挙げられる。好ましくはシクロペンチリデンアミノ基、シクロヘキシリデンアミノ基である。

Rにおける置換されたアルコキシ基の「アルコキシ基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルコキシ基を意味し、具体的にはメトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ブトキシ基、イソブトキシ基、sec-ブトキシ基、tert-ブトキシ基、ペンチルオキシ基、イソペンチルオキシ基、ネオペンチルオキシ基、tert-ペンチルオキシ基、ヘキシルオキシ基、イソヘキシルオキシ基、ネオヘキシルオキシ基等が挙げられる。好ましくは直鎖のアルコキシ基であり、具体的にはメトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、ブトキシ基、ペンチルオキシ基、ヘキシルオキシ基である。特に好ましくは炭素数1～4個の直鎖のアルコキシ基であり、具体的にはメトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、ブトキシ基である。

Rにおける置換されたアルキルチオ基の「アルキルチオ基」とは、炭素数1～6個の直鎖又は分岐状のアルキルチオ基を意味し、具体的にはメチルチオ基、エチルチオ基、プロピルチオ基、イソプロピルチオ基、ブチルチオ基、イソブチルチオ基、sec-ブチルチオ基、tert-ブチルチオ基、ペンチルチオ基、イソペンチルチオ基、ネオペンチルチオ基、tert-ペンチルチオ基、ヘキシルチオ基、イソヘキシルチオ基、ネオヘキシルチオ基等が挙げられる。好ましくは直鎖のアルキルチオ基であり、具体的にはメチルチオ基、エチルチオ基、プロピルチオ基、ブチルチオ基、ペンチルチオ基、ヘキシルチオ基である。特に好ましくは炭素数1～4個の直鎖のアルキルチオ基であり、具体的にはメチルチオ基、エチルチオ基、プロピルチオ基、ブチルチオ基である。

「置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基」の「置換されていてもよい」とは、1～3個の置換基により置換されていてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述の低級アルキル基；前述のハロゲン化低級アルキル基；前述のシクロアルキル基；前述のアラルキル基；前述のアリール基；前述のアミノ保護基等が挙げられる。好ましくは低級アルキル基、アミノ保護基である。

「置換されていてもよく、かつ鎖中に 1 以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基」の「置換されていてもよい」とは、1 個以上の置換基で置換されていてもよいことを意味し、具体的には前述のハロゲン原子；水酸基；前述の低級アルキル基、前述のハロゲン化低級アルキル基、前述のシクロアルキル基、前述のアラルキル基、前述のアリール基又は前述のアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；前述の低級アルコキシ基；前述のアラルキル基；前述のシクロアルキル基等である。

R^{11} における「置換されていてもよいアルコキシ基」及び「置換されていてもよいアルキルチオ基」の「置換されていてもよい」とは、1 個以上の置換基により置換されていてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述のハロゲン原子；前述の低級アルコキシ基；前述のアルキルチオ基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；カルボキシル基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアシル基；前述のアシルオキシ基；前述のアリール基；前述のアリールオキシ基；前述のアリールチオ基；前述のアリールオキシカルボニル基；前述のアラルキルオキシ基；前述のアラルキルオキシカルボニル基等である。好ましくはアミノ基；低級アルコキシ基；ハロゲン原子；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アラルキルオキシカルボニル基である。

R^{11} における「置換されていてもよいアリール基」、「置換されていてもよいシクロアルキル基」、「置換されていてもよいアリールオキシ基」、「置換されていてもよいアラルキルオキシ基」及び「置換されていてもよいアリールチオ基」の「置換されていてもよい」とは、環上に 1 ~ 3 個の置換基を有していてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述の低級アルキル基；前述のハロゲン原子；前述の低級アルコキシ基；前述のアルキルチオ基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；カルボキシ

ル基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアシル基；前述のアシルオキシ基；前述のアリール基；前述のアリールオキシ基；前述のアリールチオ基；前述のアリールオキシカルボニル基；前述のアラルキルオキシ基；前述のアラルキルオキシカルボニル基等である。好ましくは低級アルキル基；アミノ基；低級アルコキシ基；ハロゲン原子；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アラルキルオキシカルボニル基であり、特に好ましくは低級アルキル基である。

R^5 における「置換されていてもよいアラルキル基」の「置換されていてもよい」とは、アリール基上に 1 ～ 3 個の置換基を有していてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述の低級アルキル基；前述の低級アルコキシ基；前述のアシル基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアリールオキシカルボニル基；前述のアリールオキシ基；前述のアルキルチオ基；前述のアリールチオ基；前述のアリール基；前述のハロゲン原子等である。好ましくは低級アルキル基；低級アルコキシ基；ハロゲン原子であり、特に好ましくは低級アルキル基である。

R^6 における「置換されていてもよい低級アルキル基」、「置換されていてもよい低級アルコキシ基」及び「置換されていてもよい低級アルキルチオ基」の「置換されていてもよい」とは、1 個以上の置換基により置換されていてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述のハロゲン原子；水酸基；前述のアルコキシ基；前述のアリールオキシ基；前述の低級アルキル又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；メルカプト基；前述のアルキルチオ基；前述のアリールチオ基；カルボキシル基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアリールオキシカルボニル基；カルバモイル基；メチルスルホニル基、エチルスルホニル基、イソプロピルスルホニル基等のアルキルスルホニル基；メチルスルフィニル基、エチルスルフィニル基、イソプロピルスルフィニル基等のア

ルキルスルフィニル基；フェニルスルホニル基等のアリールスルホニル基；前述のハロゲン化低級アルキル基；スルファモイル基；シアノ基；ニトロ基等である。好ましくはハロゲン原子；水酸基；アルコキシ基；アミノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基である。

R^6 における「置換されていてもよいアリール基」、「置換されていてもよいシクロアルキル基」及び「置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基」の「置換されていてもよい」とは、1個以上の置換基により置換されていてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述の低級アルキル基；前述のハロゲン原子；水酸基；前述のアルコキシ基；前述のアリールオキシ基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；メルカプト基；前述のアルキルチオ基；前述のアリールチオ基；カルボキシル基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアリールオキシカルボニル基；カルバモイル基；メチルスルホニル基、エチルスルホニル基、イソプロピルスルホニル基等のアルキルスルホニル基；メチルスルフィニル基、エチルスルフィニル基、イソプロピルスルフィニル基等のアルキルスルフィニル基；フェニルスルホニル基等のアリールスルホニル基；前述のハロゲン化低級アルキル基；スルファモイル基；シアノ基；ニトロ基等である。好ましくは低級アルキル基；ハロゲン原子；水酸基；アルコキシ基；アミノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基である。

R^7 における「置換されていてもよいアルキル基」の「置換されていてもよい」とは、1個以上の置換基により置換されていてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には水酸基；前述の低級アルコキシ基；メルカプト基；前述の低級アルキルチオ基；カルボキシル基；前述の低級アルコキシカルボニル基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；ハロゲン原子等である。好ましくは水酸基；ハロゲン原子；低級アルコキシ基であ

る。

R^7 における「置換されていてもよいアリール基」及び「置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基」の「置換されていてもよい」とは、環上に1～3個の置換基を有していてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述の低級アルキル基；水酸基；前述の低級アルコキシ基；メルカプト基；前述の低級アルキルチオ基；カルボキシル基；前述の低級アルコキシカルボニル基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；ハロゲン原子等である。好ましくは水酸基；低級アルキル基；ハロゲン原子；低級アルコキシ基である。

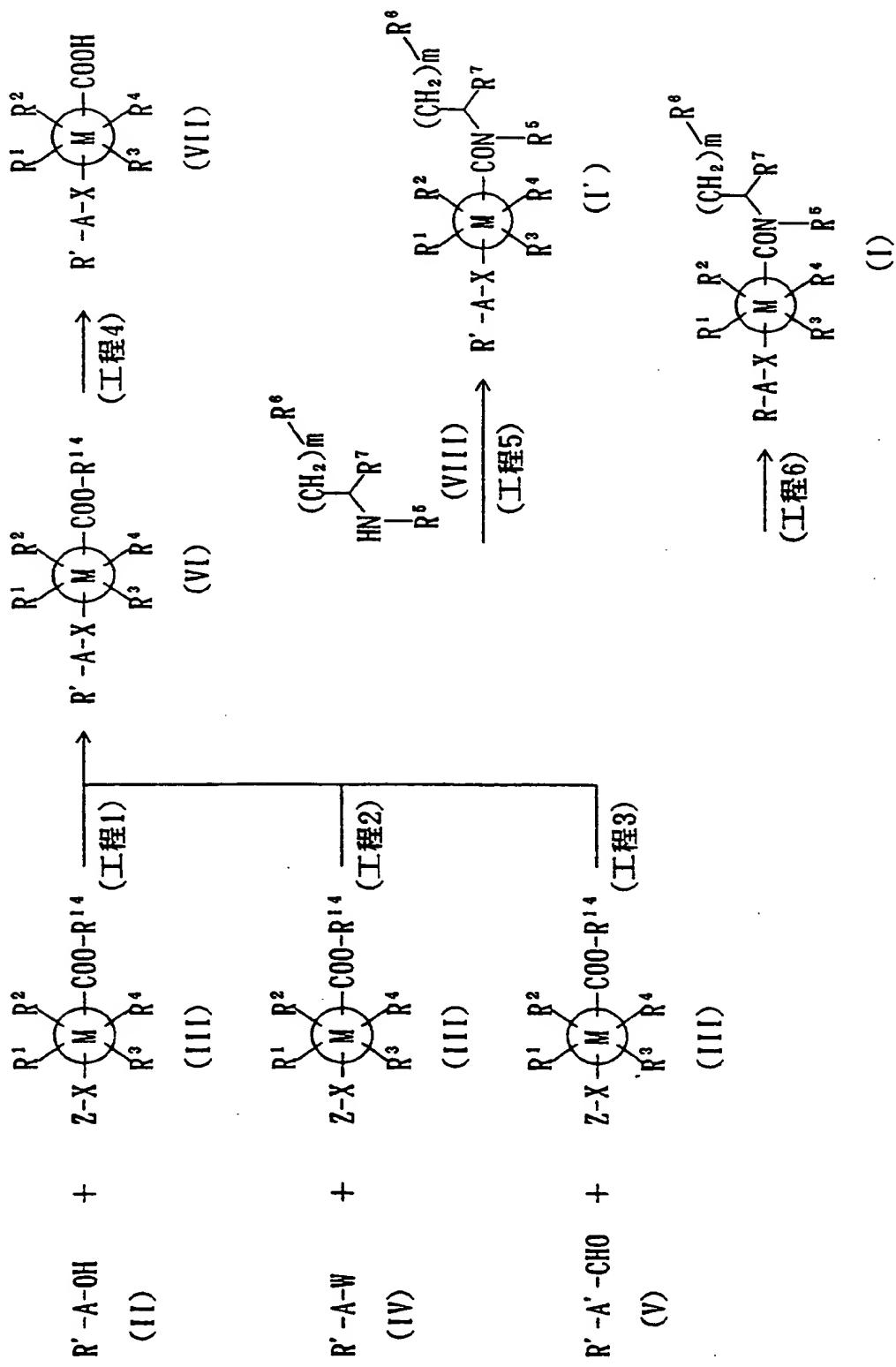
R^{12} における「置換されていてもよいアルケニル基」及び「置換されていてもよいアルキニル基」の「置換されていてもよい」とは、1個以上の置換基により置換されていてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には水酸基；前述のアルコキシ基；カルボキシル基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアシルオキシ基；前述のアルキル基、前述のアリール基、前述のアラルキル基又は前述のアミノ保護基で置換されていてもよいアミノ基等である。好ましくは水酸基；アルコキシ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アシルオキシ基である。

R^{12} における「置換されていてもよいシクロアルキル基」、「置換されていてもよいアリール基」及び「置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基」の「置換されていてもよい」とは、環上に1～3個の置換基を有していてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には水酸基；前述の低級アルコキシ基；メルカプト基；前述の低級アルキルチオ基；カルボキシル基；前述の低級アルコキシカ

ルボニル基；前述の低級アルキル基；前述の低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基；前述のハロゲン原子；カルバモイル基；シアノ基；前述のアシル基；ニトロ基；メチルスルホニル基、エチルスルホニル基等のアルキルスルホニル基；メチルスルフィニル基等のアルキルスルフィニル基；スルファモイル基；前述の低級アルキル基、前述のアリール基又は前述のアラルキル基で置換されていてもよいアゾメチニル基；メトキシアミノ基、イソプロポキシアミノ基等のアルコキシアミノ基；前述の低級アルキル基、前述のアリール基又は前述のアラルキル基で置換されていてもよいヒドラジノ基；アルコキシチオカルボニル基；前述の低級アルキル基、前述のアリール基又は前述のアラルキル基で置換されていてもよいアミノオキシ基；チオアルカノイル基等である。好ましくは水酸基；低級アルキル基；ハロゲン原子；低級アルコキシ基；アミノ基；カルボキシル基である。

R^{12} における「置換されていてもよいアラルキル基」の「置換されていてもよい」とは、アリール基上に1～3個の置換基を有していてもよいことを意味し、該置換基は同一又は異なっていてもよく、また置換基の位置は任意であって特に限定されるものではない。具体的には前述の低級アルキル基；前述の低級アルコキシ基；前述のアシル基；前述の低級アルキル基又は前述のアシル基で置換されていてもよいアミノ基；前述のアルコキシカルボニル基；前述のアリールオキシカルボニル基；前述のアリールオキシ基；前述のアルキルチオ基；前述のアリールチオ基；前述のアリール基；前述のハロゲン原子等である。好ましくは低級アルキル基；低級アルコキシ基；ハロゲン原子である。

一般式(I)で示される本発明化合物は、例えば下記の方法により合成することができるが、本発明化合物の合成方法はこれらに限定されるものではない。



{式中、R' は水酸基保護基又はアミノ保護基で保護されたR基、より具体的にはR₆；R₆で置換されたアルコキシ基；R₆で置換されたアルキルチオ基；R₆で置換されたアルキルアミノ基；置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基；又は水酸基〔ここで、R₆はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）である〕であって、さらに水酸基保護基又はアミノ保護基で置換された基（但し、Rがジメチルアミノ基、N-メチルピペラジニル基又はN-メチルピペリジル基等の場合においては、Rを保護しておく必要がないのでR' はRそのものを意味する）を表し、

R¹⁴は、メチル基、エチル基、tert-ブチル基、アリル基、フェニル基、ベンジル基、トリクロロエチル基、p-ニトロベンジル基、トリメチルシリル基、tert-ブチルジメチルシリル基、メトキシメチル基、2-トリメチルシリルエチル基等のカルボキシ保護基を表し、

Wはハロゲン原子を表し、

A' はA基の端のメチレンが1つ欠如した基を表し、

Zは水素原子又はXを活性化する置換基（例えば、トリフェニルホスホニウム基、トリフェニルホスホネート基、アリールスルホニル基等）を表し、

A、X、M、m、R、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶ 及びR⁷ は前記と同義である}

（工程1）

化合物(VI)は、化合物(II)と化合物(III)とを、トリフェニルホスフィン、トリメチルホスフィン、トリエチルホスフィン、亜リン酸トリフェニル、亜リン酸トリメチル、亜リン酸トリエチル等とアゾジカルボン酸ジイソプロピル、アゾジカルボン酸ジエチル、アゾジカルボン酸ジシクロヘキシル等とを組み合わせた縮合剤の存在下、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジク

ロロメタン、クロロホルム、ベンゼン、トルエン、ジメチルホルムアミド等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

この方法は、特にXが酸素原子、硫黄原子である場合に好適である。

また、化合物(VI)は下記の方法により合成することもできる。

(工程2)

化合物(VI)は、化合物(IV)と化合物(III)とを、水素化ナトリウム、水素化カリウム、水素化リチウム、炭酸カリウム、炭酸ナトリウム、カリウムtert-ブトキシド、リチウムジイソプロピルアミド、メチルリチウム、n-ブチルリチウム、sec-ブチルリチウム、tert-ブチルリチウム等の塩基存在下、ジメチルホルムアミド、塩化メチレン、テトラヒドロフラン、エーテル、ベンゼン、トルエン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、-78°C乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

この方法は、特にXが硫黄原子、酸素原子である場合に好適である。

また、Xが- $\text{SO}-$ 、- SO_2- の場合、上記工程1又は工程2で得られた対応するスルフィドを過酸化水素、過酢酸、メタ過ヨウ素酸塩、メタクロロ過安息香酸、硝酸アシル、四酸化二窒素等の酸化剤で酸化することにより合成することができる。

更に、化合物(VI)、特にXが- NR^8- 、- $\text{CR}^9\text{R}^{10}-$ である場合には下記の方法によっても合成することができる。

(工程3)

化合物(VI)は、化合物(V)と化合物(III)とを、必要に応じて適当な塩基(例えば、リチウムジイソプロピルアミド、リチウムヘキサメチルジシラザン、カリウムヘキサメチルジシラザン、n-ブチルリチウム、カリウムtert-ブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウム等)の存在下、メタノール、エタノール、ジメチルホルムアミド、エーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、酢酸エチル、ジイソプロピルエーテ

ル、ジメトキシエタン、トルエン、ヘキサン、ジメチルスルホキシド等の有機溶媒、水又はこれらの混合溶媒中で縮合させ、次いで白金黒、酸化白金、パラジウム黒、酸化パラジウム、水酸化パラジウム、パラジウム炭素、ラネーニッケル等の金属触媒存在下、水素ガスにて接触還元させるか、又は水素化ホウ素ナトリウム、シアン化水素化ホウ素ナトリウム、トリメチルシラン、トリエチルシラン、アルカリ金属-アンモニア、アルカリ金属-エチルアミン、ナトリウムアマルガム、カリウムアマルガム等の還元剤で処理することにより合成することができる。

化合物(I)は、上記工程1、2又は3で得られた化合物(VI)を下記工程4~6に付すことにより合成することができる。

(工程4)

化合物(VII)は、化合物(VI)をナトリウム、カリウム、リチウム等のアルカリ金属の水酸化物若しくは炭酸塩、1,5-ジアザビシクロ[4.3.0]ノン-5-エン、1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン等の塩基、又は塩酸、臭化水素酸、硫酸、塩化水素、臭化水素、フッ化水素、酢酸、トリフルオロ酢酸等の酸存在下、メタノール、エタノール、ジクロロメタン、クロロホルム、テトラヒドロフラン、トルエン、キシレン等の有機溶媒、水又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させるか、メタノール、エタノール、ジメチルホルムアミド、エーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、酢酸等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、白金黒、酸化白金、パラジウム黒、酸化パラジウム、パラジウム炭素、ラネーニッケル等の金属触媒存在下、水素ガスにて接触還元させるか、又はテトラエチルアンモニウムフロライド、テトラ-*n*-ブチルアンモニウムフロライド等の4級アンモニウムフロライドの存在下、テトラヒドロフラン、ジメチルホルムアミド、ジメチルスルホキシド等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

(工程5)

化合物(I')は、化合物(VII)と化合物(VIII)とを、1-エチル

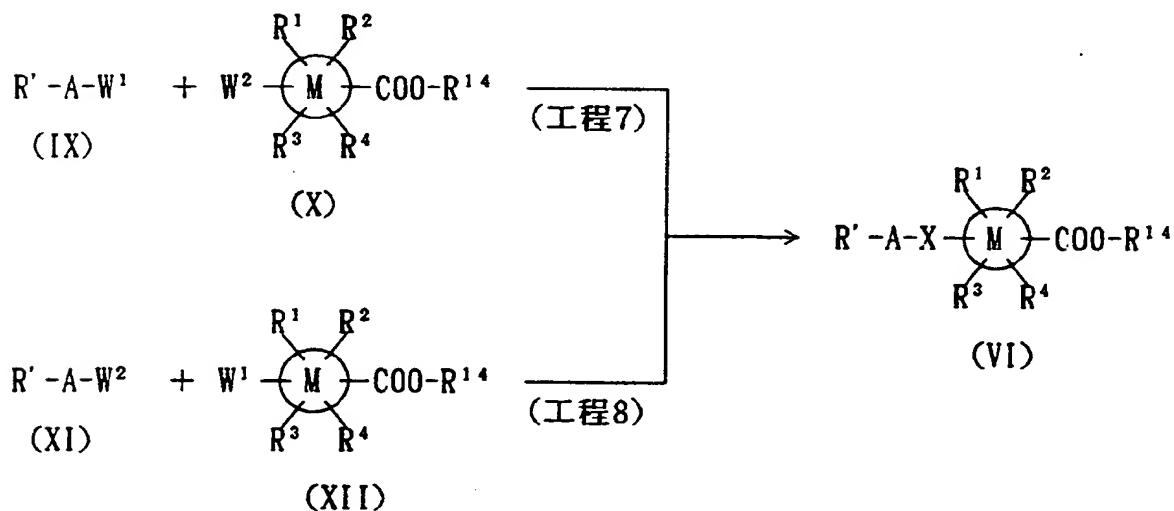
－ 3 － (3-ジメチルアミノプロピル) カルボジイミド・塩酸塩 (W S C · H C 1) 、ジシクロヘキシルカルボジイミド (D C C) 、ジフェニルホスホリルアジド (D P P A) 、カルボニルジイミダゾール (C D I) 等の縮合剤にて、必要に応じて 1-ヒドロキシベンゾトリアゾール (H O B T) 、ヒドロキシスクシンイミド (H O S u) 、N-ヒドロキシ-5-ノルボルネン-2, 3-ジカルボン酸イミド (H O N B) 等の活性化剤存在下、ジメチルホルムアミド、ジクロロメタン、クロロホルム、アセトニトリル、テトラヒドロフラン、ジメチルスルホキシド、四塩化炭素、トルエン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。但し、化合物 (V I I I) が例えば塩酸塩等の場合は、この反応はトリエチルアミン、N-メチルモルホリン、4-ジメチルアミノピリジン等の塩基の存在下で行ってもよい。また、R' が-CONHOH、-CH₂OH 等の水酸基を有する基の場合は、化合物 (V I I I) として、予めその水酸基が保護されたものを用いる。

(工程 6)

R' における水酸基保護基又はアミノ保護基の脱離工程であって、適宜公知の方法を採用すればよい。例えば、R' におけるアミノ保護基が B o c (tert-ブトキシカルボニル基) である場合は、化合物 (I') を塩酸、臭化水素酸、トリフルオロ酢酸、p-トルエンスルホン酸、メタンスルホン酸、塩化水素-ジオキサン、塩化水素-エーテル、塩化水素-酢酸エチル等の酸存在下、ジオキサン、エーテル、ジクロロメタン、テトラヒドロフラン、メタノール、エタノール、クロロホルム、ベンゼン、トルエン、酢酸エチル等の有機溶媒、水若しくはこれらの混合溶媒又は無溶媒中で反応させることにより、化合物 (I) を得ることができる。また、例えばアミノ保護基がベンジルオキシカルボニル基の場合には、メタノール、エタノール、ジメチルホルムアミド、エーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、酢酸等の有機溶媒、水又はこれらの混合溶媒中、パラジウム炭素、酸化白金、ラネーニッケル等の金属触媒存在下、水素ガスにて接触還元することにより合成することができる。さらに R' が水酸基保護基で保護された水酸

基の場合には、接触還元等の常法により合成することができる。なお、R⁷ が水酸基を保護した基である場合には、接触還元等の常法により水酸基保護基を脱離後、若しくは同時に上記工程を行ってもよい。

また、化合物 (I) においてR⁷ がカルボキシル基である場合は、例えばR⁷ がtert-ブトキカルボニル基又はベンジルオキカルボニル基である化合物 (I') を合成後、上記反応に付すことにより合成することができる。



〔式中、W¹ は、-COW³；-SO₂W³；又は-O-COW³（ここで、W³ は水酸基又はハロゲン原子を示す）を、

W² は水酸基；メルカブト基；又は-NR⁸H（ここで、R⁸ は前記と同義である）を表し、

A、X、M、R'、R¹、R²、R³、R⁴ 及びR¹⁴は前記と同義である〕

また、化合物 (VI) において、Xが-COO-；-CONR⁸-；-SO₂NR⁸-；-COS-；-OOC-NR⁸-；-O-CO-O-の場合には、下記の方法によっても合成することができる。

（工程7）

化合物 (VI) は、化合物 (IX) と化合物 (X) とを、WSC·HCl、DCC、DPPA、CDI等の縮合剤にて、必要に応じてHOBT、HOSu、HONB等の活性化剤存在下、ジメチルホルムアミド、ジクロロメタン、クロロホ

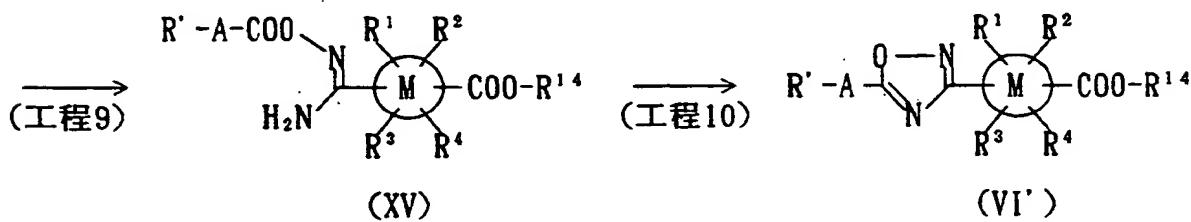
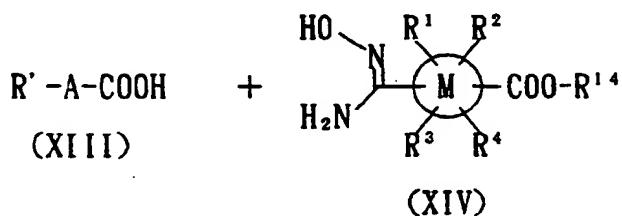
ルム、アセトニトリル、テトラヒドロフラン、ジメチルスルホキシド、四塩化炭素、トルエン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させる(この反応はトリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ピリジン、4-ジメチルアミノピリジン、N-メチルピペリジン等の塩基の存在下で行ってもよい)か、ナトリウム、カリウム、リチウム等のアルカリ金属の水酸化物若しくは炭酸塩、トリエチルアミン、ピリジン、N-メチルモルホリン、N-メチルピペリジン、4-ジメチルアミノピリジン等の塩基存在下、ジメチルホルムアミド、ジクロロメタン、クロロホルム、テトラヒドロフラン、ジメチルスルホキシド、ベンゼン、トルエン等の有機溶媒、水又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

化合物(VI)において、Xが $-OOC-$ ； $-NR^8CO-$ ； $-NR^8SO_2-$ ； $-NR^8-COO-$ の場合には、下記の方法によっても合成することができる。

(工程 8)

化合物(VI)は、化合物(XI)と化合物(III)とを用いて、前記工程7と同様の方法により合成することができる。

更に、Xが窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基、例えばオキサジアゾール環の2価基である場合には、下記の方法によっても合成することができる。



(式中、A、M、R'、R¹、R²、R³、R⁴ 及びR^{1'}は前記と同義である)

(工程 9)

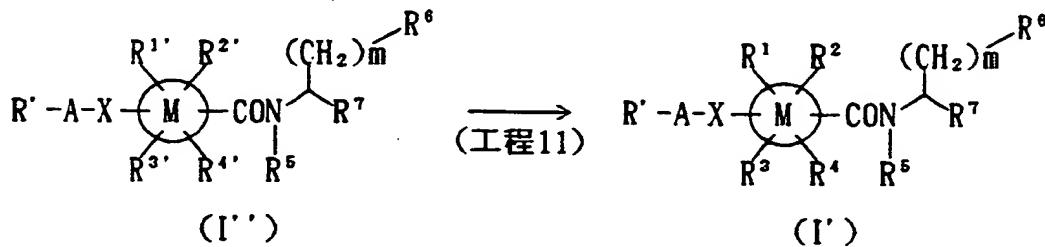
化合物(XV)は、化合物(XIII)と化合物(XIV)とを、WSC・HCl、DCC、DPPA、CDI等の縮合剤にて、必要に応じてHOBT、HOBu、HONB等の活性化剤存在下、ジメチルホルムアミド、ジクロロメタン、クロロホルム、アセトニトリル、テトラヒドロフラン、ジメチルスルホキシド、四塩化炭素、トルエン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。なお、この反応はトリメチルアミン、N-メチルモルホリン、ピリジン、4-ジメチルアミノピリジン、N-メチルピペリジン等の塩基の存在下で行ってもよい。

(工程 10)

化合物(VI')は、化合物(XV)をトルエン、ジオキサン、テトラヒドロフラン、ベンゼン、キシレン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、加熱することにより合成することができる。

なお、上記の工程7、8及び10で得られた化合物(VI)及び化合物(VI')を、上記工程4～6と同様の方法で処理することにより化合物(I)を合成することができる。

化合物(I)のR¹、R²、R³、R⁴の少なくとも1つがハロゲン原子である場合には、下記の方法によっても合成することができる。



[式中、R^{1'}、R^{2'}、R^{3'}、R^{4'}は、同一又は異なって水素原子；水酸基；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アル

キル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ （ここで、 R^{11} は前記と同義である）から選ばれる基であって、かつ少なくとも1つが水素原子を表し、

A、X、M、m、R'、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶及びR⁷は前記と同義である】

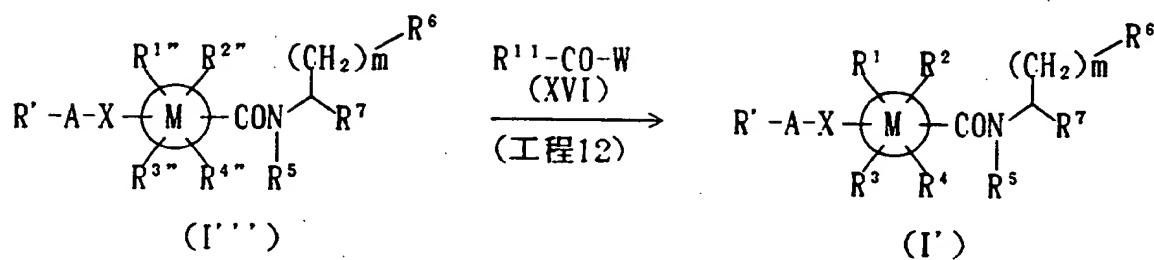
（工程11）

化合物（I'）は、化合物（I'')を、次亜塩素酸tert-ブチル、次亜臭素酸tert-ブチル、次亜ヨウ素酸tert-ブチル、塩化スルフリル、臭化スルフリル、塩化チオニル、臭化チオニル、フッ素、塩素、臭素、ヨウ素、フッ化水素、二フッ化銀、二フッ化キセノン等のハロゲン化剤の存在下、ジクロロメタン、クロロホルム、アセトニトリル、トルエン、ベンゼン、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、メタノール、エタノール、四塩化炭素、酢酸エチル等の有機溶媒若しくはこれらの混合溶媒中又は無溶媒で、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。この工程で保護基がはずれた場合には、再保護を行う。例えばBoc基の場合には、適当な塩基存在下（トリエチルアミン、ピリジン等）、ジ炭酸ジ-tert-ブチル等で保護を行う。

なお、得られた化合物（I'）を上記工程6と同様の方法で処理することにより化合物（I）を合成することができる。

また、上記工程11は、化合物（I'')に対応する化合物（VI）を合成した後に行ってもよく、次いで前記工程4～6と同様の方法で処理することにより化合物（I）を合成することができる。

化合物（I）のR¹、R²、R³、R⁴の少なくとも1つが $-O-CO-R^{11}$ である場合には、下記の方法によっても合成することができる。



[式中、R^{1''}、R^{2''}、R^{3''}、R^{4''}は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；又はアシル基であり、かつ少なくとも1つが水酸基を表し、

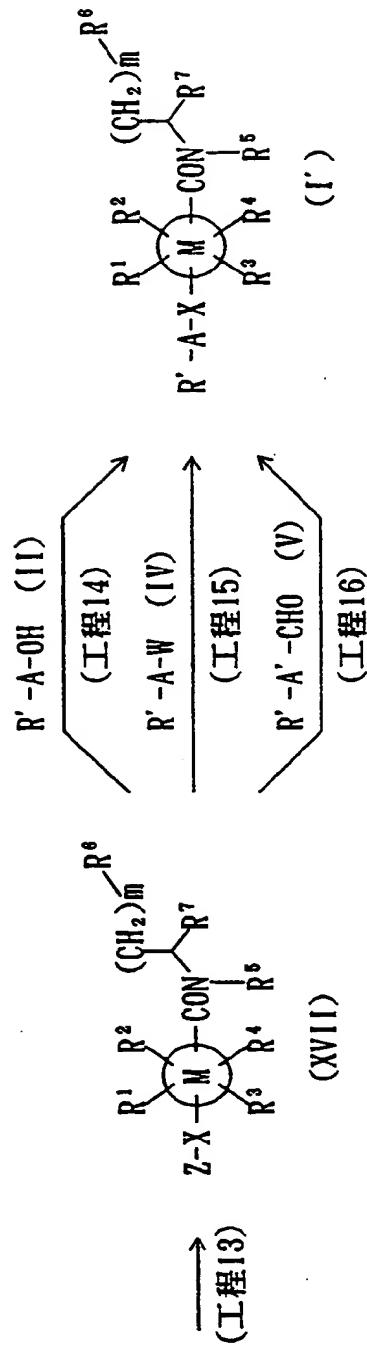
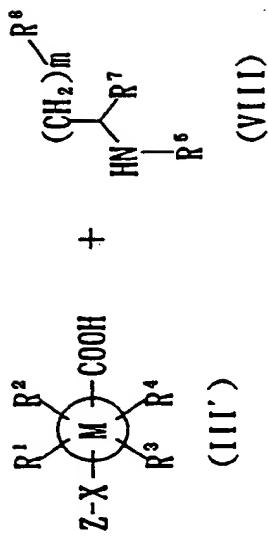
A、X、M、m、W、R'、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶、R⁷及びR¹¹は前記と同義である]

(工程12)

化合物(I')は、化合物(I''')を、ジクロロメタン、クロロホルム、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ベンゼン、トルエン、ジメチルホルムアミド、酢酸エチル、アセトニトリル等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、ピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、N-メチルピペリジン、4-ジメチルアミノピリジン等の塩基存在下、化合物(XVI)と反応させることにより合成することができる。

なお、得られた化合物(I')を上記工程6と同様の方法で処理することにより化合物(I)を合成することができる。

また、一般式(I)で示される本発明化合物は、下記の合成方法でも合成することができる。



(式中、A、A'、X、M、m、W、Z、R'、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶ 及びR⁷ は前記と同義である)

(工程 1 3)

化合物(XVII)は、化合物(III')と化合物(VIII)とを上記工程5と同様の反応に付すことにより合成することができる。

(工程 1 4)

化合物(I')は、化合物(II)と化合物(XVII)とを上記工程1と同様の反応に付すことにより合成することができる。

また、化合物(I')は下記の方法により合成することもできる。

(工程 1 5)

化合物(I')は、化合物(IV)と化合物(XVII)とを上記工程2と同様の反応に付すことにより合成することができる。

更に、化合物(I')、特にXが-NR⁸-、-CR⁸R¹⁰-の場合には下記の方法によっても合成することができる。

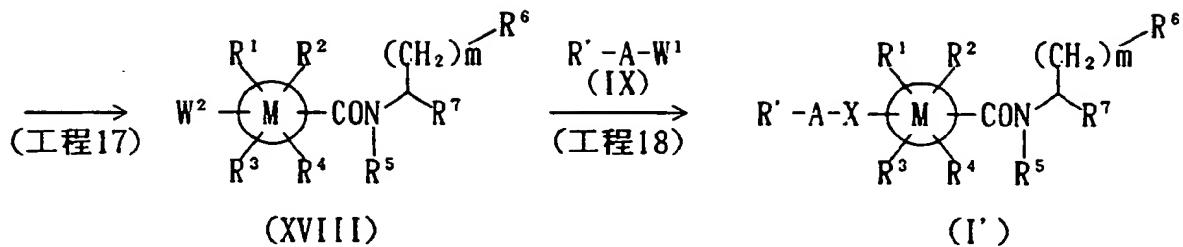
(工程 1 6)

化合物(I')は、化合物(V)と、化合物(XVII)とを上記工程3と同様の反応に付すことにより合成することができる。

なお、化合物(I)は、上記工程14～16で得られた化合物(I')を上記工程6と同様の反応に付すことにより合成することができる。

また、化合物(I')において、Xが-COO-；-CONR⁸-；-SO₂NR⁸-；-COS-；-OOC-NR⁸-；-O-CO-O-の場合には、下記の方法によっても合成することができる。





(式中、A、X、M、m、W¹、W²、R'、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶ 及びR⁷ は前記と同義である)

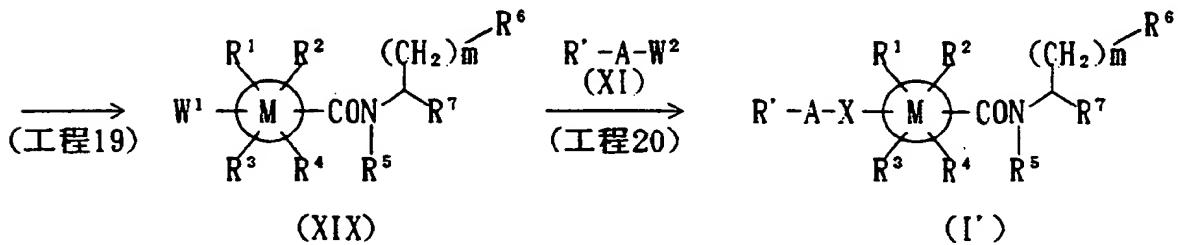
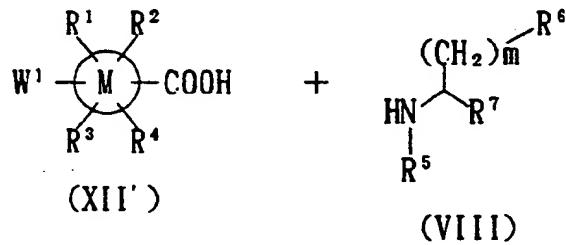
(工程 17)

化合物(XVIII)は、化合物(X')と化合物(IV)とを上記工程5と同様の反応に付すことにより合成することができる。

(工程 18)

化合物 (I') は、化合物 (IX) と化合物 (XVII) とを上記工程 7 と同様の反応に付すことにより合成することができる。

また、化合物 (I') において、Xが $-OOC-$ ； $-NR^8CO-$ ； $-NR^8SO_2-$ ； $-NR^8-COO-$ の場合には、下記の方法によっても合成することができる。



(式中、A、X、M、m、W¹、W²、R'、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶及びR⁷は前記と同義である)

(工程 19)

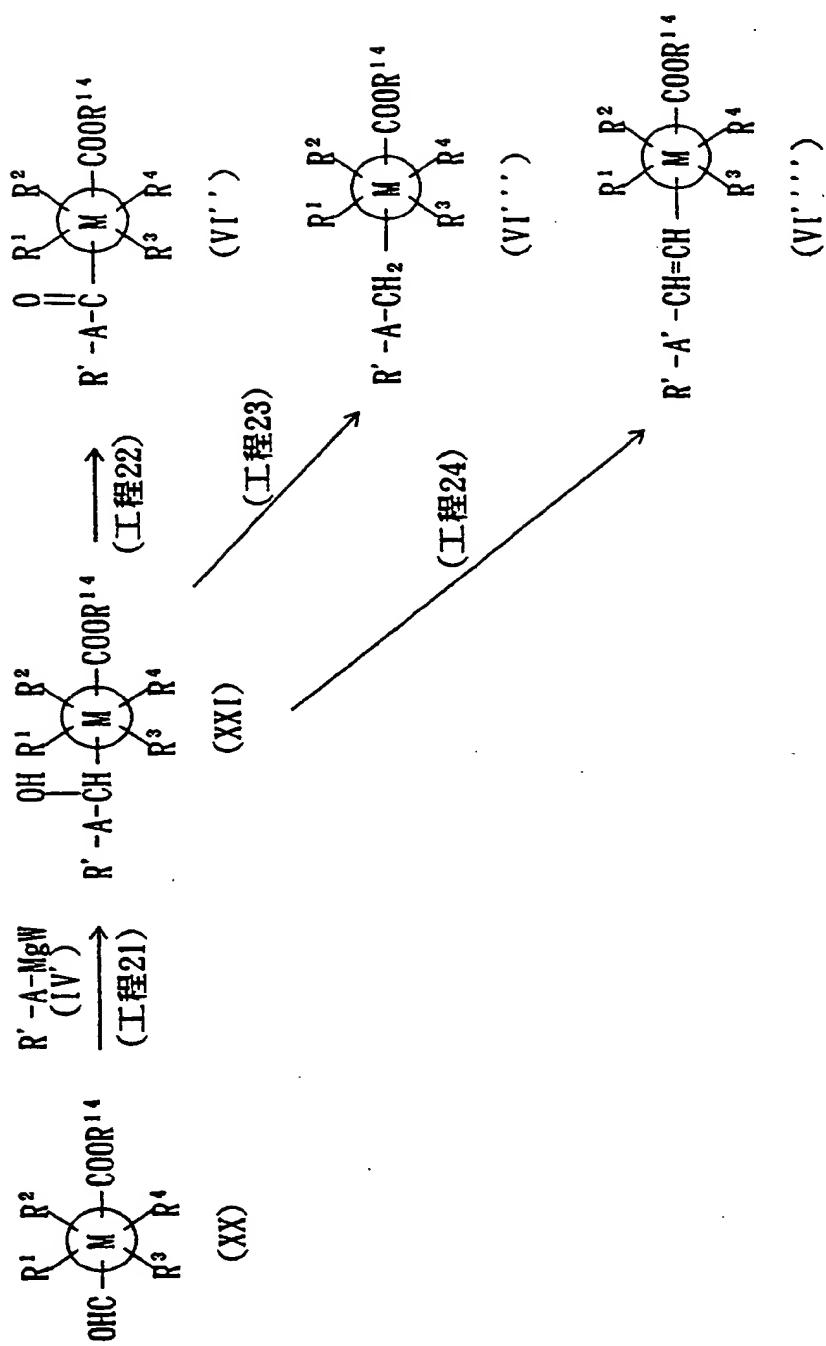
化合物 (XIX) は、化合物 (XII') と化合物 (VIII) とを上記工程 5 と同様の反応に付すことにより合成することができる。

(工程 20)

化合物 (I') は、化合物 (XI) と化合物 (XIX) を上記工程 8 と同様の反応に付すことにより合成することができる。

なお、化合物 (I) は、上記工程 18 及び工程 20 で得られた化合物 (I') を上記工程 6 と同様の反応に付すことにより合成することができる。

Xが $-CR^9R^{10}-$; $-CO-$; $-C=C-$; $-CS-$ の場合には、下記の方法によって合成することができる。



(式中、A、A'、M、X、m、W¹、W²、R'、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶、R⁷ 及びR¹⁴は前記と同義である)

(工程 21)

化合物 (XXI) は、化合物 (IV) より常法で調製された対応するグリニヤ

ール試薬 (IV') と化合物 (XX) とを、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、-78°C乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

(工程 2 2)

化合物 (VI'') は、化合物 (XXI) を無水クロム酸、クロロクロム酸ピリジニウム、二酸化マンガン、次亜塩素酸ナトリウム、四酸化ルテニウム等の酸化剤存在下、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

なお、Xが-C≡S-の場合には、上記方法で得られた化合物 (VI'') を硫化水素、五硫化リン、2, 4-bis (4-メトキシフェニル)-1, 3-ジチア-2, 4-ジホスフェタン-2, 4-ジスルフィド (Lawsson 試薬) 等の存在下、ベンゼン、トルエン、メタノール、エタノール等の有機溶媒又はその混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

(工程 2 3)

化合物 (VI''') は、化合物 (XXI) を、トリエチルシラン、水素化リチウムアルミニウム-塩化アルミニウム、水素化ホウ素ナトリウム-トリフルオロボラン、シアノ水素化ホウ素ナトリウム-ヨウ化メチル、トリフェニルホスホニウム等の還元剤存在下、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、-78°C乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

(工程 2 4)

化合物 (VI''') は、化合物 (XXI) を硫酸、リン酸、硫酸水素カリウム、シュウ酸、p-トルエンスルホン酸、三フッ化ホウ素-エーテル錯体、塩化チオニル-ピリジン、オキシ塩化リン-ピリジン、メタンスルホニルクロライド-ピリジン、p-トルエンスルホニルクロライド-ピリジン等の存在下、エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン等の有機溶媒又はこれらの混合溶媒中、氷冷下乃至加温下で反応させることにより合成することができる。

なお、これら上記工程 22～24 で得られた化合物 (VI'') 、 (VI''') 、 (VI''') を上記工程 4～6 と同様の方法で処理することにより化合物 (I) を合成することができる。

また、一般式 (I) の化合物は常法に従って、無機酸（例えば、塩酸、硫酸、リン酸、臭化水素酸、硝酸）又は有機酸（例えば、シュウ酸、マレイン酸、フマル酸、リンゴ酸、酒石酸、コハク酸、クエン酸、酢酸、乳酸、メタンスルホン酸、パラトルエンスルホン酸、安息香酸、吉草酸、マロン酸、ニコチン酸、プロピオン酸）と処理することにより、薬学的に許容される酸付加塩とができる。

このようにして得られる化合物は公知の分離精製法、例えば濃縮、減圧濃縮、溶媒抽出、晶析、再結晶、クロマトグラフィー等により、単離精製することができる。

本発明の化合物には、不斉炭素に基づく立体異性体 1 個以上が含まれ、そのような異性体及びそれらの混合物はすべてこの発明の範囲内に包含される。また、水和物、薬学的に許容される有機溶媒との溶媒和物も本発明に含まれる。さらに、本発明化合物のプロドラッグも本発明に範囲内に包含される。

本発明化合物は、哺乳動物（例えば、ヒト、ウサギ、イヌ、ネコ等）において、優れた炎症性サイトカイン產生抑制作用を有し、慢性関節リウマチ等のリウマチ性疾患、痛風による関節炎、全身性エリトマトーデス、乾癬・膿疱症・アトピー性皮膚炎等の皮膚疾患、気管支喘息・気管支炎・ARDS・びまん性間質性肺炎等の呼吸器疾患、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、激症肝炎を含む急性・慢性肝炎、急性・慢性糸球体腎炎、腎孟腎炎、ベーチェット病・vogt-小柳・原田病等に伴うぶどう膜炎、地中海熱（多発性漿膜炎）、心筋梗塞等の虚血疾患、敗血症に伴う全身循環不全や多臓器不全等に代表される好中球の浸潤を伴う非感染性、感染性疾患等の予防又は治療に有用である。

また、IL-6、GM-CSF 等の炎症性サイトカインに対しても抑制作用を有することが認められている。

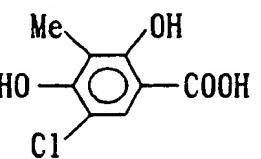
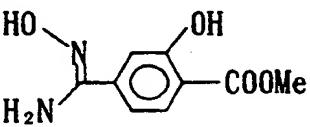
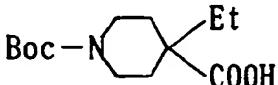
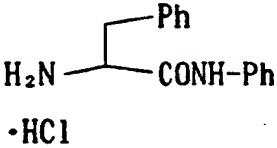
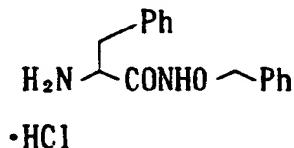
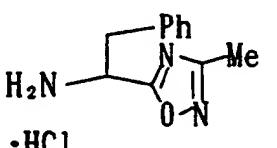
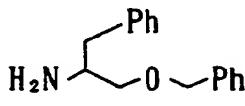
一般式（I）で示される本発明化合物又はその薬学的に許容される塩類を有効成分としてなる医薬製剤として用いる場合には、通常、それ自体公知の薬理学的に許容される担体、賦形剤、希釈剤、增量剤、崩壊剤、安定剤、保存剤、緩衝剤、乳化剤、芳香剤、着色剤、甘味剤、粘稠剤、矯味剤、溶解補助剤、その他の添加剤、具体的には水、植物油、エタノール又はベンジルアルコールのようなアルコール、ポリエチレングリコール、グリセロールトリアセテート、ゼラチン、ラクトース、でんぶん等のような炭水化物、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ラノリン、ワセリン等と混合して、錠剤、丸剤、散剤、顆粒剤、坐剤、注射剤、点眼剤、液剤、カプセル剤、トローチ剤、エアゾール剤、エリキシル剤、懸濁剤、乳剤、シロップ剤等の態様で医薬組成物とし、経口又は非経口的に投与することができる。

投与量は、疾患の種類及び程度、投与化合物並びに投与経路、患者の年齢、性別、体重等によって異なるが、例えば成人患者に経口投与する場合、通常1日当たり0.01～1000mg、好ましくは0.1～100mg程度の範囲から選ばれ、また成人患者にi.v.投与する場合、通常1日当たり0.01～1000mg、好ましくは0.05～50mg程度の範囲から選ばれ、これを1回又は数回に分けて投与することができる。

以下、製造例及び実施例を挙げて、本発明を更に具体的に説明する。

まず、表1に示す中間体化合物の製造例について示す。

表 1

製造例	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

製造例 1

5-クロロ-2, 4-ジヒドロキシ-3-メチル安息香酸

2, 4-ジヒドロキシ-3-メチル安息香酸メチル (9. 9 g) の酢酸エチル

(100 ml) 溶液に氷冷下、次亜塩素酸 *tert*-ブチル (12.3 ml) を加えた。2時間攪拌後、ヘキサン (200 ml) を加え、氷冷することにより結晶を析出させた。この結晶を濾取し、メタノール (20 ml) 及びテトラヒドロフラン (THF) (20 ml) の混合溶媒に溶かし、1M水酸化リチウム水溶液 (40 ml) を加え、18時間加熱還流した。反応液を濃縮し、残渣に10%クエン酸水溶液を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を水及び飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、有機層を減圧濃縮することにより表題化合物 (4.14 g、収率37%)を得た。

製造例 2

メチル 2-ヒドロキシベンゾエート-4-カルボキサミドオキシム
2-ヒドロキシ-4-シアノ安息香酸メチル (2.00 g) のメタノール (30 ml) 溶液に、水 (6 ml)、ヒドロキシアミン・塩酸塩 (1.57 g) 及び重炭酸ナトリウム (1.9 g) を加え、70°Cで3時間加熱攪拌した。反応液を濃縮し、10%クエン酸水溶液を加え、濾過した。濾液を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 3/2 v/v) で精製することにより表題化合物 (823 mg、収率35%)を得た。

製造例 3

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-エチルイソニペコチン酸
(1) 1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-エチルイソニペコチン酸エチル
1-*tert*-ブトキシカルボニルイソニペコチン酸エチル (576 mg) の THF (15 ml) 溶液に、リチウムジイソプロピルアミド (290 mg) の THF (10 ml) 溶液を、アルゴンガス気流下、-78°Cで加え、そのまま1時間攪拌した。ヨウ化エチル (0.36 ml) を上記溶液に-78°Cで加え、18時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を1N塩酸、水及び飽和食塩水で順次洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥し、有機層を減圧濃縮することにより表題化合物 (585 mg、収率92%)を得た。

(2) 1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-エチルイソニペコチン酸

1-tert-ブトキシカルボニル-4-エチルイソニペコチン酸エチル (570 mg) のエタノール (10 ml) 溶液に、1 M 水酸化リチウム水溶液 (8 ml) を加え、20 時間加熱還流した。その後、反応液を濃縮して、残渣に水を加えた。水層をエーテルで洗浄し、1 N 塩酸で酸性にし、エーテルで抽出した。有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥し、減圧濃縮することにより表題化合物 (233 mg、収率 45%) を得た。

製造例 4

L-フェニルアラニルアミノベンゼン・塩酸塩

N-tert-ブトキシカルボニル-L-フェニルアラニン・塩酸塩 (2.65 g) 及びアニリン (1.02 g) のジメチルホルムアミド (DMF) (50 ml) 溶液に、1-エチル-3-(3-ジメチルアミノプロピル)カルボジイミド・塩酸塩 (WSC・HCl) 及びヒドロキシベンゾトリアゾール (HOBT) (1.5 g) を室温下に加え、6 時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を 10% クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去することにより、N-tert-ブトキシカルボニル-L-フェニルアラニルアミノベンゼンを得た。得られた化合物をジクロロメタン (20 ml) に溶解させ、トリフルオロ酢酸 (10 ml) を室温下に加え、1 時間攪拌した。反応液にトルエン (10 ml) を加え、減圧濃縮した。残渣に 1 M 塩化水素-エーテル溶液 (10 ml) を加え、結晶化させることにより、表題化合物 (1.45 g、収率 52%) を得た。

製造例 5

L-フェニルアラニル-O-ベンジルヒドロキシアミド・塩酸塩

N-tert-ブトキシカルボニル-L-フェニルアラニン (2.65 g) 及び O-ベンジルヒドロキシアミン・塩酸塩 (1.60 g) を用いて、上記製造例 4 と同様の反応を行い、表題化合物 (2.48 g、収率 92%) を得た。

製造例 6

1-(3-メチル-1,2,4-オキサジアゾール-5-イル)-2-フェニ

ルエチルアミン・塩酸塩

アセトアミドオキシム(J. Saunders et al., J. Med. Chem., 33, 1128 (1990)) (2. 67 g) のTHF (125 ml) 溶液に、60%油性水素化ナトリウム (1. 44 g) を加え、1時間加熱還流した。その後、放冷し、反応液にN-tert-ブトキシカルボニル-L-フェニルアラニンメチルエステル (8. 38 g) のTHF (40 ml) 溶液を室温下に加え、20分間加熱還流した。その後、放冷し、水 (10 ml) を加え、減圧濃縮した。残渣に10%クエン酸水溶液を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(展開溶媒:ヘキサン/酢酸エチル=3/1 v/v)で精製することにより、N-tert-ブトキシカルボニル-1-(3-メチル-1, 2, 4-オキサジアゾール-5-イル)-2-フェニルエチルアミン (4. 43 g)を得た。この化合物を4N塩化水素-ジオキサン溶液 (50 ml) に加え、室温下、2時間攪拌した。反応液にトルエンを加え、減圧濃縮し、残渣にエーテルを加え、結晶化させることにより、表題化合物 (3. 25 g、収率47%)を得た。

製造例 7

O-ベンジル-L-フェニルアラニノール

L-フェニルアラニノール (11. 78 g) のTHF (200 ml) 溶液に60%油性水素化ナトリウム (3. 43 g) を室温下、徐々に加えた。20分経過後、反応液を1時間加熱還流した。その後、放冷し、氷冷下で臭化ベンジル (9. 27 ml) を徐々に加え、室温下で16時間攪拌した。反応液を飽和食塩水に加え、エーテルで抽出した。有機層を10%塩酸で抽出した。水層を水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性にし、エーテルで抽出した。これら有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、減圧濃縮することにより、表題化合物 (14. 5 g、収率77%)を得た。

実施例 1

N-(3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)

ベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩

工程 1) 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ) 安息香酸メチル (VI)

4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ-1-ブタノール (3 g) 及びそれ自体公知の 3, 5-ジクロロ-2, 4-ジヒドロキシ安息香酸メチル (3.85 g) の THF (80 ml) 溶液に、トリフェニルホスフィン (4.26 g) 及びアゾジカルボン酸ジイソプロピル (3.2 ml) を氷冷下に加え、16 時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 4/1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (5.2 g、収率 83%) を得た。

工程 4) 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ) 安息香酸 (VII)

上記工程 1) で得られた化合物 (3.46 g) をメタノール (12 ml) - THF (12 ml) 混合溶媒に溶解させ、1 M 水酸化リチウム水溶液 (24 ml) を加えて、60°C で 2 時間加熱攪拌した。氷冷した後、減圧濃縮し、残渣に 10% クエン酸水溶液 (50 ml) を加えて酸性にし、エーテル (50 ml) で抽出した。有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥した後、溶媒を減圧留去することにより、表題化合物 (3.22 g、収率 96%) を得た。

工程 5) N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ) ベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル (I')

上記工程 4) で得られた化合物 (3 g)、L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩 (1.59 g)、WSC-HCl (1.41 g) 及び HOBT (1 g) の DMF (10 ml) 溶液に、室温下、トリエチルアミン (1 ml) を滴下し、14 時間攪拌した。反応液に水 (60 ml) を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を 10% クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残渣をシリカゲルカラムク

ロマトグラフィー（展開溶媒：ヘキサン／酢酸エチル＝3／1 v/v）で精製することにより、表題化合物（2.72 g、収率65%）を得た。

工程6) N-[(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩(I)

上記工程5)で得られた化合物(5 g)のジオキサン(10 ml)溶液に、4 N塩化水素-ジオキサン溶液(40 ml)を加え、室温下、1.5時間攪拌した。反応液にトルエンを加え、減圧濃縮し、残渣にエーテル(50 ml)を加え、結晶化させることにより、表題化合物(4.2 g、収率95%)を得た(表2参照)。

実施例1'

N-[(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩

工程13) N-[(3,5-ジクロロ-2,4-ジヒドロキシベンゾイル)-L-フェニルアラニンメチルエステル(XVII)

3,5-ジクロロ-2,4-ジヒドロキシ安息香酸(17 g)、L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩(19.8 g)、WSC・HC1(17.6 g)及びHOBT(12.4 g)のDMF(70 ml)溶液に、室温下、トリエチルアミン(12.8 ml)を滴下し、16時間攪拌した。さらに、上記実施例1の工程5)と同様の後処理を行うことにより表題化合物(18.32 g、収率57%)を得た。

工程14) N-[(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル(I')

上記工程13)で得られた化合物(11.0 g)及び4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ-1-ブタノール(5.29 g)のTHF(100 ml)溶液に、トリフェニルホスフィン(7.51 g)及びアゾジカルボン酸ジイソブロピル(5.6 ml)を、氷冷下に加え、16時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(展開溶媒：ヘキサン／酢酸エ

チル = 3 / 1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (3. 10 g、収率 21 %) を得た。

工程 6) N - {3, 5 -ジクロロ -2 -ヒドロキシ -4 -[2 - (4 -メチルアミノブ -トキシ) ベンゾイル] -L -フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程 1 4) で得られた化合物 (10 g) のジオキサン (25 ml) 溶液に、室温下、4 N 塩化水素 - ジオキサン溶液 (88 ml) を滴下した。1. 5 時間後、トルエンを加えて、溶媒を減圧留去した。残渣にエーテル (120 ml) を加え、結晶化させることにより表題化合物 (8. 4 g、収率 95 %) を得た。

実施例 2

N - {3, 5 -ジクロロ -2 -ヒドロキシ -4 -[2 - (4 -メチルピペラジン -1 -イル) エトキシ] ベンゾイル} -L -フェニルアラニンエチルエステル・2 塩酸塩

工程 1) 3, 5 -ジクロロ -2 -ヒドロキシ -4 -[2 - (4 -メチルピペラジン -1 -イル) エトキシ] 安息香酸メチル (V I)

2 - (4 -メチルピペラジン -1 -イル) エタノール (14. 42 g) 及び 3, 5 -ジクロロ -2, 4 -ジヒドロキシ安息香酸メチル (52. 15 g) のクロロホルム (400 ml) 溶液に、トリフェニルホスフィン (28. 85 g) 及びアゾジカルボン酸ジイソプロピル (21. 7 ml) を室温下に加え、16 時間攪拌した。反応液に 1 N 塩酸 (300 ml) を加えて抽出することにより、表題化合物の粗生成物を得た。

工程 4) 3, 5 -ジクロロ -2 -ヒドロキシ -4 -[2 - (4 -メチルピペラジン -1 -イル) エトキシ] 安息香酸 (V I I)

上記工程 1) で得られた粗生成物の抽出液に 4 M 水酸化ナトリウム水溶液 (25 ml) を加えて、80 °C で 2 時間加熱攪拌した。さらに酢酸 (12. 3 g) を加えて、氷冷下攪拌し、結晶化させることにより、表題化合物 (27. 880 g、収率 79 %) を得た。

工程 5) N - {3, 5 -ジクロロ -2 -ヒドロキシ -4 -[2 - (4 -メチルピ

ペラジン-1-イル)エトキシ]ベンゾイル} -L-フェニルアラニンエチルエステル・2塩酸塩 (I' = I)

上記工程4)で得られた化合物 (958mg)、L-フェニルアラニンエチルエステル・塩酸塩 (923mg) 及びHOB T (445mg) のアセトニトリル (15ml) 溶液に、室温下、WSC・HCl (632mg) を加え、25時間攪拌した。反応混合液を減圧濃縮し、クロロホルムを加え、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: クロロホルム/メタノール = 10/1 v/v) で精製することにより、化合物 (1.386g)を得た。さらに、この化合物 (1.003g) のアセトン (10ml) 溶液に、4N塩化水素-酢酸エチル溶液を加え、結晶化させることにより、表題化合物 (1.073g、収率93%)を得た (表2参照)。

実施例3～87

実施例3～87の化合物を対応する化合物から実施例1、実施例1'又は実施例2と同様にして製造した (表3～45参照)。

実施例88

N-[2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブチル)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩

工程3) 4-[4-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ)ブチル]-2-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル (V I)

(1) 4-[4-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ)-1-ブテン-2-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル

常法により得られた [(3-ヒドロキシ-4-メトキシカルボニル)ベンジル]トリフェニルホスホニウムプロマイド (2.537g) のTHF (25ml) 溶液に、アルゴン気流下、0°Cでリチウムジイソプロピルアミドの2MTHF溶液 (5.5ml) を滴下し、30分間攪拌した。次いで、この溶液に、常法により得られた4-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ)ブチルアルデヒド

(1. 123 g) の THF (10 ml) 溶液を 0 °C でゆっくり滴下し、室温下、4 時間攪拌した。飽和塩化アンモニウム水溶液 (1 ml) をゆっくり加え、減圧濃縮し、トルエンにて抽出した。この抽出液を 10 % クエン酸水溶液及び飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 4/1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (0. 850 g、収率 51 %) を得た。

(2) 4-[4-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ) ブチル]-2-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル

上記 (1) で得られた化合物 (0. 845 g) のメタノール (20 ml) 溶液を 10 % パラジウム炭素 (0. 106 g) 存在下、水素気流下で激しく攪拌した。セライト濾過後、減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 4/1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (0. 810 g、収率 95 %) を得た。

工程 4) 4-[5-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ) ブチル]-2-ヒドロキシ安息香酸 (VII)

上記工程 3) で得られた化合物 (0. 806 g) を上記実施例 1 の工程 4) と同様の反応に付すことにより、表題化合物 (0. 760 g、収率 98 %) を得た。

工程 5) N-[2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブチル) ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル (I')

上記工程 4) で得られた化合物 (0. 753 g) 及び L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩 (0. 552 g) を上記実施例 1 の工程 5) と同様の反応に付すことにより、表題化合物 (0. 714 g、収率 63 %) を得た。

工程 6) N-[2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブチル) ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程 5) で得られた化合物 (0. 128 g) を上記実施例 1 の工程 6) と同様の反応に付すことにより、表題化合物 (0. 087 g、収率 78 %) を得た (表 4-6 参照)。

実施例 8 9 ~ 9 0

実施例 8 9 ~ 9 0 の化合物を対応する化合物から実施例 8 8 と同様にして製造した（表 4 6 ~ 4 7 参照）。

実施例 9 1

N - [3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(5-メチルアミノペンチル)ベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩

工程 1 1) 4 - [5 - (tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ) ペンチル] - 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル (V I)

上記実施例 8 8 の工程 3) と同様にして得られた 4 - [5 - (tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ) ペンチル] - 2-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル (3. 95 g) のアセトニトリル (35 ml) 溶液に、室温下、塩化スルフリル (9 ml) を加え、60°Cで1時間加熱攪拌した。反応液にトルエンを加え、減圧濃縮し、残渣にジクロロメタン (85 ml) を加えた。次いで、この溶液に、トリエチルアミン (7. 85 ml) 及びジ炭酸-ジ-tert-ブチル (4. 9 g) を加え、室温下、1時間攪拌した。反応液に水 (50 ml) を加え、洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 4/1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (2. 319 g、収率 50%) を得た。

工程 4) 4 - [5 - (tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ) ペンチル] - 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ安息香酸 (V I I)

上記工程 1 1) で得られた化合物 (2. 319 g) を上記実施例 1 の工程 4) と同様の反応に付すことにより、表題化合物 (1. 994 g、収率 89%) を得た。

工程 5) N - [4 - (5 - tert-ブトキシカルボニルメチルアミノペンチル) - 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル (I')

上記工程 4) で得られた化合物 (2. 874 g) 及び L-フェニルアラニンメ

チルエステル・塩酸塩 (1. 522 g) を上記実施例 1 の工程 5) と同様の反応に付すことにより、表題化合物 (3. 441 g、収率 86%) を得た。

工程 6) N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(5-メチルアミノペニチル) ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程 5) で得られた化合物 (3. 426 g) を上記実施例 1 の工程 6) と同様の反応に付すことにより、表題化合物 (2. 525 g、収率 83%) を得た (表 4 8 参照)。

実施例 9 2 ~ 1 0 4

実施例 9 2 ~ 1 0 4 の化合物を対応する化合物から実施例 9 1 と同様にして製造した (表 4 8 ~ 5 4 参照)。

実施例 1 0 5

N-[2-ベンゾイルオキシ-3, 5-ジクロロ-4-(4-メチルアミノブトキシ) ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩
工程 1 2) N-[2-ベンゾイルオキシ-3, 5-ジクロロ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ) ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル (I')

上記実施例 1 の工程 5) で得られた化合物 (212 mg) のジクロロメタン (3 ml) 溶液に、ピリジン (60 μ l) 及び塩化ベンゾイル (80 μ l) を室温下に加え、30 分間攪拌した。反応液に水 (5 ml) 加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を 10% クエン酸水溶液、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 3/1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (224 mg、収率 95%) を得た。

工程 6) N-[2-ベンゾイルオキシ-3, 5-ジクロロ-4-(4-メチルアミノブトキシ) ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程 1 2) で得られた化合物 (224 mg) を用いて、上記実施例 1 の

工程 6) と同様の反応を行い、表題化合物 (159 mg、収率 83%) を得た (表 55 参照)。

実施例 106～125

実施例 106～125 の化合物を対応する化合物から実施例 105 と同様にして製造した (表 55～65 参照)。

実施例 126

N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニン・塩酸塩

工程 6) N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニン・塩酸塩 (I)

上記実施例 1 の工程 5) と同様にして得られた N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニン-tert-ブチルエステル (490 mg) のジクロロメタン (8 ml) 溶液に、トリフルオロ酢酸 (4 ml) を室温下に加えて、14 時間攪拌した。反応液にトルエンを加え、減圧濃縮し、残渣に 1 M 塩化水素-エーテル溶液 (5 ml) を加え、結晶化させることにより、表題化合物 (250 mg、収率 67%) を得た (表 66 参照)。

実施例 127～135

実施例 127～135 の化合物を対応する化合物から実施例 126 と同様にして製造した (表 66～70 参照)。

実施例 136

N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブチルアミノ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル・二塩酸塩

工程 16) N-[2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブチルアミノ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンメチルエステル (I')

上記実施例 1' の工程 13) と同様にして得られた N-[4-アミノ-2-

ヒドロキシ) ベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル (1. 11 g) 及び 4-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ)-1-ブチルアルデヒド (711 mg) のメタノール (20 ml) 溶液を室温下、アルゴン気流下、4 時間攪拌した。この反応液に 10% パラジウム炭素 (200 mg) を加え、常圧下、水素ガスにて接触還元を行った。4 時間後、反応液を濾過し、濾液を減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 3/2 v/v) で精製することにより、表題化合物 (900 mg、収率 51%) を得た。

工程 11) N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブチルアミノ) ベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル (I')

上記工程 16) で得られた化合物 (900 mg) のジクロロメタン (20 ml) 溶液に氷冷下、次亜塩素酸 tert-ブチル (0.46 ml) を滴下した。これを氷冷下、50 分間攪拌した。反応液を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 3/1 v/v) で精製することにより、表題化合物 (830 mg、収率 82%) を得た。

工程 6) N-[3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブチルアミノ) ベンゾイル] -L-フェニルアラニンメチルエステル・二塩酸塩 (I)

上記工程 11) で得られた化合物 (280 mg) のクロロホルム (5 ml) 溶液に、トリフルオロ酢酸 (2.5 ml) を室温下に加え、20 分間攪拌した。反応液にトルエンを加え、減圧濃縮した。残渣に 1 M 塩化水素-エーテル溶液を加え、結晶化させることにより、表題化合物 (218 mg、収率 82%) を得た (表 71 参照)。

実施例 137

実施例 137 の化合物を対応する化合物から実施例 136 と同様にして製造し

た（表 7 1 参照）。

実施例 1 3 8

N- [3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-アミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニルアミノベンゼン・塩酸塩

上記実施例 1 の工程 4) と同様にして得られた 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルアミノブトキシ) 安息香酸 (347 mg) 及び L-フェニルアラニルアミノベンゼン・塩酸塩 (268 mg) を用いて、上記実施例 1 の工程 5) 及び工程 6) と同様にして表題化合物 (284 mg、收率 58%) を得た（表 7 2 参照）。

実施例 1 3 9～1 4 2

実施例 1 3 9～1 4 2 の化合物を対応する化合物から実施例 1 3 8 と同様にして製造した（表 7 2～7 4 参照）。

実施例 1 4 3

N- [3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニルヒドロキシアミド

工程 5) N- [3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-ベンジルオキシカルボニルメチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニル-O-ベンジルヒドロキシアミド (I')

上記実施例 1 の工程 4) と同様にして得られた 3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-ベンジルオキシカルボニルアミノブトキシ) 安息香酸 (237 mg) 及び L-フェニルアラニル-O-ベンジルヒドロキシアミド・塩酸塩 (203 mg) を用いて、上記実施例 1 の工程 5) と同様にして表題化合物 (325 mg、收率 59%) を得た。

工程 6) N- [3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-メチルアミノブトキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニルヒドロキシアミド (I)

上記工程 5) で得られた化合物 (210 mg) のメタノール (5 ml) 溶液に、水酸化パラジウム (42 mg) を加え、常圧下、水素ガスにて接触還元を行った。

12時間後、反応液を濾過し、濾液を減圧濃縮した。残渣にメタノール-エーテルを加え、結晶化させることにより表題化合物 (188mg、収率62%)を得た (表74参照)。

実施例144

N-[4-(4-アミノブトキシ)-3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシベンゾイル]-1-(3-メチル-1,2,4-オキサジアゾール-5-イル)-2-フェニルエチルアミン・塩酸塩

上記実施例1の工程4)と同様にして得られた3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルアミノブトキシ)安息香酸 (394mg) 及び1-(3-メチル-1,2,4-オキサジアゾール-5-イル)-2-フェニルエチルアミン・塩酸塩 (240mg) を用いて、上記実施例1の工程5) 及び工程6)と同様にして表題化合物 (299mg、収率58%)を得た (表75参照)。

実施例145

N-[4-(4-アミノブトキシ)-3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシベンゾイル]-L-フェニルアラニノール・塩酸塩

上記実施例1の工程4)と同様にして得られた3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(4-tert-ブトキシカルボニルアミノブトキシ)安息香酸 (394mg) 及びO-ベンジル-L-フェニルアラニノール (242mg) を用いて、上記実施例1の工程5)、実施例99の工程6)及び実施例1の工程6)と同様にして表題化合物 (190mg、収率42%)を得た (表75参照)。

実施例146

(2S)-3-フェニル-2-[5-(4-アミノブトキシ)-3-ヒドロキシ-2-ナフトイルアミノ]プロピオン酸メチルエステル・塩酸塩

工程13) (2S)-3-フェニル-2-(3,5-ジヒドロキシ-2-ナフトイルアミノ)プロピオン酸メチルエステル (XVII)

3,5-ジヒドロキシ-2-ナフトエ酸 (4.08g)、L-フェニルアラニ

ンメチルエステル・塩酸塩 (4. 74 g)、WSC・HCl (4. 22 g)、HOBT (2. 97 g) 及びN-メチルモルホリン (2. 41 ml) のDMF (200 ml) 溶液を、室温下、16時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を10%クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 1/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (4. 42 g、収率 61%) を得た。

工程 14) (2S)-3-フェニル-2-[5-(4-tert-ブトキシカルボニルアミノブトキシ)-3-ヒドロキシ-2-ナフトイルアミノ]プロピオン酸メチルエステル (I')

上記工程 13) で得られた化合物 (1. 83 g)、トリフェニルホスフィン (1. 31 g) 及び4-tert-ブトキシカルボニルアミノブチルアルコール (473 mg) のTHF (25 ml) 溶液に、室温下、アゾジカルボン酸ジイソブロビル (0. 98 ml) を滴下した。室温下、16時間後、反応液を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 2/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (375 mg、収率 30%) を得た。

工程 6) (2S)-3-フェニル-2-[5-(4-アミノブトキシ)-3-ヒドロキシ-2-ナフトイルアミノ]プロピオン酸メチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程 14) で得られた化合物 (375 mg) のTHF (5 ml) 溶液に、4 N 塩化水素-ジオキサン溶液 (5 ml) を加え、室温下、3時間攪拌し、減圧濃縮した。残渣にエーテルを加え、結晶化させることにより表題化合物 (187 mg、収率 57%) を得た (表 76 参照)。

実施例 147

N-[4-[4-(4-メチルアミノブトキシ)フェニル]ベンゾイル]-L-フェニルアラニンエチルエステル・塩酸塩

工程 13) 4-(4-ヒドロキシフェニル)ベンゾイル-L-フェニルアラニン

エチルエステル (XVIII)

4-(4-ヒドロキシフェニル) 安息香酸 (3.0 g)、L-フェニルアラニンエチルエステル・塩酸塩 (3.38 g) のDMF (30 ml) 溶液に、WSC・HCl (2.7 g)、HOBT (1.89 g) 及びトリエチルアミン (2 ml) を加え、室温下、14時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を10%クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮することにより表題化合物の粗生成物を得た。

工程15) N-[4-(4-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブトキシ)フェニル]ベンゾイル]-L-フェニルアラニンエチルエステル (I')

上記工程13) で得られた粗生成物のDMF (30 ml) 溶液に、4-(tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ)ブチルプロマイド (4.46 g) 及び炭酸カリウム (4.65 g) を加え、室温下、14時間攪拌した。反応液に酢酸エチルを加え、水、10%クエン酸水溶液及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。有機層を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒:ヘキサン/酢酸エチル=3/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (967 mg、収率10%)を得た。

工程6) N-[4-(4-(4-メチルアミノブトキシ)フェニル]ベンゾイル]-L-フェニルアラニンエチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程14) で得られた化合物 (140 mg) のTHF (2 ml) 溶液に、4N塩化水素-ジオキサン溶液 (2 ml) を加え、室温下、4時間攪拌し、減圧濃縮した。残渣にエーテルを加え、結晶化させることにより表題化合物 (71 mg、収率58%)を得た (表76参照)。

実施例148

(2S)-3-フェニル-2-[4-(5-(4-メチルアミノブチル)-1,2,4-オキサジアゾール-3-イル)-2-ヒドロキシベンゾイルアミノ]プロピオン酸エチルエステル・塩酸塩

工程 9) メチル 2-ヒドロキシベンゾエート-4-カルボキサミド O-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノバレリル) オキシム (XV)

4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノ吉草酸 (255 mg)、メチル 2-ヒドロキシベンゾエート-4-カルボキサミドオキシム (210 mg)、WSC・HC1 (211 mg) 及び4-ジメチルアミノピリジン (DMAP) (135 mg) のジクロロメタン (5 ml) 溶液を、室温下、16時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を10%クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 1/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (229 mg、収率 54%) を得た。

工程 10) 2-ヒドロキシ-4-[5-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブチル)-1,2,4-オキサジアゾール-3-イル] 安息香酸メチル (VI')

上記工程 9) で得られた化合物 (224 mg) のトルエン (20 ml) 溶液を、16時間加熱還流した。放冷後、反応液を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 3/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (148 mg、収率 69%) を得た。

工程 4) 2-ヒドロキシ-4-[5-(4-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノブチル)-1,2,4-オキサジアゾール-3-イル] 安息香酸 (VI)

上記工程 10) で得られた化合物 (146 mg) のエタノール (10 ml) 溶液に、1M水酸化リチウム水溶液 (5 ml) を加え、2時間加熱還流した。反応液を減圧濃縮し、残渣に10%クエン酸水溶液を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。有機層を減圧濃縮することにより表題化合物 (140 mg、収率 99%) を得た。

工程 5) (2S)-3-フェニル-2-[4-[5-(4-tert-ブトキシ

カルボニルメチルアミノブチル) - 1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル] - 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ] プロピオン酸エチルエステル (I')

上記工程 4) で得られた化合物 (140 mg)、L-フェニルアラニンエチルエステル・塩酸塩 (92 mg)、WSC・HCl (77 mg)、HOBT (54 mg) 及びトリエチルアミン (0.056 ml) のDMF (1.5 ml) 溶液を、室温下、15時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を 10% クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: ヘキサン/酢酸エチル = 2/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (174 mg、収率 85%) を得た。

工程 6) (2S)-3-フェニル-2-[4-[5-(4-メチルアミノブチル)-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル] - 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ] プロピオン酸エチルエステル・塩酸塩 (I)

上記工程 5) で得られた化合物 (172 mg) のTHF (2 ml) 溶液に、4 N 塩化水素-ジオキサン (2 ml) 溶液を加え、室温下、3時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残渣にエーテルを加え、結晶化させることにより表題化合物 (133 mg、収率 87%) を得た (表 77 参照)。

実施例 149～151

実施例 149～151 の化合物を対応する化合物から実施例 148 と同様にして製造した (表 77～78 参照)。

実施例 152

(2S)-2-[2-(3-メチルアミノプロピルスルファニル) ベンゾオキサゾール-5-カルボニルアミノ] - 3-フェニルプロピオン酸エチルエステル・塩酸塩

工程 2) 2-(3-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノプロピルスルファニル) - 5-エトキシカルボニルベンゾオキサゾール (V I)

5-エトキシカルボニル-2-メルカプトベンゾオキサゾール (670 mg)

のDMF溶液に、氷冷下、60%油状水素化ナトリウム(126mg)を加え、30分間攪拌した。反応液に3-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノプロピルクロライド(623mg)のDMF溶液を加え、60°Cで18時間加熱攪拌した。反応液に酢酸エチルを加え、有機層を水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。有機層を減圧濃縮し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(展開溶媒:ヘキサン/酢酸エチル=4/1 v/v)で精製することにより表題化合物(594mg、収率50%)を得た。

工程4) 2-(3-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノプロピルスルファンイル)-5-カルボキシベンゾオキサゾール(VII)

上記工程2)で得られた化合物(562mg)のエタノール(2ml)-THF(2ml)混合溶液に、1M水酸化リチウム水溶液を加え、60°Cで1時間加熱攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残渣に酢酸エチル及び10%クエン酸水溶液を加えた。有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧濃縮することで表題化合物(465mg、収率98%)を得た。

工程5) (2S)-2-[2-(3-tert-ブトキシカルボニルメチルアミノプロピルスルファンイル)ベンゾオキサゾール-5-カルボニルアミノ]-3-フェニルプロピオン酸エチルエステル(I')

上記工程4)で得られた化合物(465mg)、L-フェニルアラニンエチルエステル・塩酸塩(302mg)、WSC・HC1(250mg)、HOBT(176mg)及びトリエチルアミン(0.18ml)のDMF溶液を、室温下、14時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を10%クエン酸水溶液、水、飽和重曹水、水及び飽和食塩水で順次洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(展開溶媒:ヘキサン/酢酸エチル=4/1 v/v)で精製することにより表題化合物(240mg、収率40%)を得た。

工程6) (2S)-2-[2-(3-メチルアミノプロピルスルファンイル)ベンゾオキサゾール-5-カルボニルアミノ]-3-フェニルプロピオン酸エチルエ

ステル・塩酸塩 (I)

上記工程 5) で得られた化合物 (231 mg) の THF (5 ml) 溶液に、4 N 塩化水素-ジオキサン (5 ml) 溶液を加え、室温下、4 時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、エーテルを加え、結晶化させることにより表題化合物 (136 mg、収率 67%) を得た (表 7 9 参照)。

実施例 153～154

実施例 153～154 の化合物を対応する化合物から実施例 152 と同様にして製造した (表 7 9～8 0 参照)。

実施例 155

N-[(3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(3-ピペラジニルプロピオニルオキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンエチルエステル・二塩酸塩
工程 18) N-[(3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(3-(4-tert-ブトキシカルボニルピペラジニル)プロピオニルオキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンエチルエステル (I')

上記実施例 1' の工程 13) と同様にして得られた N-[(3, 5-ジクロロ-2, 4-ジヒドロキシベンゾイル)-L-フェニルアラニンエチルエステル (398 mg)、3-(4-tert-ブトキシカルボニルピペラジニル)プロピオニ酸 (258 mg) 及び 4-ジメチルアミノピリジン (147 mg) の DMF (4 ml) 溶液に、WSC・HCl (230 mg) を氷冷下に加え、室温で 2 時間攪拌した。反応液に酢酸エチル (40 ml) を加え、水、飽和重曹水、水、飽和食塩水で順次洗浄した。反応液を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー (展開溶媒: 酢酸エチル/ヘキサン = 1/1 v/v) で精製することにより表題化合物 (258 mg、収率 40%) を得た。

工程 6) N-[(3, 5-ジクロロ-2-ヒドロキシ-4-(3-ピペラジニルプロピオニルオキシ)ベンゾイル]-L-フェニルアラニンエチルエステル・二塩酸塩 (I)

上記工程 1 8) で得られた化合物 (258mg) のジクロロメタン (2m1) 溶液に、トリフルオロ酢酸 (2m1) を加え、室温で 10 分間攪拌した。溶媒を減圧留去した後、1M 塩化水素-エーテル (3m1) を加え、結晶化させることにより表題化合物 (173mg、収率 70%) を得た (表 8 1 参照)。

実施例 156～158

実施例 156～158 の化合物を対応する化合物から実施例 155 と同様にして製造した (表 8 1～8 2 参照)。

上記実施例の化合物の構造式及び物理的性状を表 2～表 8 2 に示す。

表中、Me はメチル基、Et はエチル基、Ph はフェニル基、Bn はベンジル基、Ac はアセチル基を示す。

表2

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
1 •HCl	<chem>CC(C(=O)c1ccc(Cl)c(O)c1)OCCN(C)C</chem>	DMSO-d ₆ 1.82(4H, t, J=5. 4Hz) 2.56(3H, t, J=5. 4Hz) 2.96(2H, bs) 3.04-3.28(2H, m) 3.66(3H, s) 4.05(2H, bs) 4.72-4.82(1H, m) 7.18-7.30(5H, m) 8.17(1H, s) 8.48(2H, bs) 9.44(1H, bs) 13.35(1H, s)	KBr 3422 2953 1742 1637 1458 1219	469 (free base, MH ⁺)	$\text{C}_{22}\text{H}_{26}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 52.24 H, 5.38 N, 5.53 測定値 C, 52.05 H, 5.37 N, 5.51
2 •2HCl	<chem>CC(C(=O)c1ccc(Cl)c(O)c1)OCCN1CCN(C)CC1</chem>	DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=6. 0Hz) 2.81(3H, s) 3.0-3.60(10H, m) 4.11(2H, q, J=6. 0Hz) 4.34(2H, brs) 4.68-4.78(1H, m) 7.19-7.29(5H, m) 8.22(1H, s) 9.46(1H, d, J=7. 0Hz) 13.40(1H, brs)	KBr 3406 2957 2372 1736 1642 1458	524 (free base, MH ⁺)	$\text{C}_{26}\text{H}_{31}\text{Cl}_2\text{N}_3\text{O}_5\cdot2\text{HCl}$ 計算値 C, 50.27 H, 5.57 N, 7.03 測定値 C, 50.19 H, 5.74 N, 6.93

表3

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
3 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(CH}_2)_3-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.86-2.04(2H, m) 2.82-2.92(2H, m) 3.02-3.18(2H, m) 3.64(3H, s) 4.06-4.17(2H, m) 4.72-4.84(1H, m) 6.42-6.52(2H, m) 7.16-7.34(5H, m) 7.65(1H, d, J=8.5Hz) 7.96(3H, brs) 8.21(1H, d, J=7.4Hz) 10.24(1H, s)	KBr 3383 1739 1632 1607 1534 1498	372 (free base, MH $^+$)	
4 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.46-1.73(4H, m) 2.63-2.86(2H, m) 3.00-3.18(2H, m) 3.64(3H, s) 3.92-4.11(2H, m) 4.78-4.89(1H, m) 6.43-6.53(2H, m) 7.10-7.34(5H, m) 7.75(1H, d, J=8.5Hz) 7.82-8.04(3H, brs) 8.22(1H, d, J=7.0Hz) 10.24(1H, s)	KBr 3378 1630 1604 1534 1498	386 (free base, MH $^+$)	

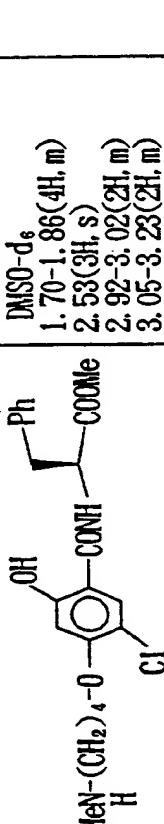
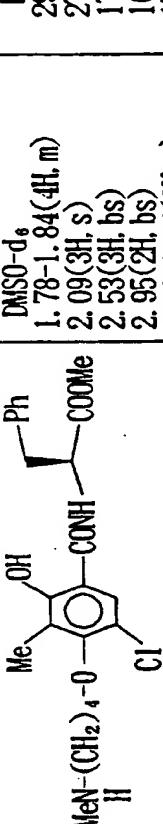
4
表

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
5 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_5-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COOMe}$	DMSO-d ₆ 1.18-1.54(4H, m) 2.62-2.78(2H, m) 3.02-3.21(2H, m) 3.67(3H, s) 3.91-4.08(2H, m) 4.82-4.94(1H, m) 6.42-6.52(2H, m) 7.08-7.18(2H, m) 7.20-7.36(3H, m) 7.78(1H, d, J=8.4Hz) 7.80-7.94(3H, brs) 8.24(1H, d, J=7.3Hz) 10.25(1H, s)	KBr 1630 1604 1534 1498 1201	400 (free base, MH ⁺)	
6 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_6-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COOMe}$	DMSO-d ₆ 1.14-1.34(4H, m) 1.40-1.61(4H, m) 2.66-2.80(2H, m) 3.01-3.16(2H, m) 3.92-4.04(2H, m) 4.80-4.90(1H, m) 6.44(1H, d, J=2.2Hz) 6.48(1H, dd, J=8.4, 2.2Hz) 7.10-7.32(5H, m) 7.77(1H, d, J=8.4Hz) 7.85(3H, brs) 8.24(1H, d, J=7.4Hz) 10.22(1H, brs)	KBr 3378 1630 1605 1534 1498 1181	414 (free base, MH ⁺)	

表5

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
7 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COOEt})_2-\text{NH}-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.72-1.88(4H, m) 2.48-2.57(3H, m) 2.90-3.01(2H, m) 3.10-3.25(2H, m) 3.66(3H, s) 4.16(2H, t, J=6Hz) 4.69-4.76(1H, m) 6.78(1H, d, J=9Hz) 7.16-7.32(5H, m) 7.94(1H, d, J=9Hz) 8.70(2H, brs) 9.26(1H, d, J=9Hz) 13.35(1H, s)	Neat 2954 1728 1642 1589 1548 1497	435 (free base, MH ⁺)	
8 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COOEt})_2-\text{NH}-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=6Hz) 1.72-1.88(4H, m) 2.49-2.55(3H, m) 2.90-3.02(2H, m) 3.10-3.24(2H, m) 4.11(2H, q, J=6Hz) 4.17(2H, t, J=6Hz) 4.65-4.73(1H, m) 6.79(1H, d, J=9Hz) 7.17-7.32(5H, m) 7.95(1H, d, J=9Hz) 8.09(2H, brs) 9.23(1H, d, J=9Hz) 13.37(1H, s)	Neat 2958 1773 1641 1588 1547 1497	449 (free base, MH ⁺)	

表6

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
9 ·HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{CO}-\text{NH}-\text{Ph}$ 	DMSO-d ₆ 1.70-1.86(4H, m) 2.53(3H, s) 2.92-3.02(2H, m) 3.05-3.23(2H, m) 3.65(3H, s) 4.07-4.17(2H, m) 4.68-4.78(1H, m) 6.65(1H, s) 7.20-7.31(5H, m) 8.02(1H, s) 8.60(2H, brs) 8.99(1H, d, J=7.0Hz) 12.49(1H, brs)	435 (free base, NH ⁺)		
10 ·HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{CO}-\text{NH}-\text{Ph}$ 	DMSO-d ₆ 1.78-1.84(4H, m) 2.09(3H, s) 2.53(3H, bs) 2.95(2H, bs) 3.08-3.24(2H, m) 3.66(3H, s) 3.88-3.94(2H, m) 4.68-4.82(1H, m) 7.18-7.32(5H, m) 8.03(1H, s) 8.78(2H, brs) 9.29(1H, d, J=7.7Hz) 12.92(1H, s)	449 (free base, NH ⁺)	KBr 2950 2783 1745 1637 1544 1465 1369 1264	

7

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
11	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d ₆ 2.65-2.69(3H, m) 3.09-3.22(2H, m) 3.36-3.42(2H, m) 3.64-3.67(3H, m) 3.66(3H, s) 4.28(2H, t, J=6.0Hz) 4.74-4.81(1H, m) 7.19-7.28(5H, m) 8.23(1H, s) 8.95-9.03(2H, m) 9.53(1H, d, J=6.0Hz) 13.38(1H, s)	KBr 3422 2952 2730 1744 1942 1585 1545 1458 1353 1221	441 (free base, MH $^+$)	$\text{C}_{21}\text{H}_{22}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 50.28 H, 4.85 N, 5.86 測定値 C, 50.19 H, 4.69 N, 5.74
12	$\text{H}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.65-1.85(4H, m) 2.77-2.94(2H, m) 3.15(1H, dd, J=14.0, 9.0Hz) 3.24(1H, dd, J=14.0, 6.0Hz) 3.66(3H, s) 4.00-4.14(2H, m) 4.65-4.90(1H, m) 7.15-7.40(5H, m) 7.87(3H, brs) 8.19(1H, s) 9.45(1H, d, J=6.0Hz) 13.35(1H, s)	KBr 2953 1641 1585 1542 1457 1355 1221	455 (free base, MH $^+$)	$\text{C}_{21}\text{H}_{24}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 51.29 H, 5.12 N, 5.70 測定値 C, 50.78 H, 5.17 N, 5.58

表8

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
13	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CO}-\text{CH}_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.63-1.95(4H, m) 2.25(3H, s) 2.92-3.07(4H, m) 3.57(3H, s) 3.88(2H, t, J=6.0Hz) 4.65-4.71(1H, m) 7.18-7.30(6H, m) 7.50(1H, s) 8.41(1H, brds) 12.25-12.27(1H, m)	KBr 3423 2951 1743 1618 1571 1541 1434 1205 1065	469 (M ⁺)	
14	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OMe})-\text{CO}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ •HCl	DMSO-d ₆ 1.84(4H, s) 2.54(3H, s) 2.90-3.25(4H, m) 3.53(3H, s) 3.68(3H, s) 4.02(2H, m) 4.76(1H, m) 7.20-7.32(5H, m) 7.41(1H, m) 8.75(1H, d, J=9Hz)		483 (free base, M ⁺)	

表9

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
15	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{Cl}$ H Cl $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d_6 1.79-1.89(4H, m) 2.55(2H, t, $J=6.0\text{Hz}$) 2.85-3.00(2H, m) 3.06(1H, dd, $J=15.6, 8.4\text{Hz}$) 3.57(3H, s) 3.65(3H, s)	KBr 1640 1586 1515 1458 1354 1221	485 (free base, M^+)	$\text{C}_{22}\text{H}_{26}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 50.64 H, 5.22 N, 5.37 測定値 C, 49.62 H, 5.29 N, 5.46

表10

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
16	$\text{EtN}^{\text{H}}\text{-(CH}_2\text{)}_4\text{-O-}\text{Cl}\text{ }\text{Ph}\text{ }\text{COOMe}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.20(3H, t, J=6.0Hz) 1.82-1.88(4H, m) 2.92-2.95(4H, m) 3.09-3.33(2H, m) 3.66(3H, s) 4.03-4.07(2H, m) 4.71-4.79(1H, m) 7.19-7.23(5H, m) 8.20(1H, s) 8.58-8.76(2H, m) 9.48(1H, d, J=6.0Hz) 13.35(1H, s)	KBr 2954 1747 1641 1584 1542 1458 1354 1219	483 (free base, MH^+)	$\text{C}_2\text{H}_2\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 53.14 H, 5.62 N, 5.39 測定値 C, 52.54 H, 5.50 N, 5.40
17	$\text{Me}_2\text{N}^{\text{H}}\text{-(CH}_2\text{)}_4\text{-O-}\text{Cl}\text{ }\text{Ph}\text{ }\text{COOMe}$	CDCl_3 1.80-1.91(2H, m) 1.95-2.07(2H, m) 2.59(6H, s) 2.96-3.13(2H, m) 3.18-3.32(2H, m) 3.73(3H, s) 3.96-4.07(2H, m) 5.15(1H, q, J=6Hz) 7.10-7.30(5H, m) 7.85(1H, s) 9.97(1H, brs)	Neat 2952 2360 1743 1633 1437	483 (MH^+)	

表1-1

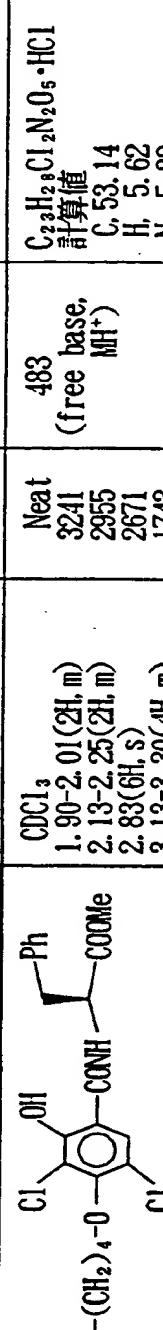
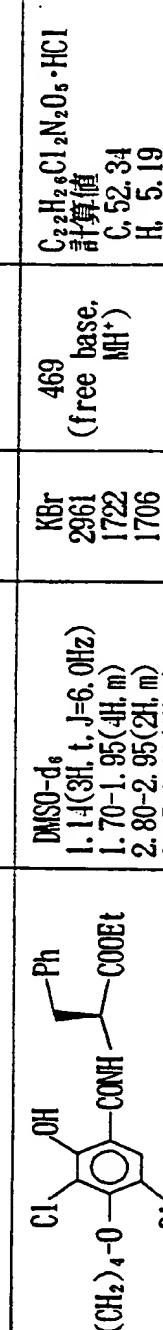
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
18		CDCl ₃ 1.90-2.01(2H, m) 2.13-2.25(2H, m) 2.83(6H, s) 3.13-3.30(4H, m) 3.81(3H, s) 4.09(2H, t, J=6Hz) 5.02(1H, q, J=7Hz) 7.14-7.43(7H, m) 7.48(1H, s)	Neat 3241 2955 2671 1743 1640 1584 1461	483 (free base, NH ⁺)	C ₂₃ H ₂₆ Cl ₄ N ₂ O ₅ ·HCl 計算値 C, 53.14 H, 5.62 N, 5.39 測定値 C, 53.24 H, 5.63 N, 5.34
19		DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=6.0Hz) 1.70-1.95(4H, m) 2.80-2.95(2H, m) 3.05-3.28(2H, m) 3.95-4.15(4H, m) 4.60-4.75(1H, m) 7.18-7.40(5H, m) 7.91(3H, brs) 8.21(1H, s) 9.47(1H, d, J=6.0Hz) 13.36(1H, s)	KBr 2961 1722 1706 1643 1544 1459 1354 1216	469 (free base, NH ⁺)	C ₂₂ H ₂₄ Cl ₄ N ₂ O ₅ ·HCl 計算値 C, 52.34 H, 5.19 N, 5.55 測定値 C, 51.62 H, 5.41 N, 5.48

表12

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
20	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{C}(=\text{O})-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ COOEt	DMSO-d ₆ 1.20(3H, t, J=7Hz) 1.81(4H, brs) 2.55-3.39(7H, m) 3.96(2H, brs) 4.01-4.28(2, 3H, m) 5.15(0.7H, m) 6.08(0.3H, brs) 6.63(0.7H, brs) 6.94-7.39(5H, m) 7.91(3H, brs) 10.14(1H, brs)	KBr 3422 2959 1736 1627 1447 1406 1333 1182	483 (free base, MH $^+$)	C ₂₃ H ₂₈ Cl ₂ N ₂ O ₅ ·HCl 計算値 C, 53.14 H, 5.62 N, 5.39 測定値 C, 52.85 H, 5.69 N, 5.24
21	$\text{MeN}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{C}(=\text{O})-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ COOEt	CDCl ₃ 1.16(3H, t, J=8Hz) 1.50-1.75(4H, m) 2.38(3H, s) 2.90-3.05(2H, m) 3.26(2H, dq, J=3, 12Hz) 3.30-3.45(2H, m) 4.00-4.10(2H, m) 5.02-5.10(1H, m) 7.10-7.15(2H, m) 7.20-7.30(3H, m) 8.00(1H, s) 10.76(1H, brs)		483 (MH $^+$)	

表13

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
22	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{COOEt}$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=6.0Hz) 1.77-1.91(4H, m) 2.54(3H, t, J=6.0Hz) 2.89-3.00(2H, m) 3.13(1H, dd, J=9, 15.0Hz) 3.22(1H, dd, J=6, 15.0Hz) 4.00-4.11(2H, m) 4.08(2H, q, J=6.0Hz) 4.68-4.79(1H, m) 7.18-7.32(5H, m) 8.21(1H, s) 8.72(2H, brs) 9.48(1H, d, J=6.9Hz) 13.36(1H, s)	KBr 1730 1584 1459 1352 1216	483 (free base, MH ⁺)	C ₁₂ H ₂₃ Cl ₂ N ₂ O ₆ ·HCl 計算値 C, 53.14 H, 5.62 N, 5.39 測定値 C, 53.36 H, 5.71 N, 5.53
23	$\text{Me}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{COOEt}$	CDCl ₃ 1.27(3H, t, J=7.5Hz) 1.82-2.04(4H, m) 2.55(6H, s) 2.95-3.11(2H, m) 3.25(2H, d, J=4Hz) 3.93-4.04(2H, m) 4.12-4.22(2H, m) 5.11-5.18(1H, m) 7.13-7.30(5H, m) 7.90(1H, s) 10.31(1H, brs)	Neat 2956 1738 1634 1574 1538 1440	497 (MH ⁺)	

表14

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
24 •HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CH}(\text{Ph})-\text{COOEt}$	DMSO-d ₆ 1.13(3H, t, J=7.5Hz) 1.76-1.95(4H, m) 2.74(6H, s) 3.06-3.24(4H, m) 4.04-4.14(4H, m) 4.68-4.75(1H, m) 7.18-7.29(5H, m) 8.21(1H, s) 9.54(1H, brs)	Neat 2956 1738 1639 1583 1461	497 (free base, MH $^+$)	$\text{C}_{22}\text{H}_{24}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 53.99 H, 5.85 N, 5.25 測定値 C, 54.11 H, 5.86 N, 5.27
25 •HCl	$\text{H}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_6-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CH}(\text{Ph})-\text{COOEt}$	DMSO-d ₆ 1.13(3H, t, J=6.0Hz) 1.30-1.62(6H, m) 1.65-1.80(2H, m) 2.80-2.88(2H, m) 3.03-3.27(2H, m) 3.98-4.15(4H, m) 4.60-4.78(1H, m) 7.10-7.40(5H, m) 7.78(3H, brs) 8.19(1H, s) 9.44(1H, d, J=6.0Hz) 13.35(1H, s)	KBr 1641 1585 1458 1219	497 (free base, MH $^+$)	$\text{C}_{24}\text{H}_{30}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 53.99 H, 5.85 N, 5.25 測定値 C, 52.75 H, 5.59 N, 4.72

表 15

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
26 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH}, \text{Ph}, \text{COOEt})-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{Cl}$	DMSO-d ₆ 1.13(3H, t, J=7. 1Hz) 1.33-1.36(4H, m) 1.47-1.58(4H, m) 1.73-1.83(2H, m) 2.72-2.82(2H, m) 3.08-3.26(2H, m) 4.03(2H, t, J=6. 4Hz) 4.11(2H, q, J=7. 1Hz) 4.66-4.73(1H, m) 7.18-7.29(5H, m) 7.73-7.84(3H, m) 8.19(1H, s) 9.45(1H, d, J=7. 1Hz) 13.36(1H, s)	KBr 3420 2936 1719 1641 1585 1543 1458 1352 1219	511 (free base, MH $^+$)	C ₂₅ H ₃₂ Cl ₂ N ₂ O ₆ ·HCl 計算値 C, 54. 80 H, 6. 07 N, 5. 11 測定値 C, 53. 81 H, 6. 10 N, 4. 96
27 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH}, \text{Ph}, \text{COOEt})-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{Cl}$	DMSO-d ₆ 1.08-1.10(3H, d, J=6. 0Hz) 1.17-1.19(3H, d, J=6. 0Hz) 1.82(4H, brs) 2.88(2H, brs) 3.10-3.30(2H, m) 4.04(2H, brs) 4.60-4.90(2H, m) 7.21-7.30(5H, m) 7.89(3H, brs) 8.19(1H, s) 9.50(1H, brs) 13.38(1H, brs)	KBr 3420 2981 1717 1641 1585 1458	483 (free base, MH $^+$)	C ₂₃ H ₂₈ Cl ₂ N ₂ O ₆ ·HCl 計算値 C, 53. 14 H, 5. 62 N, 5. 39 測定値 C, 51. 51 H, 5. 41 N, 4. 99

表16

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FB-MS	元素分析 (%)
28 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{COH}-\text{CH}_2-\text{COO}-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 0.82(6H, d, J=6.0Hz) 1.74-1.90(4H, m) 2.80-2.95(2H, m) 3.10-3.28(3H, m) 3.86(2H, d, J=6.0Hz) 4.06-4.10(2H, m) 4.70-4.78(1H, m) 7.16-7.32(5H, m) 7.85(3H, brs) 8.19(1H, s) 9.45(1H, d, J=7.0Hz) 13.37(1H, s)	KBr 3385 2962 1721 1642 1585 1542 1458 1355 1218	497 (free base, NH^+)	$\text{C}_{24}\text{H}_{23}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 55.99 H, 5.85 N, 5.25 測定値 C, 53.22 H, 5.94 N, 5.21
29 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{COH}-\text{CH}_2-\text{COO}-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 0.82(6H, d, J=6.7Hz) 1.75-1.90(5H, m) 2.54(3H, s) 2.90-3.30(4H, m) 3.85(2H, d, J=7.0Hz) 4.00-4.10(2H, m) 4.60-4.70(1H, m) 7.15-7.32(5H, m) 8.19(1H, s) 8.67(2H, brs) 9.50(1H, brs) 13.38(1H, s)	KBr 3360 2961 1740 1640 1584 1460	511 (free base, NH^+)	$\text{C}_{25}\text{H}_{24}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 54.80 H, 6.07 N, 5.11 測定値 C, 54.59 H, 6.06 N, 4.98

表17

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
30 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}-\text{COO}-\text{X}$	$\text{DMSO}-\text{d}_6$ 1.35(9H, s) 1.70-1.94(4H, m) 2.77-3.01(2H, m) 3.05-3.18(2H, m) 4.00-4.10(2H, m) 4.52-4.68(1H, m) 7.15-7.34(5H, m) 7.80-8.03(3H, brs) 8.21(1H, s) 9.40(1H, brs) 13.44(1H, s)	KBr 2977 1640 1586 1386 1153	497 (free base, M^+)	$\text{C}_{24}\text{H}_{30}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 53.99 H, 5.85 N, 5.25 測定値 C, 53.83 H, 6.14 N, 5.07
31 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}-\text{COO}(\text{CH}_2)_5\text{Me}$	$\text{DMSO}-\text{d}_6$ 0.81(3H, t, $J=6.0\text{Hz}$) 1.12-1.24(8H, m) 1.44-1.54(2H, m) 1.78-1.89(4H, m) 2.53-2.57(3H, m) 2.91-2.98(2H, m) 3.10-3.25(2H, m) 4.05(4H, t, $J=6.0\text{Hz}$) 4.68-4.75(1H, m) 7.16-7.35(5H, m) 8.20(1H, s) 8.70-8.78(2H, m) 9.48(1H, d, $J=9.0\text{Hz}$) 13.40(1H, s)	KBr 3423 2957 2856 1741 1638 1584 1541 1461 1411 1364 1259 1226	553 (free base, M^+)	$\text{C}_{24}\text{H}_{30}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 57.00 H, 6.66 N, 4.75 測定値 C, 56.96 H, 6.83 N, 4.53

表18

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
32 •2HCl	$ \begin{array}{c} \text{Cl} \quad \text{OH} \\ \quad \\ \text{H}_2\text{N}-\text{C}(\text{H}_2)_4-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{Ph} \\ \\ \text{NH} \quad \text{Cl} \end{array} $	DMSO-d_6 1.64-1.87(4H, m) 3.07-3.27(4H, m) 3.67(3H, s) 4.05(2H, t, J=6Hz) 4.71-4.81(1H, m) 6.90-7.60(10H, m) 7.73(1H, t, J=6Hz) 8.20(1H, s) 9.50(1H, d, J=9Hz) 13.35(1H, s)	3348 1726 1644 1584 1456	497 (free base, MH^+)	
33 •2HCl	$ \begin{array}{c} \text{Cl} \quad \text{OH} \\ \quad \\ \text{H}_2\text{N}-\text{C}(\text{H}_2)_4-\text{O}-\text{C}(=\text{O})-\text{Ph} \\ \\ \text{NH} \quad \text{Cl} \end{array} $	DMSO-d_6 1.14(3H, t, J=7.5Hz) 1.65-1.86(4H, m) 3.10-3.25(4H, m) 4.05(2H, t, J=6Hz) 4.11(2H, q, J=6Hz) 4.68-4.77(1H, m) 6.88-7.60(10H, m) 7.76(1H, t, J=6Hz) 8.22(1H, s) 9.49(1H, d, J=9Hz) 13.36(1H, s)	3345 1721 1644 1584 1457	511 (free base, MH^+)	

表19

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
34 ·HCl		DMSO-d ₆ 0.80-1.48(5H, m) 1.50-1.90(10H, m) 2.55-3H, t, J=5.3Hz 2.96(1H, brs) 3.66(3H, s) 4.04-4.12(2H, m) 4.52-4.62(1H, m) 8.29(1H, s) 8.68(2H, brs) 9.31(1H, d, J=6.8Hz) 13.54(1H, s)	KBr 3290 2925 1750 1584 1461 1225	475 (free base, M ⁺)	$\text{C}_{22}\text{H}_{32}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ C, 51.62 H, 6.50 N, 5.47 測定値 C, 51.65 H, 6.20 N, 5.73
35		DMSO-d ₆ 2.58(3H, s) 2.98-3.13(4H, m) 3.59(3H, s) 3.74-3.83(4H, m) 4.09(2H, t, J=6.0Hz) 4.66-4.74(1H, m) 7.20-7.28(7H, m) 7.53-7.69(1H, m)	KBr 3124 2952 1743 1625 1542 1435 1209 1067	485 (M ⁺)	

表20

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
36 ·HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_2\text{O}(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{CO}-\text{NH}-\text{Ph}$	DMSO- d_6 2.54-2.58(3H, m) 3.09-3.22(4H, m) 3.66(3H, s) 3.78(2H, t, $J=5.5\text{Hz}$) 3.83(2H, t, $J=4.5\text{Hz}$) 4.22(2H, t, $J=4.5\text{Hz}$) 4.72-4.80(1H, m) 7.18-7.29(5H, m) 8.20(1H, s) 8.72(2H, m) 9.50(1H, d, $J=6.5\text{Hz}$) 13.36(1H, brds)	KBr 2953 2749 1745 1639 1584 1541 1468 1349 1220	485 (free base, NH^+)	$\text{C}_{12}\text{H}_{12}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 50.64 H, 5.22 N, 5.37 測定値 C, 50.64 H, 5.13 N, 5.27
37	$\text{Me}_2\text{N}(\text{CH}_2)_2\text{O}(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{CO}-\text{NH}-\text{Ph}$	DCl ₃ 2.65(6H, s) 2.96-3.15(2H, m) 3.19-3.32(2H, m) 3.74(3H, s) 3.79-3.86(4H, m) 4.18(2H, t, $J=6.0\text{Hz}$) 5.09-5.13(1H, m) 7.12-7.14(2H, m) 7.21-7.28(4H, m) 7.76(1H, s) 9.18(1H, brds)		499 (NH^+)	

表21

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS (M $^+$)	元素分析 (%)
38	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_2\text{O}(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH}, \text{Ph})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{COOEt}$	CDCl_3 1.25(3H, t, $J=7.1\text{Hz}$) 2.53(3H, s) 2.91-2.95(2H, m) 3.21-3.25(2H, m) 3.62-3.66(2H, m) 3.78-3.82(2H, m) 4.10-4.18(4H, m) 5.11-5.17(1H, m) 7.13-7.26(6H, m) 8.00(1H, s) 11.18(1H, brds)		499 (M $^+$)	$\text{C}_{13}\text{H}_{23}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 51.55 H, 5.45 N, 5.23 測定値 C, 51.49 H, 5.44 N, 5.24
39	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_2\text{O}(\text{CH}_2)_2\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH}, \text{Ph})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{COOEt} \cdot \text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.13(3H, t, $J=7.0\text{Hz}$) 2.56(3H, brds) 3.10-3.26(4H, m) 3.76(2H, t, $J=5.0\text{Hz}$) 3.81-3.85(2H, m) 4.11(2H, q, $J=7.0\text{Hz}$) 4.21-4.25(2H, m) 4.69-4.76(1H, m) 7.19-7.30(5H, m) 8.22(1H, s) 8.71(2H, m) 9.55-9.57(1H, m) 13.38(1H, brds)	KBr 2978 1743 1638 1584 1540 1469 1348 1260 1214	499 (free base, M $^+$)	$\text{C}_{13}\text{H}_{23}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 51.55 H, 5.45 N, 5.23 測定値 C, 51.49 H, 5.44 N, 5.24

表22

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
40 •HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{H})-\text{CO}-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.84(4H, brs) 2.54(3H, s) 2.95(2H, brs) 3.09-3.40(4H, m) 3.33(3H, s) 3.50-3.60(2H, m) 4.05(2H, brs) 4.11(2H, t, J=6Hz) 4.74-4.84(1H, m) 7.20-7.30(5H, m) 8.22(1H, s) 8.74(2H, brs) 9.50(1H, s)		499 (free base, M ⁺)	
41 •HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{H})-\text{CO}-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{COO}(\text{CH}_2)_2\text{OEt}$	DMSO-d ₆ 1.03(3H, t, J=6.2Hz) 1.83(4H, brs) 2.53(3H, t, J=5.3Hz) 2.80-3.60(6H, m) 4.05(2H, m) 4.20(2H, m) 4.76(1H, m) 7.20-7.40(5H, m) 8.19(1H, s) 8.55-8.85(2H, m) 9.48(1H, br) 13.37(1H, s)		527 (free base, M ⁺)	

表23

表 2.4

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm, 300MHz)	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
44 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{Cl}$ H	DMSO-d ₆ 1.11(9H, s) 1.77-1.91(4H, m) 2.54(3H, s) 2.75-3.25(4H, m) 4.00-4.10(2H, m) 4.40-4.80(1H, m) 5.76(2H, s) 7.20-7.40(5H, m) 8.17(1H, s) 8.74(2H, brs) 9.55(1H, brs) 13.29(1H, s)	Neat 2971 1754 1640 1584 1460	569 (free base, NH^+)	$\text{C}_27\text{H}_{34}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_7\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 53.52 H, 5.82 N, 4.62 測定値 C, 53.34 H, 5.97 N, 4.39
45 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{Cl}$ 	DMSO-d ₆ 1.15-1.90(14H, m) 2.82-2.93(2H, m) 3.10-3.24(2H, m) 4.01-4.08(2H, m) 4.65-4.75(2H, m) 7.18-7.32(5H, m) 7.92(3H, brs) 8.21(1H, s) 9.47(1H, d) 13.39(1H, brs)	KBr 3422 2939 1718 1641 1585 1458	523 (free base, NH^+)	$\text{C}_26\text{H}_{32}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 55.77 H, 5.94 N, 5.00 測定値 C, 55.37 H, 6.02 N, 4.86

表 25

表26

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析(%)
48 ·2HCl		DMSO-d ₆ 1.60-2.15(8H, m) 2.72(3H, s) 2.80-3.60(6H, m) 4.05-4.10(2H, m) 4.60-4.91(2H, m) 7.20-7.39(6H, m) 7.82(3H, brs) 8.19-8.26(1H, m)	Neat 2964 1740 1674 1584 1458	538 (free base, MH^+)	
49 ·HCl		DMSO-d ₆ 1.40-1.53(2H, m) 1.65-1.96(16H, m) 2.82-2.93(2H, m) 3.13-3.40(2H, m) 4.05(2H, t, J=6Hz) 4.74-4.88(2H, m) 7.08-7.16(5H, m) 7.91(3H, brs) 8.21(1H, s) 9.48(1H, d, J=9Hz) 13.39(1H, s)	KBr 3386 2909 1718 1642 1585 1541 1456	575 (free base, MH^+)	

表 27

実施 例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
50	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CONHCOOCH}_3$ $\text{Cl} \quad \text{OH} \quad \text{Ph}$ $\text{H} \quad \text{Cl} \quad \text{CONHCH}_2\text{CONHCOOCH}_3$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.75-1.91(4H, m) 2.54(3H, t, J=4.5Hz) 2.90-3.08(3H, m) 3.22(1H, dd, J=12, 3Hz) 3.82(2H, d, J=6Hz) 3.98-4.08(2H, m) 4.78-4.88(1H, m) 7.12-7.37(5H, m) 8.27(1H, s) 8.64(1H, t, J=6Hz) 8.70(2H, brs) 9.30(1H, d, J=6Hz) 13.20(1H, brs) 13.52(1H, s)	KBr 3398 2958 1736 1641 1585 1542	512 (free base, NH ⁺)	
51	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CONHCOOCH}_3$ $\text{Cl} \quad \text{OH} \quad \text{Ph}$ $\text{H} \quad \text{Cl} \quad \text{CONHCH}_2\text{CONHCOOCH}_3$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.77-1.91(4H, m) 2.54(3H, t, J=6Hz) 2.95(2H, brs) 3.03(1H, dd, J=15, 12Hz) 3.22(1H, dd, J=15, 6Hz) 3.64(3H, s) 3.91(2H, d, J=6Hz) 4.00-4.09(2H, m) 4.77-4.87(1H, m) 7.13-7.38(5H, m) 8.27(1H, s) 8.70-8.87(3H, m) 9.34(1H, d, J=9Hz) 13.52(1H, s)	Neat 2951 1747 1661 1584 1556	526 (free base, NH ⁺)	

表28

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
52	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{COSET}$ $\cdot\text{HCl}$	$\text{DMSO}-\text{d}_6$ 1.17(3H, t, $J=6.0\text{Hz}$) 1.62-1.92(4H, m) 2.77-2.97(4H, m) 3.09(1H, dd, $J=15.0, 12.0\text{Hz}$) 3.11-3.35(1H, m) 3.99-4.12(2H, m) 4.82-4.96(1H, m) 7.13-7.36(5H, m) 7.92(2H, brs) 8.25(1H, s) 9.61-9.73(1H, m) 13.23(1H, s)	KBr 2930 1641 1584 1535 1457 1226	485 (free base, MH^+)	$\text{C}_{27}\text{H}_{26}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 50.63 H, 5.21 N, 5.37 測定値 C, 50.40 H, 5.29 N, 5.28
53	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{COOCH}_2\text{Ph}$ $\cdot\text{HCl}$	$\text{DMSO}-\text{d}_6$ 1.82(4H, m) 2.80(2H, m) 3.16(1H, dd, $J=9, 12\text{Hz}$) 3.24(1H, dd, $J=6, 12\text{Hz}$) 4.05(2H, brs) 4.81(1H, ddd, $J=6, 7, 9\text{Hz}$) 5.14(1H, d, $J=12\text{Hz}$) 5.17(1H, d, $J=12\text{Hz}$) 7.16-7.39(10H, m) 7.91(3H, brs) 8.19(1H, s) 9.50(1H, d, $J=7\text{Hz}$) 13.32(1H, s)	KBr 3397 2958 1719 1642 1586 1543	531 (free base, MH^+)	$\text{C}_{27}\text{H}_{26}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 57.11 H, 5.15 N, 4.93 測定値 C, 56.97 H, 5.22 N, 5.15

表29

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
54	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{COOCH}_2\text{Ph}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.84(3H, brs) 2.54(2H, brs) 3.16(1H, d, J=10, 12Hz) 3.25(1H, d, J=6, 12Hz) 4.05(2H, brs) 4.81(1H, ddd, J=6, 7, 9Hz) 5.14(1H, d, J=12Hz) 5.17(1H, d, J=12Hz) 7.28-7.87(10H, m) 8.19(1H, s) 8.75(2H, brs) 9.50(1H, d, J=7Hz) 13.32(1H, s)	KBr 3412 3300 2958 2789 1745 1639 1584 1541	545 (free base, M ⁺)	C ₂₄ H ₃₀ Cl ₂ N ₂ O ₅ ·HCl 計算値 C, 57.79 H, 5.37 N, 4.81 測定値 C, 57.34 H, 5.44 N, 4.78
55	$\text{Me}_2\text{N-(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{COOCH}_2\text{Ph}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.76-1.95(4H, m) 2.75(6H, s) 3.05-3.30(4H, m) 4.06(2H, t, J=7Hz) 4.75-4.87(1H, m) 5.10-5.20(2H, m) 7.18-7.40(10H, m) 8.18(1H, s) 9.52(1H, brs) 10.20(1H, brs) 13.40(1H, brs)	KBr 2957 2690 1740 1638 1584 1456	558 (free base, M ⁺)	C ₂₄ H ₃₂ Cl ₂ N ₂ O ₅ ·HCl 計算値 C, 58.45 H, 5.58 N, 4.70 測定値 C, 58.18 H, 5.49 N, 4.72

表30

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
56 ·3HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{NH}-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ 	DMSO-d ₆ 1.82(4H, m) 2.95(2H, m) 3.08-3.55(12H, m) 4.04(2H, brs) 4.41(2H, m) 4.88(1H, m) 7.12-7.36(5H, m) 7.97(3H, brs) 8.31(1H, s) 9.63(3H, m)	KBr 3423 2957 1751 1638 1585 1542 1458	553 (free base, M^+)	$\text{C}_2\text{H}_3\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5 \cdot 3\text{HCl}$ 計算値 C, 47.11 H, 5.63 N, 8.45 測定値 C, 45.84 H, 5.72 N, 7.76
57 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{NH}-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ 	DMSO-d ₆ 1.42-1.86(10H, m) 2.22-2.40(4H, m) 2.72-2.84(2H, m) 3.18-3.28(2H, m) 4.66-4.72(1H, m) 7.16-7.34(5H, m) 7.84(2H, br) 8.20, 8.22(1H, s) 9.34, 9.53 (1H, d, J=5, 8Hz) 13.32, 13.48	KBr 3422 2937 1752 1639 1584 1541 1457 1346 1227	536 (free base, M^+)	

表31

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm, 300MHz)	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
58 ·2HCl	$\text{Me-N}(\text{CH}_2)_2-\text{O}-\text{C}(\text{OH})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{CONH}-\text{Ph}-\text{COOMe}$	DMSO-d ₆ 2.81(3H, s) 3.13-3.80(10H, m) 4.27-4.47(2H, m) 4.66-4.83(1H, m) 7.13-7.32(5H, m) 8.22(1H, s) 9.49(1H, d, J=8.5Hz) 13.71(1H, brs)	KBr 1740 1641 1584 1457 1355 1220	510 (free base, MH ⁺)	C ₂₄ H ₂₉ Cl ₂ N ₃ O ₆ ·2HCl 計算値 C, 49.42 H, 5.36 N, 7.20 測定値 C, 47.94 H, 5.52 N, 6.77
59	$\text{Me}-\text{N}(\text{CH}_2)_2-\text{O}-\text{C}(\text{OH})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{CONH}-\text{Ph}-\text{COOMe}$	DMSO-d ₆ 1.15(3H, d, J=6.2Hz) 2.78-3.95(13H, m) 3.67(3H, s) 4.54-4.72(1H, m) 7.17-7.34(5H, m) 7.45(1H, s) 8.69-8.82(1H, m) 12.27-12.36(1H, m)		510(MH ⁺)	

表32

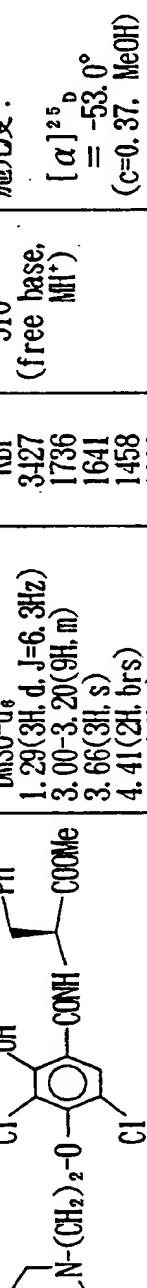
化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
60 ·2HCl	 <p>DMSO-d₆ 1.30(3H, d, J=6Hz) 3.00-3.70(11H, m) 3.67(3H, s) 4.42(2H, s) 4.76(1H, m) 7.18-7.30(5H, m) 8.23(1H, s) 9.52(1H, d, J=9Hz) 9.80(1H, br) 13.39(1H, br)</p>		510 (free base, M ⁺)	
61 ·2HCl	 <p>DMSO-d₆ 1.29(3H, d, J=6.3Hz) 3.00-3.20(9H, m) 3.66(3H, s) 4.41(2H, brs) 4.77(1H, m) 7.15-7.30(5H, m) 8.22(1H, s) 9.49(1H, d, J=7.6Hz) 9.70(2H, br) 13.35(1H, brs)</p>	KBr 3427 1736 1641 1458 1222	510 (free base, M ⁺)	施光度： $[\alpha]^{25}_{D} = -53.0^{\circ}$ (c=0.37, MeOH)

表33

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
62 ·2HCl		$\text{DMSO}-\text{d}_6$ 1.30(3H, d, $J=6$ Hz) 3.09-3.83(1H, m) 3.67(3H, s) 4.34-4.47(2H, m) 4.73-6.81(1H, m) 7.17-7.29(5H, m) 8.23(1H, s) 9.51(1H, d, $J=6$ Hz) 9.63-9.92(1H, m) 13.35-13.47(1H, m)	KBr 3425 2450 1747 1664 1452 1248 1213	510 (free base, M^+)	$\text{C}_{24}\text{H}_{29}\text{Cl}_2\text{N}_3\text{O}_5 \cdot 2\text{HCl}$ 算值 C, 54.16 H, 5.13 N, 6.11 测定值 C, 53.21 H, 5.25 N, 5.96
63 ·2HCl		$\text{DMSO}-\text{d}_6$ 1.34(3H, d, $J=8$ Hz) 2.80(3H, s) 3.00-3.70(11H, m) 3.67(3H, s) 4.37(2H, brs) 4.75(1H, m) 7.15-7.22(5H, m) 8.22(1H, s) 9.50(1H, d, $J=6$ Hz) 13.39(1H, s)		524 (free base, M^+)	

表3 4

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
64 ·HCl	<chem>CC(C(=O)OC)Oc1ccc(Oc2ccc(Cl)cc2)cc1</chem>	DMSO-d_6 1.14(3H, t, $J=7.6\text{Hz}$) 2.48-2.52(8H, m) 3.14-3.38(4H, m) 4.11(2H, q, $J=7.6\text{Hz}$) 4.39(2H, bs) 4.68-4.80(1H, m) 7.18-7.32(5H, m) 8.23(1H, s) 9.47(1H, d, $J=8.8\text{Hz}$)	KBr 2950 2784 1745 1637 1589 1544 1465 1369 1264 1097	510 (free base, MH^+)	
65	<chem>CC(C(=O)OC)Oc1ccc(Oc2ccc(Cl)cc2)cc1</chem>	DMSO-d_6 1.11(3H, t, $J=6.0\text{Hz}$) 2.60-3.20(13H, m) 4.00-4.10(4H, m) 4.62-4.66(1H, m) 7.20-7.30(5H, m) 7.75(1H, s)	KBr 3422 2940 2360 1736 1638 1456	524 (MH $^+$)	

表35

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
66 ·2HCl	$\text{Cl}-\text{N}(\text{CH}_2)_3-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ 	DMSO-d ₆ 2.10-2.35(2H, m) 2.80(3H, s) 3.10-3.91(12H, m) 3.66(3H, s) 4.10-4.22(2H, m) 4.62-4.72(1H, m) 7.20-7.41(5H, m) 8.20(1H, s) 9.47(1H, d, J=6.0Hz) 13.3(1H, brs)	KBr 3423 1740 1584 1458 1356 1219	524 (free base, MH ⁺)	C ₂₅ H ₃₁ Cl ₂ N ₃ O ₅ ·2HCl 計算値 C, 50.27 H, 5.57 N, 7.03 測定値 C, 49.88 H, 5.56 N, 6.93
67 ·2HCl	$\text{Cl}-\text{N}(\text{CH}_2)_3-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ 	DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=6.0Hz) 2.23(2H, m) 3.00-3.85(10H, m) 4.05-4.16(4H, m) 4.67-4.77(1H, m) 7.12-7.35(5H, m) 7.50-7.66(1H, m) 8.21(1H, brs) 9.40-9.60(1H, brs) 9.45(1H, d, J=6.0Hz) 13.40(1H, brs)	KBr 2361 2343 1584 1458 1352 1216	524 (free base, MH ⁺)	C ₂₅ H ₃₁ Cl ₂ N ₃ O ₅ ·2HCl 計算値 C, 50.27 H, 5.57 N, 7.03 測定値 C, 49.68 H, 5.68 N, 6.66

表 3 6

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
68 ·2HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COOEt})_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.21(3H, t, J=8Hz) 2.25(2H, brs) 2.82(3H, s) 3.08-3.90(12H, m) 4.06-4.13(4H, m) 4.70(1H, m) 7.16-7.28(5H, m) 8.21(1H, s) 9.45(1H, d, J=8Hz) 13.36(1H, brs)		538 (free base, M †)	
69 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COOEt})_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.12(3H, t, J=6.9Hz) 1.29-1.47(2H, m) 1.73(2H, dd, J=5.7, 12.0Hz) 1.80-1.95(4H, m) 2.85(2H, m) 3.07-3.28(4H, m) 4.04-4.13(4H, m) 4.67-4.75(1H, m) 7.16-7.28(5H, m) 8.20(1H, s) 8.65(1H, brs) 8.87(1H, brs) 9.50(1H, brs) 13.35(1H, brs)	KBr 3372 2940 2805 2726 2489 1739 1642 1585 1544 1460 1412 1360 1352 1219	509 (free base, M †)	

表 3 7

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
70 •HCl	$\text{Me-N}(\text{CH}_2)_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CO-NH-Ph}$	DMSO- d_6 1.23(3H, t, $J=7.1\text{Hz}$) 1.42-1.57(2H, m) 1.68-1.98(5H, m) 2.69(3H, s) 2.88-2.96(2H, m) 3.10-3.24(2H, m) 3.31-3.39(2H, m) 4.03-4.14(4H, m) 4.72(1H, ddd, $J=6.3, 7.5, 9.1\text{Hz}$) 7.15-7.29(5H, m) 8.22(1H, s) 9.48(1H, d, $J=7.5\text{Hz}$) 10.34(1H, brs) 13.35(1H, brs)	KBr 3406 2938 1736 1638 1584 1460 1412 1352 1215 1075 957 701	523 (free base, MH^+)	$\text{C}_{23}\text{H}_{30}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 56.91 H, 6.23 N, 5.77 測定値 C, 56.90 H, 6.29 N, 5.73
71 •HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CO-NH-Ph}$	CDCl $_3$ 1.13(3H, t, $J=7.0\text{Hz}$) 1.70-1.88(4H, m) 2.49-2.53(5H, m) 3.07-3.21(2H, m) 4.06-4.13(4H, m) 4.69(1H, dd, $J=8.4, 15.6\text{Hz}$) 6.67(1H, s) 7.18-7.32(5H, m) 8.04(1H, s) 8.75(1H, brs) 8.99(1H, d, $J=7.2\text{Hz}$) 12.51(1H, brs)		449.1 (free base, MH^+)	

表 3 8

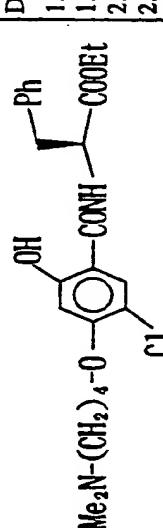
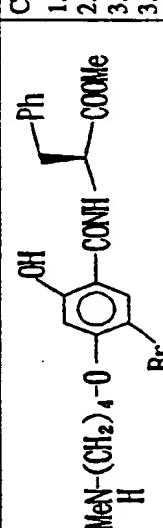
実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
72 ·HCl	 <p>DMSO-d₆</p> <p>1.13(3H, t, J=7.0Hz) 1.75-1.90(4H, brs) 2.74(3H, s) 2.75(3H, s) 3.12-3.33(4H, m) 4.10(4H, m) 4.70(1H, dd, J=5.4, 14.4Hz) 6.65(1H, brs) 7.21-7.29(5H, m) 8.04(1H, s) 8.98(1H, d, J=7.8Hz) 12.51(1H, s)</p>	<p>KBr</p> <p>3428 2958 2686 1736 1637 1604 1541 1493 1375 1267 1198</p>	<p>463 (free base, MH$^+$)</p>		
73 ·HCl	 <p>CDCl₃</p> <p>1.95-2.10(4H, m) 2.70(3H, s) 3.11(2H, t, J=7.5Hz) 3.21(2H, m) 3.77(3H, s) 4.01(2H, t, J=6.0Hz) 5.00(1H, m) 6.38(1H, s) 7.02(1H, d, J=7.2Hz) 7.14-7.32(5H, m) 7.52(1H, s) 9.43(2H, brs) 12.2(1H, s)</p>	<p>KBr</p> <p>1741 1637 1489 1265</p>	<p>479 (free base, MH$^+$)</p>		

表 3 9

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	PAB-MS	元素分析 (%)
74 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})(\text{Ph})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Br})(\text{COOEt})$	DMSO-d ₆ 1.13(3H, t, J=7.0Hz) 1.70-1.89(4H, m) 2.87(2H, m) 3.2(2H, m) 4.0-4.1(4H, m) 4.7(1H, m) 6.65(1H, s) 7.15-7.30(5H, m) 7.92(3H, brs) 8.17(1H, s) 8.98(1H, d, J=5.6Hz) 12.51(1H, s)	KBr 1736 1601 1489 1373 1263	479 (free base, MH ⁺)	C ₂₂ H ₂₇ BrN ₂ O ₅ ·HCl 計算値 C, 51.23 H, 5.47 N, 5.43 測定値 C, 50.93 H, 5.51 N, 5.34
75 ·HCl	$\text{MeN}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})(\text{Ph})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Br})(\text{COOEt})$	CDCl ₃ 1.27(3H, t, J=7.2Hz) 1.93-2.02(2H, m) 2.07-2.17(2H, m) 2.71(3H, s) 3.1-3.2(2H, m) 3.2-3.3(2H, m) 4.03(2H, t, J=6Hz) 4.23(2H, q, J=7Hz) 4.98(1H, dt, J=7, 6Hz) 6.39(1H, s) 6.88(1H, d, J=7.8Hz) 7.14-7.18(2H, m) 7.22-7.32(3H, m) 7.49(1H, s) 9.51(2H, brs) 12.29(1H, brs)	KBr 3374 2960 1736 1638 1599 1376 1266 1199	493 (free base, MH ⁺)	

表 4 0

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	PAB-MS	元素分析 (%)
76	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me})_2-\text{COOH}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO- d_6 1.91(4H, m) 2.12(3H, s) 2.57(3H, s) 2.98(2H, m) 3.10-3.30(2H, m) 3.70(3H, s) 3.99(2H, m) 4.78(1H, m) 6.35(1H, s) 7.15-7.30(5H, m) 7.65(1H, s) 8.62(1H, brs) 9.24(2H, brs) 12.09(1H, s)		449 (free base, M-1)	
77	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me})_2-\text{COOC}_2\text{H}_5$ $\cdot\text{HCl}$	CDCl_3 1.13(3H, t, $J=7\text{Hz}$) 1.85-1.95(4H, m) 2.04(3H, s) 2.18(3H, s) 2.51(3H, m) 2.93(2H, m) 3.16-3.20(2H, m) 3.76(2H, m) 4.10(2H, q, $J=7\text{Hz}$) 4.69(1H, m) 7.17-7.32(5H, m) 7.71(1H, s) 9.01(2H, brs) 9.07(1H, d, $J=8\text{Hz}$) 12.66(1H, s)		442 (free base, MH^+)	

表 4 1

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
78 •HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})(\text{COMe})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COMe})-\text{Me}$	DMSO-d ₆ 1.63-1.78(4H, m) 2.02(3H, s) 2.55(3H, s) 2.82-3.11(4H, m) 3.62(3H, s) 3.84-3.95(2H, m) 4.58-4.65(1H, m) 6.21(1H, d, J=2.4Hz) 6.24(1H, d, J=2.4Hz) 7.18-7.36(5H, m) 8.38(1H, d, J=7.5Hz) 8.62-8.78(2H, m) 9.70(1H, brs)		415 (free base, MH^+)	
79 •HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})(\text{COMe})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COMe})-\text{Me}$	DMSO-d ₆ 1.80(4H, m) 2.50(3H, m) 2.95(2H, m) 3.08-3.22(2H, m) 3.65(3H, s) 3.95-4.15(2H, m) 4.60-4.75(3H, m) 6.54(1H, s) 7.15-7.32(5H, m) 7.99(1H, s) 8.68(2H, brs) 8.93(1H, d, J=6Hz) 12.54(1H, s)		431 (free base, MH^+)	

表 4 2

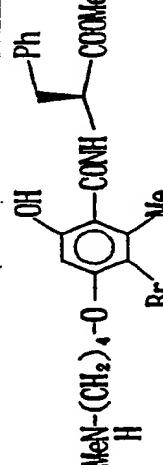
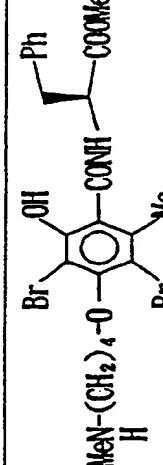
実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
80 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})(\text{Br})_2-\text{CH}_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ 	DMSO- d_6 1.71-1.83(4H, m) 2.02(3H, s) 2.55(3H, s) 2.88-3.11(4H, m) 3.63(3H, s) 3.92-4.03(1H, m) 6.45(1H, s) 7.08-7.37(5H, m) 8.57-8.78(2H, m) 8.59(1H, d, $J=7.8\text{Hz}$) 9.80(1H, brs)		493 (free base, MH^+)	
81 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})(\text{Br})_2-\text{CH}_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ 	DMSO- d_6 1.79-1.93(4H, m) 2.00(3H, s) 2.56(3H, s) 2.91-3.11(4H, m) 3.63(3H, s) 3.83-3.95(2H, m) 4.60-4.66(1H, m) 7.20-7.36(5H, m) 8.54-8.66(2H, m) 8.93(1H, d, $J=7.8\text{Hz}$) 9.61(1H, s)		571 (free base, MH^+)	

表 4 3

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
82	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}(\text{H})-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COOCH}_2\text{COOEt} \cdot \text{HCl}$	DMSO- d_6 1.19(3H, t, $J=7.1\text{Hz}$) 1.83(4H, brs) 2.48-2.53(5H, m) 2.94(2H, brs) 3.16-3.34(5H, m) 4.02-4.18(4H, m) 4.76(2H, d, $J=2.2\text{Hz}$) 4.84-4.92(1H, m) 7.16-7.36(5H, m) 8.22(1H, s) 8.87(2H, brs) 9.56(1H, d, $J=7.2\text{Hz}$) 13.31(1H, s)	KBr 2961 1750 1461 1178	541 (free base, $\text{M}^{\text{H}+}$)	$\text{C}_{25}\text{H}_{30}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_7 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 51.96 H, 5.41 N, 4.85 測定値 C, 51.88 H, 5.40 N, 4.82
83	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}(\text{H})-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COO} \cdot \text{HCl}$	DMSO- d_6 1.32(3H, t, $J=7.0\text{Hz}$) 1.82(4H, brs) 2.57(3H, brs) 2.97(2H, brs) 4.06(2H, brs) 4.32(2H, q, $J=7.0\text{Hz}$) 4.99(1H, dd, $J=5.7, 14.1\text{Hz}$) 7.16-7.36(7H, m) 8.01(2H, d, $J=8.7\text{Hz}$) 8.23(1H, brs) 8.33(2H, brs) 9.66(1H, brs) 11.3(1H, brs)	KBr 3426 2660 1717 1641 1604 1457 1278 1162	603 (free base, $\text{M}^{\text{H}+}$)	$\text{C}_{30}\text{H}_{33}\text{O}_7\text{N}_2\text{O}_3 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 56.31 H, 5.20 N, 4.38 測定値 C, 54.81 H, 5.30 N, 4.34

表 4 4

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
84	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{H})-\text{CO-NH-CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COO(CH}_2)_2\text{NEt}_2$ $\cdot 2\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.15(6H, t, J=7Hz) 1.75-2.00(6H, m) 2.49(3H, s) 2.90-3.05(8H, m) 3.10-3.25(2H, m) 4.00-4.21(4H, m) 4.74(1H, m) 7.17-7.30(5H, m) 8.28(1H, s) 8.88(2H, brs) 9.64(1H, brs) 10.43(1H, brs) 13.37(1H, brs)		568 (free base, MH^+)	
85	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{H})-\text{CO-NH-CH}_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COO(CH}_2)_2\text{NEt}_2$ $\cdot 2\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.28(12H, m) 1.84(4H, m) 2.53(3H, t, J=5.7Hz) 2.94(2H, m) 3.13-3.93(4H, m) 3.63(2H, m) 4.01(2H, m) 4.37-4.48(1H, m) 7.18-7.29(5H, m) 8.31(1H, s) 8.86(2H, brs) 9.70(1H, brs) 10.03(1H, brs) 13.37(1H, brs)		582 (free base, MH^+)	

表 45

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
86 ·2HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{Me}$	DMSO- d_6 0.72-0.97(6H, m) 1.18-1.42(4H, m) 1.51-1.73(4H, m) (CH ₂) ₄ Me 1.75-1.83(4H, m) 2.89-3.15(6H, m) 3.16-3.39(5H, m) 4.02-4.10(2H, m) 4.37-4.55(2H, m) 4.75-4.91(1H, m) 7.20-7.30(5H, m) 8.36(1H, s) 8.68-8.96(2H, m) 9.74-9.88(1H, m) 10.56-10.73(1H, m) 13.32-13.47(1H, m)		610 (free base, MH ⁺)	
87	$\text{HO}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{COOMe}$	CDCl ₃ 1.80-1.89(2H, m) 1.91-2.01(2H, m) 3.21(1H, dd, J=14, 6Hz) 3.28(1H, dd, J=14, 6Hz) 3.76(2H, t, J=7Hz) 3.80(3H, s) 4.12(2H, t, J=6Hz) 5.03(1H, ddd, J=8, 6, 6Hz) 6.77(1H, d, J=8Hz) 7.09-7.13(2H, m) 7.28-7.35(3H, m) 12.64(1H, s)		455 (free base, MH ⁺)	

表 4 6

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
88	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{H} \begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{---} \text{C}=\text{O} \\ \\ \text{---} \text{CONH} \\ \\ \text{---} \text{Ph} \end{array} \text{---} \text{COOMe}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO- d_6 1.70(2H, m) 1.85(2H, m) 2.04(2H, m) 2.62(3H, s) 2.93(2H, brs) 3.18-3.30(2H, m) 3.76(3H, s) 5.01(1H, m) 6.65(1H, d, $J=7\text{Hz}$) 6.78(1H, s) 7.09-7.32(5H, m) 9.35(2H, brs) 11.87(1H, s)		384 (free base, MH^+)	
89	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_5-\text{H} \begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{---} \text{C}=\text{O} \\ \\ \text{---} \text{CONH} \\ \\ \text{---} \text{Ph} \end{array} \text{---} \text{COOMe}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO- d_6 1.30(2H, m) 1.58(4H, m) 2.49(3H, s) 2.82(2H, t, $J=8\text{Hz}$) 3.11(1H, dd, $J=14, 9\text{Hz}$) 3.19(1H, dd, $J=14, 6\text{Hz}$) 3.65(3H, s) 4.74(1H, m) 6.75(2H, m) 7.18-7.31(5H, m) 7.81(1H, d, $J=9\text{Hz}$) 8.75(2H, brs) 9.09(1H, d, $J=8\text{Hz}$)		399 (free base, MH^+)	

表 4 7

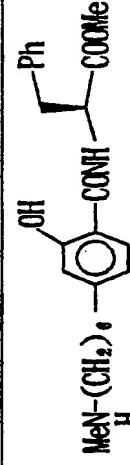
実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
90	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_6-\text{OH}$  $\cdot\text{HCl}$	CDCl_3 1.25-1.45(4H, m) 1.55-1.64(2H, m) 1.77-1.87(2H, m) 2.54(2H, t, $J=7.5\text{Hz}$) 2.64(3H, s) 2.90(2H, t, $J=7.8\text{Hz}$) 3.23(2H, m) 6.63(2H, dd, $J=8.1, 1.8\text{Hz}$) 6.77(1H, d, $J=1.5\text{Hz}$) 6.88(2H, d, $J=7.8\text{Hz}$) 7.10-7.32(6H, m) 9.38(2H, brs) 11.90(1H, brs)		413 (free base, MH^+)	

表 4 8

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
91 ·HCl	$\text{MeN-(CH}_2)_6\text{H-Cl} \text{ OH-Cl-C}_6\text{H}_4\text{-CONH-CH}_2\text{-Ph-COOCH}_3$	CDCl ₃ 1.45-1.65(4H, m) 1.90-2.00(2H, m) 2.67(3H, s) 2.86-2.90(2H, t, J=7.5Hz) 2.80-3.05(2H, m) 3.18-3.31(2H, m) 3.80(3H, s) 5.00-5.05(1H, m) 7.15-7.32(6H, m) 9.48(2H, brs) 12.44(1H, s)	KBr 3429 2949 1743 1641 1587	467.0 (free base, MH^+)	$\text{C}_{23}\text{H}_{28}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_4\cdot\text{HCl}$ 计算值 C, 54.83 H, 5.80 N, 5.56 测定值 C, 54.63 H, 6.07 N, 5.48
92 ·HCl	$\text{MeN-(CH}_2)_6\text{H-Cl-Cl-C}_6\text{H}_4\text{-CONH-CH}_2\text{-Ph-COOCH}_6\text{DMSO}$	DMSO-d ₆ 1.36(2H, m) 1.45-1.65(4H, m) 2.49(3H, s) 2.62(2H, t, J=7Hz) 2.83(2H, m) 3.15(2H, m) 3.64(3H, s) 4.74(1H, m) 6.92(1H, s) 7.16-7.31(5H, m) 7.93(1H, s) 8.76(2H, brs) 9.05(1H, d, J=8Hz) 12.01(1H, s)		433 (free base, MH^+)	

表 4 9

实施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
93 ·HCl	$\text{MeN-(CH}_2\text{)}_5\text{H}$	CDCl_3 1.28(3H, t, $J=7.2\text{Hz}$) 1.40-1.51(2H, m) 1.57-1.67(2H, m) 1.84-1.95(2H, m) 2.62-2.68(5H, m) 2.88-3.01(2H, m) 3.16-3.29(2H, m) 4.24(2H, q, $J=7.2\text{Hz}$) 4.99(1H, ddd, $J=6.2, 6.2, 7.5\text{Hz}$) 6.77(1H, m) 7.11-7.33(6H, m) 7.38(1H, s) 9.41(2H, brs) 11.67(1H, brs)	KBr 3422 2940 1738 1644 1538 1484 1407 1373 1207 1096 1027 700	447 (free base, MH^+)	
94 ·HCl	$\text{Me}_2\text{N-(CH}_2\text{)}_6\text{Cl}$	CDCl_3 1.27(3H, t, $J=7.1\text{Hz}$) 1.34-1.46(2H, m) 1.61-1.7(2H, m) 1.83-1.94(2H, m) 2.69(2H, t, $J=7.5\text{Hz}$) 2.78(3H, s) 2.79(3H, s) 2.92-3.00(2H, m) 3.18-3.30(2H, m) 4.22(2H, q, $J=7.1\text{Hz}$) 4.99(1H, ddd, $J=6.0, 6.0, 7.2\text{Hz}$) 6.88(1H, s) 7.12-7.18(3H, m) 7.23-7.34(3H, m) 7.42(1H, s) 11.60(1H, brs) 12.26(1H, brs)	KBr 3423 2941 2693 1739 1644 1539 1483 1405 1372 1212 1095 1029 957 862 749 703	461 (free base, MH^+)	

表 5 0

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
95 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_5-\text{OH}$ 	CDCl_3 1.4-1.6(4H, m) 1.90(2H, m) 2.50-2.66(3H, m) 2.94(2H, t, $J=7.5\text{Hz}$) 3.20(2H, m) 5.02(1H, s) 6.77(1H, s) 7.16-7.36(6H, m) 7.54(1H, s) 9.38(2H, brs) 11.57(1H, brs)	KBr 3375 1744 1641 1604 1540	477 (free base, MH^+)	
96 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_5-\text{OH}$ 	CDCl_3 1.47-1.60(4H, m) 1.96(2H, m) 2.68(3H, s) 2.94(4H, m) 3.24(2H, dt, $J=7.8, 6.3\text{Hz}$) 3.80(3H, s) 5.05(1H, q, $J=6.9\text{Hz}$) 7.14-7.34(6H, m) 7.50(1H, s)		557 (free base, MH^+)	

表 5 1

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
97 •HCl		CDCl ₃ 1.45(2H, m) 1.55(2H, m) 1.87(2H, m) 2.46(3H, s) 2.67(3H, s) 2.80(2H, m) 2.94(2H, m) 3.19(1H, dd, J=14, 7Hz) 3.30(1H, dd, J=14, 5Hz) 3.80(3H, s) 5.00(1H, ddd, J=8, 7, 5Hz) 6.74(1H, s) 7.16-7.34(5H, m) 7.83(1H, d, J=8Hz) 7.93(1H, s) 9.31(2H, brs) 11.84(1H, brs)		441 (free base, MH^+)	
98 •HCl		DMSO-d ₆ 1.19(3H, t, J=7Hz) 1.30-1.63(6H, m) 2.85-2.90(5H, m) 3.17(1H, dd, J=14, 11Hz) 3.2(1H, dd, J=14, 5Hz) 4.14(2H, q, J=7Hz) 4.77(2H, q, J=16Hz) 4.88(1H, m) 7.17-7.34(5H, m) 8.13(1H, s) 8.60(2H, brs) 9.55(1H, d, J=8Hz) 13.14(1H, s)		539 (free base, MH^+)	

表 5 2

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
99 ·HCl	<chem>CC(C(=O)Oc1ccc(cc1)C(O)C(Cl)N(C)CCl)C(Cl)C</chem>	CDCl_3 1.38(3H, t, $J=6.9\text{Hz}$) 1.40-2.0(6H, m) 2.65(3H, s) 2.80-3.00(4H, m) 3.38(2H, d, $J=6.3\text{Hz}$) 4.37(2H, q, $J=7.0\text{Hz}$) 5.22(2H, q, $J=7.2\text{Hz}$) 7.08(2H, d, $J=8.7\text{Hz}$) 7.23-7.38(7H, m) 8.07(2H, d, $J=8.9\text{Hz}$) 9.44(2H, brs)		601 (free base, MH^+)	
100 ·HCl	<chem>CC(C(=O)N1CCN(C)CC1)C(Cl)c2ccc(cc2)C(O)C(Cl)C</chem>	$\text{DMSO-}d_6$ 1.13(3H, t, $J=9\text{Hz}$) 1.20-1.60(7H, m) 1.80-1.87(2H, m) 2.70(3H, s) 2.80-2.95(4H, m) 3.10-3.40(4H, m) 4.11(2H, q, $J=9\text{Hz}$) 4.70(1H, m) 7.18-7.30(5H, m) 8.11(1H, s) 9.47(1H, d, $J=8\text{Hz}$) 9.75(1H, brs) 13.15(1H, brs)		521 (free base, MH^+)	

表 5 3

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
101 •HCl	<chem>CC(C(=O)OC)c1ccc(Oc2ccccc2Cl)c(Cl)c1</chem>	DMSO- d_6 1.15(3H, t, $J=7.0\text{Hz}$) 1.20-1.40(4H, m) 1.45-1.65(3H, m) 1.73-1.85(2H, m) 2.51(2H, s) 2.70-2.90(2H, m) 3.10-3.30(4H, m) 4.11(2H, q, $J=7.0\text{Hz}$) 4.72(1H, dd, $J=6.0, 14.0\text{Hz}$) 7.15-7.30(5H, m) 8.13(1H, s) 8.87(1H, brs) 9.49(1H, brd, $J=6.0\text{Hz}$) 13.2(1H, brs)		507 (free base, MH^+)	
102 •2HCl	<chem>CC(C(=O)OC)c1ccc(Oc2ccccc2Cl)c(Cl)c1</chem>	1.12(3H, t, $J=7.1\text{Hz}$) 1.95(2H, brs) 2.92(2H, t, $J=7.5\text{Hz}$) 3.09-3.78(12H, m) 4.10(2H, q, $J=7.1\text{Hz}$) 4.71(1H, ddd, $J=6.0, 7.2, 9.3\text{Hz}$) 7.17-7.28(5H, m) 8.16(1H, s) 9.51(1H, d, $J=7.2\text{Hz}$) 9.64(2H, brs) 11.79(1H, brs) 13.2(1H, brs)	KBr 3396 (free base, MH^+)	508.0 3396 2933 2656 1734 1644 1589 1543 1455 1405 1372 1254 1214 1099 1014 701	

表 5-4

実施例	化合物	1H-NMR δ (ppm), 300MHz	IR (cm⁻¹)	FAB-MS	元素分析 (%)
103 ·2HCl	<chem>Nc1ccc(C(O)C(C(=O)OCC)C2=CC=C(Cl)C=C2)cc1Cl</chem>	DMSO- d_6 1.13(3H, t, $J=7.2$ Hz) 1.77-2.12(6H, m) 2.85-3.27(7H, m) 3.48(1H, brd, $J=8.6$ Hz) 4.10(2H, q, $J=7.2$ Hz) 4.67-4.78(1H, m) 7.19-7.28(5H, m) 8.15(1H, s) 8.22(3H, brs) 9.49(1H, brd, $J=7.1$ Hz) 10.27(1H, brs) 13.22(1H, brs)		522.1 (free base, MH^+)	
104 ·HCl	<chem>Nc1ccc(C(O)C(C(=O)OCC)C2=CC=C(Cl)C=C2)cc1Cl</chem>	$CDCl_3$ 0.90-2.05(20H, m) 2.50-2.70(5H, m) 2.96(2H, m) 3.82(1H, s) 4.82(1H, m) 6.68(1H, s) 7.45(1H, s) 7.52(1H, d, $J=8.1$ Hz)		439 (free base, MH^+)	

表 5 5

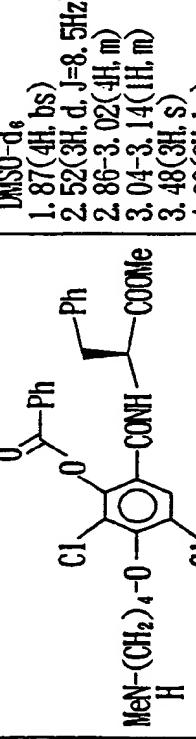
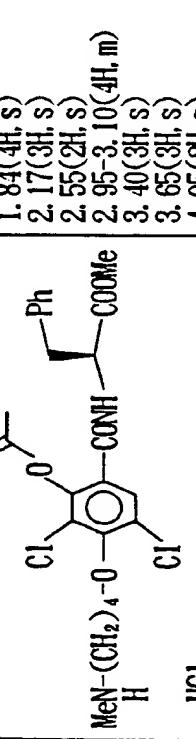
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
105 ·HCl		DMSO-d ₆ 1.87(4H, bs) 2.52(3H, d, J=8.5Hz) 2.86-3.02(4H, m) 3.04-3.14(1H, m) 3.48(3H, s) 4.09(2H, bs) 4.42-4.62(1H, m) 7.14-7.32(5H, m) 7.54(1H, s) 7.56-7.68(2H, m) 7.72-7.82(1H, m) 8.02(2H, d, J=7.6Hz) 9.04(1H, d, J=7.6Hz)	568 (free base, NH ⁺)		
106 ·HCl		DMSO-d ₆ 1.84(4H, s) 2.17(3H, s) 2.55(2H, s) 2.95-3.10(4H, m) 3.40(3H, s) 3.65(3H, s) 4.05(2H, s) 4.63(1H, m) 7.20-7.35(5H, m) 7.50(1H, s) 8.66(1H, brs) 8.91(1H, d, J=9.0Hz)	511 (free base, NH ⁺)		

表 5 6

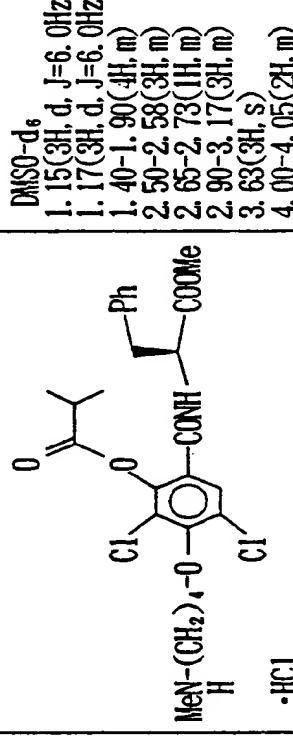
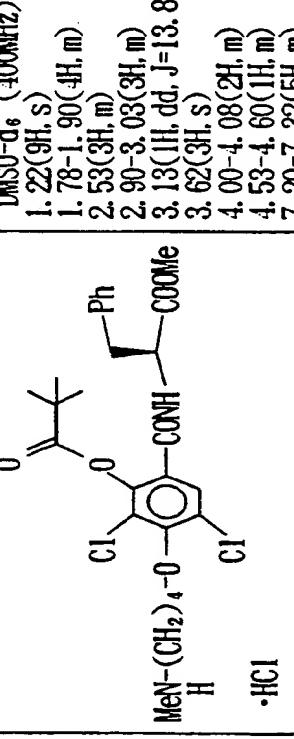
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
107 ·HCl		DMSO-d ₆ 1.15(3H, d, J=6.0Hz) 1.17(3H, d, J=6.0Hz) 1.40-1.90(4H, m) 2.50-2.58(3H, m) 2.65-2.73(1H, m) 2.90-3.17(3H, m) 3.63(3H, s) 4.00-4.05(2H, m) 4.55-4.62(1H, m) 7.20-7.33(5H, m) 7.44(1H, s) 8.70-8.85(2H, m) 8.95(1H, d, J=7.0Hz)	KBr 3285 2950 2723 1768 1745 1648	539 (free base, M ⁺)	$\text{C}_{26}\text{H}_{32}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6\cdot\text{HCl}$ 計算値 C, 54.22 H, 5.78 N, 4.66 測定値 C, 54.24 H, 5.75 N, 4.83
108 ·HCl		DMSO-d ₆ (400MHz) 1.22(9H, s) 1.78-1.90(4H, m) 2.53(3H, m) 2.90-3.03(3H, m) 3.13(1H, dd, J=13.82, 5.53Hz) 3.62(3H, s)	Neat 2957 1749 1666 1456	553 (free base, M ⁺)	

表 57

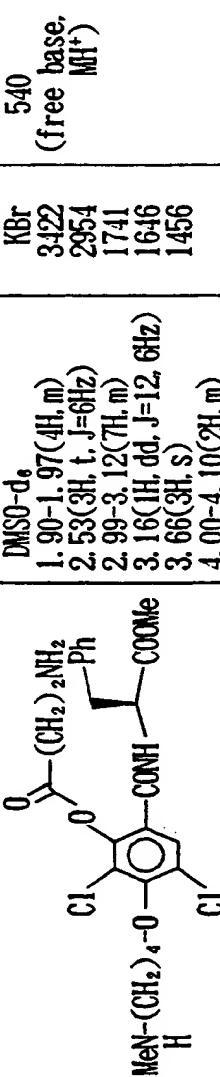
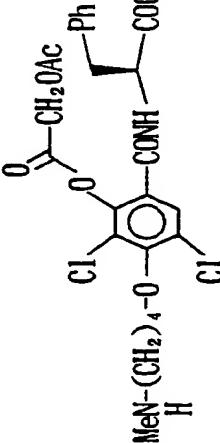
実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
109 ·2HCl	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{O}-\text{CONH-CH}_2\text{COOMe}$ 	DMSO-d ₆ 1.90-1.97(4H, m) 2.53(3H, t, J=6Hz) 2.99-3.12(7H, m) 3.16(1H, dd, J=12, 6Hz) 3.66(3H, s) 4.00-4.10(2H, m) 4.56-4.65(1H, m) 7.20-7.34(5H, m) 7.57(1H, s) 8.12(3H, brs) 8.88(2H, brs) 9.08(1H, d, J=6Hz)	KBr 3422 2954 1741 1646 1456	540 (free base, M ⁺)	
110 ·HCl	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{O}-\text{CONH-CH}_2\text{CH}_2\text{COOMe}$ 	DMSO-d ₆ 1.84(4H, bs) 2.11(3H, s) 2.49(2H, bs) 2.88-3.22(4H, m) 3.63(3H, s) 4.05(2H, bs) 4.52-4.68(1H, m) 4.82(2H, bs) 7.12-7.34(5H, m) 7.54(1H, s) 8.85(2H, br) 8.99(1H, d, J=7, 6Hz)		571 (free base, M ⁺)	

表 5-8

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm ⁻¹)	ESI-MS	元素分析 (%)
111	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COOMe})_2-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Ph})-\text{COOEt}$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.89-1.96(4H, m) 2.54(3H, brs) 2.65-2.82(4H, m) 2.90-3.05(3H, m) 3.14(1H, dd, J=15, 3Hz) 3.62(3H, s) 4.00-4.08(2H, m) 4.57-4.65(1H, m) 5.12(2H, s) 7.18-7.40(10H, m) 7.50(1H, s) 8.77(2H, brs) 8.94(1H, d, J=9Hz)	Neat 2954 2728 1778 1739 1667	659 (free base, MH ⁺)	C ₂₉ H ₃₆ Cl ₂ N ₂ O ₆ ·HCl 計算値 C, 56.55 H, 6.05 N, 4.55 測定値 C, 56.17 H, 6.16 N, 4.48
112	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}_6\text{H}_3(\text{COOMe})_2-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Ph})-\text{COOEt}$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.1-1.9(14H, m) 2.49-2.51(1H, m) 2.54(3H, s) 2.93-3.17(4H, m) 3.63(3H, s) 4.00-4.10(2H, m) 4.55-4.15(1H, m) 7.23-7.32(5H, m) 7.44(1H, s) 8.72(1H, brs) 8.95(1H, d, J=7.0Hz)	KBr 3422 2935 1745 1654 1452	579 (free base, MH ⁺)	C ₂₉ H ₃₆ Cl ₂ N ₂ O ₆ ·HCl 計算値 C, 56.55 H, 6.05 N, 4.55 測定値 C, 56.17 H, 6.16 N, 4.48

表 5 9

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR} \delta$ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
113	$\text{Me}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{C}(\text{O})-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.78-1.96(4H, m) 2.75(6H, brs) 2.95(1H, dd, J=15, 9Hz) 3.05-3.16(3H, m) 3.48(3H, s) 4.10(2H, t, J=6Hz) 4.48-4.56(1H, m) 7.17-7.29(5H, m) 7.49-7.65(3H, m) 7.73-7.81(1H, m) 8.00-8.05(2H, m) 9.04(1H, d, J=6Hz) 10.05(1H, brs)	Neat 2953 1747 1663 1453	587 (free base, MH $^+$)	
114	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}_2)-\text{C}(\text{O})-\text{NH}-\text{CH}_2-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me})-\text{C}(\text{O})-\text{Me}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.8-1.9(4H, m) 2.53(3H, s) 2.80-3.15(4H, m) 3.32(3H, s) 3.51(3H, s) 4.05-4.10(2H, m) 4.51-4.60(1H, m) 7.19-7.61(9H, m)	KBr 3433 2948 2719 1744 1645 1457	587 (free base, MH $^+$)	$\text{C}_3\text{H}_3\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 57.75 H, 5.33 N, 4.49 測定値 C, 57.71 H, 5.31 N, 4.47

卷六〇

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm ⁻¹)	FAB-MS	元素分析 (%)
115	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}(\text{H})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me}, \text{Cl})-\text{C}(\text{H})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me}, \text{Cl})-\text{C}(\text{H})-\text{COOMe}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1. 76-1. 94 (4H, m) 2. 23 (3H, s) 2. 39 (6H, s) 2. 50-2. 58 (3H, m) 2. 86-3. 03 (3H, m) 3. 11 (1H, dd, J=13, 5, 6. 0Hz) 3. 56 (3H, s) 4. 02-4. 12 (2H, m) 4. 52-4. 63 (1H, m) 6. 98 (2H, s) 7. 13-7. 31 (5H, m) 7. 41 (1H, s) 8. 69 (1H, brs) 9. 08 (1H, d, J=6. 0Hz)	KBr 1748 1455 1211 1057	615 (free base, MH ⁺)	C ₃₂ H ₃₆ Cl ₂ N ₂ O ₆ ·HCl 計算値 C, 58. 95 H, 5. 72 N, 4. 30 測定値 C, 58. 95 H, 5. 98 N, 4. 21
116	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}(\text{H})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me}, \text{Cl})-\text{C}(\text{H})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me}, \text{Cl})-\text{C}(\text{H})-\text{COOEt}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1. 26 (3H, t, J=7. 6Hz) 1. 85 (4H, bs) 2. 56 (3H, t, J=5. 6Hz) 2. 84-3. 22 (4H, m) 3. 64 (3H, s) 4. 06 (2H, bs) 4. 22 (2H, q, J=7. 6Hz) 4. 58-4. 66 (1H, m) 7. 20-7. 38 (5H, m) 7. 54 (1H, s) 8. 76 (2H, brs) 9. 01 (1H, d, J=8. 2Hz)	KBr 3423 2955 1774 1746 1669 1247 1215 1029	541 (free base, MH ⁺)	

表 6 1

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
117		DMSO-d ₆ 1.15(3H, t, J=6.0Hz) 1.76-1.91(4H, m) 2.17(3H, s) 2.50-2.59(3H, m) 2.90-3.07(3H, m) 3.14(1H, dd, J=6.0, 15.0Hz) 4.00-4.15(4H, m) 4.55-4.62(1H, m) 7.20-7.33(5H, m) 7.51(1H, s) 8.69(2H, brs) 8.89(1H, d, J=9.0Hz)	KBr 1646 1528 1456 1372 1190	525 (free base, MH ⁺)	$\text{C}_{26}\text{H}_{32}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 53.44 H, 5.56 N, 4.99 測定値 C, 52.79 H, 5.46 N, 4.94
118		DMSO-d ₆ 0.95-1.02(3H, d, J=6.0Hz) 1.03-1.12(3H, d, J=6.0Hz) 1.78-1.92(4H, m) 2.18(3H, s) 2.51-2.59(3H, brs) 2.39-3.17(3H, m) 3.11(1H, dd, J=13.5, 6.0Hz) 4.00-4.12(2H, m) 4.48-4.60(1H, m) 4.88(1H, tt, J=12.0, 6.0Hz) 7.19-7.36(5H, m) 7.52(1H, s) 8.74(1H, brs) 8.77(1H, d, J=9.0Hz)	KBr 1734 1655 1456 1373 1201	539 (free base, MH ⁺)	$\text{C}_{26}\text{H}_{32}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 54.22 H, 5.78 N, 4.86 測定値 C, 54.04 H, 5.68 N, 5.01

表 6 2

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
119 ·HCl		DMSO-d ₆ 1. 00 (3H, d, J=6Hz) 1. 04 (3H, d, J=6Hz) 1. 75-1. 90 (H, m) 2. 82-3. 09 (H, m) 4. 05-4. 12 (2H, m) 4. 40-4. 50 (H, m) 4. 70-4. 85 (H, m) 7. 05-8. 05 (14H, m) 9. 02 (H, d, J=7. 0Hz)	KBr 3420 2980 1749 1669 1522 1452	539 (free base, M ⁺)	$\text{C}_{30}\text{H}_{32}\text{Cl}_4\text{N}_2\text{O}_6 \cdot \text{HCl}$ 計算値 C, 57. 75 H, 5. 33 N, 4. 49 測定値 C, 56. 70 H, 5. 21 N, 4. 36
120 ·HCl		DMSO-d ₆ 1. 00 (3H, d, J=6Hz) 1. 04 (3H, d, J=6Hz) 1. 80-1. 93 (H, m) 2. 54 (3H, t, J=6Hz) 2. 90-3. 00 (3H, m) 3. 05 (1H, dd, J=15, 6Hz) 4. 05-4. 13 (2H, m) 4. 40-4. 50 (H, m) 4. 74-4. 81 (1H, m) 7. 17-7. 29 (3H, m) 7. 55-7. 63 (3H, m) 7. 73-7. 80 (H, m) 8. 00-8. 05 (2H, m) 8. 74 (2H, brs) 9. 02 (H, d, J=9Hz)	Neat 2980 1746 1668 1453	601 (free base, M ⁺)	

表 6 3

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
121	 $\text{MeSO}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{NH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{C}(=\text{O})-\text{NH}-\text{Ph}$ $\cdot 2\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.28(3H, d, J=6.40Hz) 2.17(3H, s) 2.90-3.90(11H, m) 4.38-4.40(2H, m) 4.45-4.61(1H, m) 7.15-7.30(5H, m) 7.52(1H, s) 7.75(1H, d, J=7.0Hz) 9.50-9.80(2H, m)		537 (free base, MH^+)	$\text{C}_{18}\text{H}_{21}\text{Cl}_2\text{N}_3\text{O}_6 \cdot 2\text{HCl}$ 計算値 C, 49.94 H, 5.32 N, 6.72 測定値 C, 48.39 H, 5.16 N, 6.46
122	 $\text{MeSO}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{NH}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{C}(=\text{O})-\text{NH}-\text{Ph}$ $\cdot 2\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1.29(3H, d, J=6.3Hz) 2.18(1H, s) 3.02(1H, d, J=15.0, 8.5Hz) 3.16(1H, d, J=15.0, 6.0Hz) 2.90-3.80(9H, m) 3.65(3H, s) 4.31-4.48(2H, m) 4.55-4.68(1H, m) 7.18-7.37(5H, m) 7.52(1H, s) 8.92(1H, d, J=14.0Hz) 9.58(2H, brs)	KBr 3422 1742 1664 1455 1368 1188 1151	551 (free base, MH^+)	$\text{C}_{18}\text{H}_{21}\text{Cl}_2\text{N}_3\text{O}_6 \cdot 2\text{HCl}$ 計算値 C, 49.94 H, 5.32 N, 6.72 測定値 C, 48.39 H, 5.16 N, 6.46

表 6-4

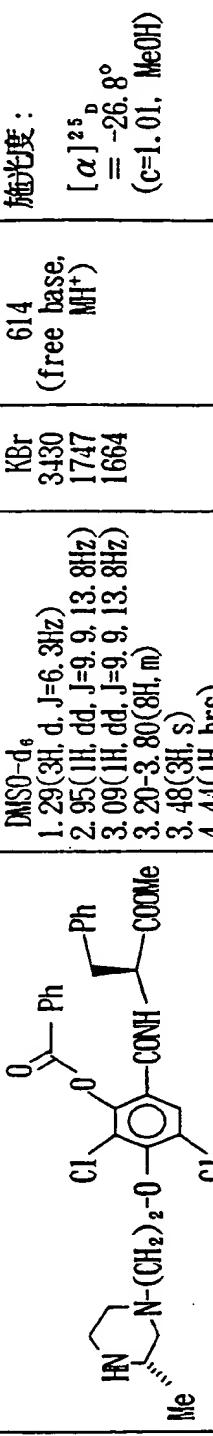
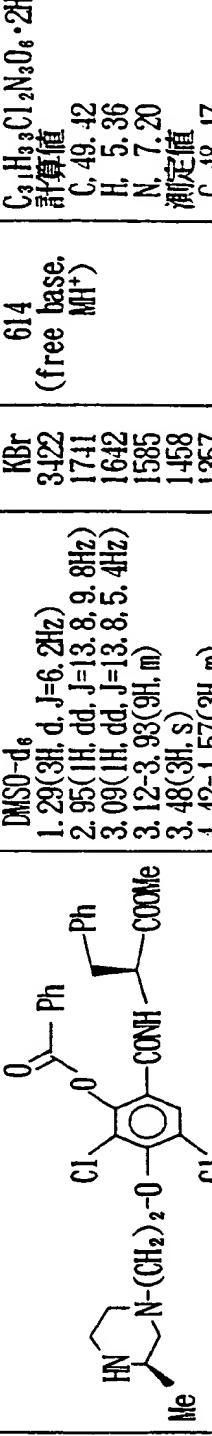
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
123 ·2HCl		DMSO-d ₆ 1.29(3H, d, J=6.3Hz) 2.95(1H, dd, J=9.9, 13.8Hz) 3.09(1H, dd, J=9.9, 13.8Hz) 3.20-3.80(8H, m) 3.48(3H, s) 4.44(1H, brs) 4.49-4.55(2H, m) 7.18-7.28(5H, m) 7.56(1H, s) 7.62(2H, t, J=7.8Hz) 7.78(1H, t, J=7.5Hz) 7.53(2H, d, J=8.4Hz) 9.06(1H, d, J=7.8Hz)	KBr 3430 1747 1664	614 (free base, M ⁺)	旋光度： $[\alpha]^{25}_{D} = -26.8^{\circ}$ (c=1.01, MeOH)
124 ·2HCl		DMSO-d ₆ 1.29(3H, d, J=6.2Hz) 2.95(1H, dd, J=13.8, 9.8Hz) 3.09(1H, dd, J=13.8, 5.4Hz) 3.12-3.93(9H, m) 3.48(3H, s) 4.42-4.57(3H, m) 7.18-7.29(5H, m) 7.56-7.64(3H, m) 7.75-7.80(1H, m) 8.01-8.04(2H, m) 9.05(1H, d, J=7.8Hz) 9.55-9.87(2H, m)	KBr 3422 1741 1642 1585 1458 1357 1221	614 (free base, M ⁺)	C ₃₁ H ₃₃ Cl ₂ N ₃ O ₆ ·2HCl 计算值 C, 49.42 H, 5.36 N, 7.20 测定值 C, 48.47 H, 5.58 N, 6.91

表 6.5

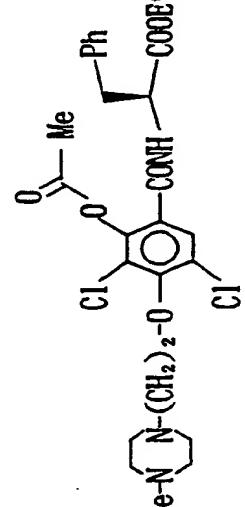
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
125	 <p>DMSO-d_6 1.15(3H, t, $J=7.3\text{Hz}$) 2.18(3H, s) 2.80(3H, s) 3.02(1H, dd, $J=9.5, 13.8\text{Hz}$) 3.14(1H, dd, $J=5.7, 13.8\text{Hz}$) 3.15-3.68(10H, m) 4.09(2H, q, $J=7.3\text{Hz}$) 4.38(2H, bs) 4.59(1H, ddd, $J=5.7, 13.8\text{Hz}$) 7.23-7.33(5H, m) 7.53(1H, s) 8.91(1H, d, $J=7.6\text{Hz}$)</p>	KBr 3433 2984 2418 1769 1735 1666 1529 1456 1378 1195 1064	566 (free base, NH^+)		

表 6 6

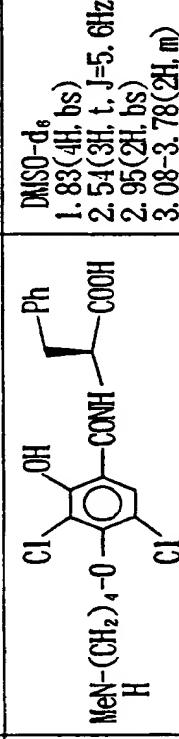
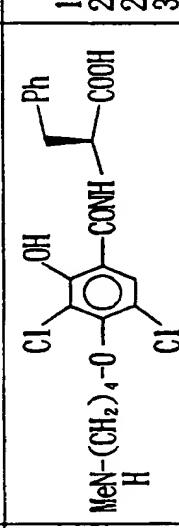
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
126 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}(\text{H})-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{COOH}$ 	DMSO-d ₆ 1.83(4H, bs, J=5, 6Hz) 2.54(3H, t, J=5, 6Hz) 2.95(2H, bs) 3.08-3.78(2H, m) 4.05(2H, bs) 4.62-4.72(1H, m) 7.20-7.38(5H, m) 8.21(1H, s) 8.70(2H, bs) 9.36(1H, d, J=7, 7Hz) 13.47(1H, s)		455 (free base, MH ⁺)	
127 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}(\text{H})-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})-\text{COOH}$ 	DMSO-d ₆ 1.69-1.92(4H, m) 2.79-2.96(2H, m) 3.09(1H, dd, J=15, 0, 10, 5Hz) 3.26(1H, dd, J=15, 0, 6, 6Hz) 3.96-4.11(2H, m) 4.63-4.77(1H, m) 7.13-7.35(5H, m) 7.86(3H, brs) 8.20(1H, s) 9.35(1H, d, J=9, 0Hz) 12.10(1H, brs) 13.46(1H, s)	KBr 2971 1638 1585 1541 1457 1221	441 (free base, MH ⁺)	$\text{C}_{20}\text{H}_{22}\text{Cl}_2\text{N}_2\text{O}_5\text{•HCl}$ C, 50.27 H, 4.85 N, 5.86 測定值 C, 50.22 H, 5.16 N, 5.47

表 67

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
128 ·HCl	$\text{Me}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_4-0-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{Ph}-\text{COOH}$	DMSO- d_6 1.70-1.90(4H, m) 2.76(6H, s) 3.10-3.40(4H, m) 4.04-4.08(2H, t, $J=7\text{Hz}$) 4.60-4.75(1H, m) 7.19-7.30(5H, m) 8.18(1H, s) 9.41(1H, brs)	KBr 3422 1735 1638 1584 1458	469 (free base, M^+)	
129 ·2HCl	$\text{Me}-\text{N}-(\text{CH}_2)_2-0-\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{Ph}-\text{COOH}$	CD ₃ CO ₂ D 1.51(3H, s) 3.10-3.40(2H, m) 3.70-4.30(9H, m) 4.51-4.60(2H, m) 5.09-5.06(2H, m) 7.29-7.21(5H, m) 7.94(1H, s)	KBr 3418 2941 1734 1641 1457	495 (free base, M^+)	$\text{C}_{23}\text{H}_{27}\text{Cl}_2\text{N}_3\text{O}_6 \cdot 2\text{HCl}$ 計算値 C, 48.52 H, 5.13 N, 7.38 測定値 C, 47.55 H, 5.02 N, 6.72

表 6 8

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
130	$\text{MeN-(CH}_2)_5\text{H}\text{--}\text{Cl}\text{--}\text{Ph}\text{--}\text{OH}\text{--}\text{C}_6\text{H}_4\text{--CONH--CH}_2\text{--COOH}$	DMSO- d_6 1.28-1.38(2H, m) 1.50-1.64(4H, m) 2.50(3H, s) 2.62(2H, t, $J=7.5\text{Hz}$) 2.80-2.89(2H, m) 3.07(1H, dd, $J=8.9, 13.9\text{Hz}$) 3.20(1H, dd, $J=4.8, 13.9\text{Hz}$) 4.69(1H, ddd, $J=4.8, 7.8, 8.9\text{Hz}$) 6.89(1H, s) 7.12-7.30(5H, m) 7.94(1H, s) 8.59(2H, brs) 8.98(1H, d, $J=7.8\text{Hz}$) 12.05(1H, brs) 12.98(1H, brs)	KBr 3368 2940 1733 1639 1543 1485 1408 1357 1258 1203 701	419 (free base, MH^+)	
131	$\text{Me}_2\text{N-(CH}_2)_5\text{H}\text{--}\text{Cl}\text{--}\text{Ph}\text{--}\text{OH}\text{--}\text{C}_6\text{H}_4\text{--CONH--CH}_2\text{--COOH}$	DMSO- d_6 1.25-1.40(2H, m) 1.50-1.70(4H, m) 2.80-2.70(8H, m) 2.94-3.40(4H, m) 4.68(1H, m) 6.90(1H, s) 7.09-7.20(5H, m) 7.95(1H, s) 8.97(1H, brs)		433 (free base MH^+)	

表 6 9

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm^{-1})	FAB-MS	元素分析 (%)
132	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_5-\text{Cl}$ H OH Ph $\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{COOH}$	DMSO- d_6 1.32-1.64(6H, m) 2.85(4H, m) 3.12-3.34(2H, m) 3.57(3H, s) 4.68-4.72(1H, m) 7.16-7.30(5H, m) 8.13(1H, s) 8.65(2H, brs) 9.38(1H, d, $J=7.4\text{Hz}$) 13.14(1H, brs)		453 (free base, MH^+)	
133	$\text{Me}_2\text{N}-(\text{CH}_2)_5-\text{Cl}$ OH Ph $\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{COOH}$	DMSO- d_6 1.35(2H, m) 1.45-1.6(4H, m) 2.59(6H, s) 2.75(2H, m) 2.83(2H, m) 2.96(1H, dd, $J=9, 14\text{Hz}$) 3.13(1H, dd, $J=5, 14\text{Hz}$) 4.62(1H, dd, $J=5, 8\text{Hz}$) 7.15-7.2(2H, m) 7.2-7.3(4H, m) 7.60(1H, s)		467 (free base, MH^+)	

表70

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
134 •2HCl	$\text{Me-N}(\text{CH}_2)_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CO-NH}-\text{Ph}$	DMSO- d_6 2.79(3H, s) 3.04-4.10(12H, m) 4.33(2H, brs) 4.70(1H, m) 7.17-7.30(5H, m) 8.21(1H, s) 9.36(1H, d, $J=8\text{Hz}$) 13.47(1H, brs)		496 (free base, MH^+)	
135 •HCl	$\text{Me-N}(\text{CH}_2)_2-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl}, \text{OH})-\text{CO-NH}-\text{Ph}$	DMSO- d_6 1.36(2H, m) 1.69(2H, dd, $J=6.3, 12.6\text{Hz}$) 1.75-2.0(3H, m) 2.67(3H, s) 2.87(2H, m) 2.95(1H, dd, $J=8.4, 14.5\text{Hz}$) 3.11(1H, dd, $J=5.4, 14.1\text{Hz}$) 3.93(2H, t, $J=6.3\text{Hz}$) 4.64(1H, dd, $J=5.7, 7.5\text{Hz}$) 7.17-7.29(5H, m) 7.59(1H, s) 11.72(1H, brs)		495 (free base, MH^+)	

表 7-1

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
136 ·2HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_4\text{-N}(\text{H})\text{-C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2\text{-COOMe}$	DMSO-d ₆ 1.44-1.69(4H, m) 2.50-2.57(3H, m) 2.63-2.92(2H, m) 3.11(1H, dd, J=13.5, 9.0Hz) 3.21(1H, dd, J=13.5, 6.6Hz) 3.48-3.59(2H, m) 3.65(3H, s) 4.67-4.79(1H, m) 5.63(1H, brs) 7.17-7.34(5H, m) 8.02(1H, s) 8.57(2H, brs) 9.18(1H, d, J=9.0Hz) 13.43(1H, s)		468 (free base, M ⁺ H ⁺)	
137 ·2HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_6\text{-N}(\text{H})\text{-C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2\text{-COOMe}$	DMSO-d ₆ 1.29-1.84(8H, m) 2.69(3H, s) 2.88-3.36(6H, m) 3.73(3H, s) 4.82-4.96(1H, m) 6.93(1H, d, J=8.5Hz) 7.18-7.34(6H, m) 7.93(1H, t, J=4.2Hz)	KBr 3422 2939 1741 1638 1542	428 (free base, M ⁺ H ⁺)	

表72

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
138 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.83(4H, bs) 2.82-2.94(2H, m) 3.16-3.32(2H, m) 4.02-4.06(2H, m) 4.88-5.02(1H, m) 7.06-7.42(8H, m) 7.62(2H, d, $J=8.1\text{Hz}$) 7.86(2H, bs) 8.32(1H, s) 10.38(1H, s)	KBr 3412 2954 1638 1599 1542 1445 1066	516 (free base, MH $^+$)	C ₂₀ H ₂₂ Cl ₂ N ₂ O ₄ ·HCl 計算値 C, 50.38 H, 5.07 N, 8.81 測定値 C, 47.87 H, 4.6 N, 7.31
139 ·HCl	$\text{Cl}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.74-1.87(4H, m) 2.83-2.92(2H, m) 2.95-3.03(1H, m) 3.14-3.22(1H, m) 3.99-4.06(2H, m) 4.65-4.74(1H, m) 7.14-7.34(6H, m) 7.68-7.81(1H, m) 8.23(1H, s) 9.19-9.21(1H, m) 13.56(1H, s)	KBr 2955 1677 1458 1413 1352 1261 1203 1138	410 (free base, MH $^+$)	C ₂₀ H ₂₂ Cl ₂ N ₂ O ₄ ·HCl 計算値 C, 50.38 H, 5.07 N, 8.81 測定値 C, 47.87 H, 4.6 N, 7.31

表73

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm ⁻¹)	FAB-MS (free base, MH^+)	元素分析 (%)
140	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{OH}$ $\text{Cl} \quad \text{Ph}$ $\text{---} \quad \text{---}$ $\text{---} \quad \text{CONH---CH}_2-\text{CONH---Me}$ $\text{Cl} \quad \text{Cl}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1. 80-1. 84(4H, m) 2. 62(3H, d, J=4.5Hz) 2. 85-2. 89(2H, m) 3. 00(1H, dd, J=13, 7, 10, 8Hz) 3. 16(1H, dd, J=13, 7, 4, 2Hz) 4. 00-4. 16(2H, m) 4. 46-4. 73(1H, m) 7. 13-7. 32(5H, m) 7. 82-7. 97(3H, m) 8. 20(1H, q, J=4.5Hz) 8. 27(1H, s) 9. 31(1H, d, J=8.2Hz) 13. 56(1H, s)	KBr 3422 2940 1641 1584 1458 1412 1348 1228	454	$\text{C}_2\text{H}_2\text{Cl}_2\text{N}_3\text{O}_4 \cdot \text{HCl}$ 计算值 C, 51.39 H, 5.34 N, 8.56 测定值 C, 50.03 H, 5.38 N, 8.15
141	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{OH}$ $\text{Cl} \quad \text{Ph}$ $\text{---} \quad \text{---}$ $\text{---} \quad \text{CONH---CH}_2-\text{CONH---C}_6\text{H}_4-\text{F}$ $\text{Cl} \quad \text{Cl}$ $\cdot\text{HCl}$	DMSO-d ₆ 1. 78-1. 86(4H, m) 2. 78-2. 94(2H, m) 3. 18-3. 78(2H, m) 4. 02-4. 10(2H, m) 4. 86-4. 96(1H, m) 7. 12-7. 42(8H, m) 7. 60-7. 66(2H, m) 7. 32(2H, bs) 8. 32(1H, s) 9. 42(1H, d, J=8.8Hz) 10. 44(1H, s)	KBr 2954 1670 1639 1542 1508 1217 1065	534	(free base, MH^+)

表74

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm ⁻¹)	FAB-MS	元素分析 (%)
142	$\text{H}_2\text{N}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}(\text{H}_2\text{N})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}(\text{H}_2\text{N})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.73-1.88(4H, m) 2.79-2.92(2H, m) 3.08-3.30(2H, m) 4.01-4.07(2H, m) 5.02-5.32(1H, m) 7.17-7.21(2H, m) 7.26-7.31(2H, m) 7.45-7.47(2H, m) 7.84-8.08(5H, m) 8.30(1H, s) 8.37(1H, d, J=6.0Hz) 9.40(1H, d, J=9.0Hz) 11.24(1H, s) 13.42(1H, s)	KBr 3423 2957 1643 1572 1541 1439 1337 1260 1228	517 (free base, M ⁺)	C ₂₅ H ₂₆ Cl ₂ N ₄ O ₄ •HCl 計算値 C, 50.87 H, 4.78 N, 9.49 測定値 C, 49.81 H, 5.14 N, 9.27
143	$\text{MeN}-\text{(\text{CH}_2)}_4-\text{O}-\text{C}(\text{H}_2\text{N})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}(\text{H}_2\text{N})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{CONH}-\text{Ph}$	DMSO-d ₆ 1.70-1.90(4H, m) 2.58(3H, s) 2.75-3.00(4H, m) 3.88-3.98(2H, m) 4.56-4.59(1H, m) 7.16-7.33(5H, m) 7.55(1H, s) 8.78(1H, m)	KBr 3422 1624 1570 1542 1431	470 (M ⁺)	

表75

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
144 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CH}(\text{Ph})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{CH}_2-\text{CH}_3$	DMSO-d ₆ 1.80-1.86(4H, m) 2.35(3H, s) 2.84-2.90(2H, m) 3.34-3.47(2H, m) 4.00-4.06(2H, m) 5.56-5.64(1H, m) 7.19-7.34(5H, m) 7.96(3H, brs) 8.22(1H, s) 9.86(1H, d, J=9Hz) 13.19(1H, brs)	KBr 3421 2935 1638 1588 1542 1457	479 (free base, MH ⁺)	C ₂₉ H ₂₄ Cl ₂ N ₂ O ₄ · HCl 計算値 C, 51.80 H, 5.43 N, 6.04 測定値 C, 50.96 H, 5.46 N, 5.65
145 ·HCl	$\text{H}_2\text{N}-\text{(CH}_2)_4-\text{O}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Cl})_2-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CH}(\text{Ph})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{O}-\text{CH}_2-\text{CH}_3$	DMSO-d ₆ 1.70-1.92(4H, m) 2.73-3.01(4H, m) 3.42-3.58(2H, m) 3.95-4.11(2H, m) 4.13-4.32(1H, m) 4.97(1H, brs) 7.09-7.33(5H, m) 7.91(3H, brs) 8.25(1H, s) 8.92(1H, d, J=9.0Hz) 13.98(1H, s)	KBr 3421 2950 1637 1583 1458	427 (free base, MH ⁺)	C ₂₉ H ₂₄ Cl ₂ N ₂ O ₄ · HCl 計算値 C, 51.80 H, 5.43 N, 6.04 測定値 C, 50.96 H, 5.46 N, 5.65

表 7-6

文献号	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm ⁻¹)	FAB-MS	元素分析 (%)
146	$\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{O}-$ $\text{Ph}-\text{CH}_2-\text{CONH}-$ $\text{H}_2\text{N}-\text{CH}_2-\text{O}-$ HCl	DMSO-d ₆ 1. 58-1. 82(4H, m) 2. 68-2. 84(2H, m) 3. 02-3. 26(2H, m) 3. 67(3H, s) 4. 12-4. 20(2H, m) 4. 82-4. 88(1H, m) 6. 92(1H, d, J=9. 0Hz) 7. 16-7. 40(8H, m) 7. 54(1H, s) 7. 81(2H, br) 8. 21(1H, s) 8. 62(1H, d, J=7. 2Hz) 10. 21(1H, s)	KBr 3386 2952 1741 1647 1618 1527 1227 1188	437 (free base, NH^+)	
147	$\text{MeN}-\text{CH}_2-\text{O}-$ $\text{Ph}-\text{CH}_2-\text{CONH}-$ COOEt $\text{H}-\text{CH}_2-\text{O}-$ HCl	DMSO-d ₆ 1. 20(3H, t, J=5. 4Hz) 1. 82-1. 85(4H, m) 2. 58-2. 62(3H, m) 2. 96-3. 04(2H, m) 3. 15-3. 26(2H, m) 4. 11(2H, t, J=4. 3Hz) 4. 16(2H, q, J=5. 4Hz) 4. 69-4. 75(1H, m) 7. 10(2H, d, J=6. 6Hz) 7. 24-7. 28(1H, m) 7. 32-7. 38(1H, m) 7. 73(2H, d, J=6. 6Hz) 7. 77(2H, d, J=6. 3Hz) 7. 94(2H, d, J=6. 3Hz) 8. 72-8. 83(2H, m) 8. 88(1H, d, J=5. 8Hz)	KBr 3332 2938 2723 1750 1630 1605 1535 1495 1204 1183	475 (free base, NH^+)	

表77

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
148 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{N}=\text{C}(\text{Ph})-\text{C}(\text{OEt})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COOEt}$	DMSO-d ₆ 1.16(3H, t, J=7Hz) 1.65-1.92(4H, m) 2.53(3H, s) 2.93(2H, t, J=6Hz) 3.07(2H, t, J=6Hz) 3.12-3.25(2H, m) 4.12(2H, t, J=7Hz) 7.19-7.33(5H, m) 7.54(1H, dd, J=3, 9Hz) 7.59(1H, d, J=9Hz) 8.68(2H, brs) 9.08(1H, d, J=9Hz) 12.08(1H, brs)	KBr 3343 2936 1741 1638 1550	467 (free base, M ⁺)	
149 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{N}=\text{C}(\text{Ph})-\text{C}(\text{OEt})-\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{COOEt}$	DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=6.8Hz) 1.66-1.82(4H, m) 2.42-2.58(6H, m) 2.84-3.22(6H, m) 4.09(2H, q, J=6.8Hz) 4.64-4.68(1H, m) 7.18-7.34(5H, m) 7.98(2H, d, J=8.6Hz) 8.08(2H, d, J=8.6Hz) 8.68(1H, br) 9.04(1H, d, J=7.2Hz)	KBr 3423 2938 1735 1617 1560 1211	451 (free base, M ⁺)	

表 7-8

实施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析(%)
150	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{N}=\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH}-\text{C}_6\text{H}_3\text{COOH}-\text{Ph})$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d_6 1.70-1.88(4H, m) 2.53(3H, m) 2.90-3.70(6H, m) 4.76(1H, m) 7.20-7.28(5H, m) 7.55-7.56(2H, m) 8.04(1H, d, J=6.0Hz) 8.62(2H, m) 9.03(1H, d, J=6.0Hz) 12.12(1H, s) 13.0(1H, brs)	KBr 1735 1623 1545 1224	439 (free base, MH^+)	
151	$\text{MeN-(CH}_2)_4-\text{N}=\text{C}_6\text{H}_3(\text{OH}-\text{C}_6\text{H}_3\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_3\text{N(Me)}=\text{N-Ph})$ $\cdot \text{HCl}$	DMSO-d_6 1.69-1.88(4H, m) 2.34(3H, s) 2.53(3H, m) 2.89-3.80(6H, m) 5.62(1H, m) 7.20-7.32(5H, m) 7.52(1H, d, J=6Hz) 7.55(1H, s) 7.59(1H, d, J=6Hz) 8.69(2H, brs) 9.40(1H, d, J=6.0Hz) 12.06(1H, s)	KBr 1654 1542 1437 1231	477 (free base, MH^+)	

表79

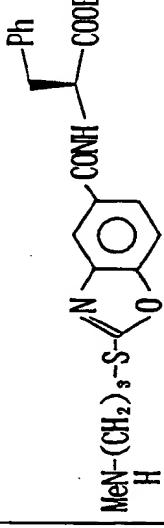
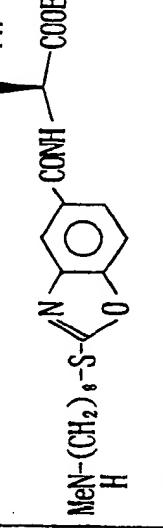
実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
152 ·HCl	 DMSO-d ₆ <ol style="list-style-type: none"> 1.15(3H, t, J=15Hz) 2.18(2H, m) 2.57(3H, m) 2.90-3.50(6H, m) 4.12(2H, q, J=15Hz) 4.60(1H, m) 7.21-7.34(5H, m) 7.73(1H, d, J=9Hz) 7.82(1H, d, J=9Hz) 8.09(1H, s) 8.80(2H, brs) 8.91(1H, d, J=6Hz) 		442 (free base, NH ⁺)		
153 ·HCl	 DMSO-d ₆ <ol style="list-style-type: none"> 1.11-1.83(11H, m) 2.52(3H, m) 2.83-3.55(6H, m) 4.10(2H, q, J=18Hz) 4.65(1H, m) 7.20-7.83(7H, m) 8.12(1H, s) 8.94(3H, m) 		484 (free base, NH ⁺)	KBr 1738 1643 1497 1469	

表 8 0

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm ⁻¹)	FAB-MS	元素分析 (%)
154 ·HCl	$\text{MeN}-(\text{CH}_2)_4-\text{S}-\text{C}_6\text{H}_3(\text{Me})-\text{CONH}-\text{CH}_2-\text{CH}(\text{Ph})-\text{COOBt}$	CDCl_3 1.24(3H, t, J=7.3Hz) 1.70-1.83(2H, m) 1.97-2.08(2H, m) 2.65(3H, s) 2.92-3.02(4H, m) 3.21(2H, d, J=5.8Hz) 3.80(3H, s) 4.18(2H, q, J=7.3Hz) 5.03(1H, q, J=5.8Hz) 6.83(1H, d, J=1.3Hz) 6.93(1H, dd, J=8.2, 1.3Hz) 7.15-7.28(5H, m) 8.08(1H, d, J=8.2Hz) 8.27(1H, d, J=7.3Hz) 9.56(2H, brs)		445 (free base, MH^+)	

表 8-1

実施例	化 合 物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm), 300MHz	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析(%)
155 ·2HCl	<chem>CC(C(=O)OCC)c1ccc(Cl)c(C(=O)N[C@H](C)c2ccccc2)c1</chem>	DMSO-d ₆ 1.14(3H, t, J=7Hz) 3.08-3.60(14H, m) 4.12(2H, q, J=7Hz) 7.15-7.32(5H, m) 8.31(1H, s) 9.58(1H, d, J=9Hz) 9.59(2H, brs)	KBr 3436 1774 1638 1459	538 (free base, MH ⁺)	
156 ·HCl	<chem>CC(C(=O)OCC)c1ccc(Cl)c(C(=O)N[C@H](C)c2ccccc2)c1</chem>	DMSO-d ₆ 0.93(3H, t, J=6.0Hz) 1.17(3H, t, J=6.0Hz) 1.66-1.92(4H, m) 2.22-2.34(2H, m) 2.78-3.36(6H, m) 4.11(2H, q, J=6.0Hz) 4.70-4.78(1H, m) 6.98(1H, s) 7.24-7.32(5H, m) 8.11(1H, s) 8.89(1H, brs) 9.08(1H, d, J=7.2Hz) 12.37(1H, s)	KBr 3342 2972 1738 1651 1262 1182	503 (free base, MH ⁺)	

表 8 2

実施例	化合物	$^1\text{H-NMR}$ δ (ppm, 300MHz)	IR (cm $^{-1}$)	FAB-MS	元素分析 (%)
157 ·HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_3\text{-COO}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{CH}_2\text{COOMe}$ 	CDCl_3 2.20-2.34(2H, m) 2.71(3H, s) 2.77(2H, t, J =5Hz) 3.11(2H, brs) 3.23(2H, ddd, J =13, 8, 5Hz) 3.77(3H, s) 5.01(1H, ddd, J =8, 8, 5Hz) 6.60(1H, dd, J =9, 2Hz) 6.73(1H, d, J =2Hz) 6.97(1H, d, J =8Hz) 7.13(2H, dd, J =8, 2Hz) 7.24-7.32(3H, m) 7.37(1H, d, J =9Hz) 9.51(2H, brs) 12.12(1H, s)		415 (free base, MH^+)	
158 ·HCl	$\text{MeN}(\text{CH}_2)_3\text{-COO}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{CONH}-\text{CH}_2\text{Br}$ 	CDCl_3 2.20-2.40(2H, m) 2.71-2.85(4H, m) 3.05-3.25(4H, m) 3.77(1H, s) 4.91(1H, q, J =7.2Hz) 6.86(1H, s) 7.14-7.30(6H, m) 7.67(1H, s) 9.43(2H, brs) 11.91(1H, s)		493 (free base, MH^+)	

次に本発明化合物を薬剤として用いる場合の製剤例を示す。

製剤例 1 (錠剤の製造例)

(1)実施例 1 8 の化合物	10 g
(2)乳糖	50 g
(3)トウモロコシデンプン	15 g
(4)カルボキシメチルセルロースナトリウム	44 g
(5)ステアリン酸マグネシウム	1 g

(1), (2), (3) の全量及び(4) の 30 g を水で練合し、真空乾燥後製粒を行った。この製粒末に 14 g の(4) 及び 1 g の(5) を混合し、打錠機で錠剤とすることにより、1錠あたり 10 mg を含有する錠剤 1000 個を製造した。

製剤例 2 (注射剤の製造例)

マンニトール 5 g を注射用水 100 ml に溶かした水溶液に実施例 1 8 の化合物 100 mg を溶解し、0.22 μm のフィルターで濾過滅菌後、滅菌済のアンプルに 1 ml づつ充填することにより、1 アンプルあたり 1 mg を含有する注射剤を得た。

次に、本発明化合物の炎症性サイトカイン産生抑制作用、LPS 誘発腹膜炎に対する抑制作用及び LPS/D-ガラクトサミン 誘発肝炎モデルに対する抑制作用について行った試験結果を示す。

試験例 1 : 炎症性サイトカイン産生抑制作用

ヘパリン採血したヒト末梢血を Ficol-Paque (15 ml) に 30 ml のせ、400 G で 40 分間室温で遠心し、得られた単球画分層を集め、E-MEM 培地で 3 回洗浄した。最終的に細胞を、 0.5×10^5 個 / 800 μl の濃度に、5% ウシ胎児血清 (2-メルカプトエタノール) を含む RPMI-1640 培地にて調製し、24 穴プレートに 800 μl ずつ巻き込んだ。検体 100 μl を加え、1 時間後リポ多糖体 (LPS : Lipopolysaccharide) (100 $\mu\text{g}/\text{ml}$) を 100 μl 添加した。LPS 刺激 20 時間後の上清を採取し、各種サイトカイン量を ELISA キットにて測定した。なお各々の濃度におけるサイトカイン量を

ロットすることにより、50%阻害に必要な検体の濃度（IC₅₀）を求めた。結果を表83～88に示す。

表83

	IC ₅₀ (μM)		
	IL-1β	TNF	IL-8
実施例1	0.002	0.008	0.009
実施例2	—	—	0.01
実施例3	>30	14	>30
実施例4	3	2	2
実施例5	75	6	6
実施例6	14	6	14
実施例7	—	—	8
実施例9	—	—	<0.3
実施例10	—	—	0.6
実施例11	—	—	0.4
実施例14	—	—	1
実施例15	—	—	1
実施例16	—	—	0.03
実施例18	—	—	<0.01
実施例19	—	—	<0.01
実施例20	—	—	29
実施例21	—	—	<0.01
実施例22	—	—	<0.01
実施例24	—	—	0.02
実施例25	—	—	0.01
実施例26	—	—	0.009

表 8 4

	I C ₅₀ (μM)		
	I L - 1 β	T NF	I L - 8
実施例 2 7	-	-	< 0.01
実施例 2 8	-	-	< 0.01
実施例 2 9	-	-	< 0.01
実施例 3 0	-	-	0.6
実施例 3 1	-	-	< 0.01
実施例 3 2	-	-	0.5
実施例 3 4	-	-	2
実施例 3 6	-	-	0.06
実施例 3 7	-	-	0.3
実施例 3 9	-	-	0.02
実施例 4 0	-	-	0.01
実施例 4 1	-	-	< 0.01
実施例 4 2	-	-	0.1
実施例 4 3	-	-	0.03
実施例 4 4	-	-	< 0.01
実施例 4 5	0.0008	0.004	0.004
実施例 4 6	-	-	< 0.01
実施例 4 7	-	-	3
実施例 4 8	-	-	0.2
実施例 4 9	-	-	0.02
実施例 5 0	-	-	28

表 8 5

	I C ₅₀ (μM)		
	I L - 1 β	TNF	I L - 8
実施例 5 1	—	—	7
実施例 5 2	—	—	< 0.01
実施例 5 3	—	—	< 0.01
実施例 5 4	—	—	< 0.01
実施例 5 5	—	—	< 0.01
実施例 5 6	—	—	4
実施例 5 7	—	—	0.05
実施例 5 8	—	—	0.02
実施例 6 0	—	—	0.03
実施例 6 3	—	—	0.1
実施例 6 4	—	—	0.05
実施例 6 7	—	—	0.05
実施例 6 8	—	—	0.001
実施例 6 9	—	—	< 0.001
実施例 7 0	—	—	0.006
実施例 7 1	—	—	0.04
実施例 7 2	—	—	0.1
実施例 7 3	—	—	< 0.01
実施例 7 4	—	—	0.07
実施例 7 5	—	—	0.04
実施例 7 6	—	—	0.3

表 8 6

	I C ₅₀ (μM)		
	I L - 1 β	T NF	I L - 8
実施例 7 7	—	—	3
実施例 8 0	—	—	3
実施例 8 1	—	—	4
実施例 8 2	—	—	0.02
実施例 8 3	—	—	0.09
実施例 8 4	—	—	0.03
実施例 8 5	—	—	0.07
実施例 8 6	—	—	<0.001
実施例 8 7	—	—	0.2
実施例 8 8	—	—	3
実施例 8 9	—	—	0.6
実施例 9 0	—	—	0.6
実施例 9 1	—	—	0.001
実施例 9 2	—	—	0.03
実施例 9 4	—	—	1
実施例 9 5	—	—	0.09
実施例 9 6	—	—	0.003
実施例 9 8	—	—	0.001
実施例 9 9	—	—	0.001
実施例 1 0 0	—	—	0.001
実施例 1 0 1	—	—	0.003

表 8 7

	IC ₅₀ (μM)		
	IL-1β	TNF	IL-8
実施例 102	—	—	0.002
実施例 103	—	—	0.7
実施例 104	—	—	0.7
実施例 105	0.001	0.004	0.005
実施例 106	—	—	< 0.01
実施例 110	—	—	< 0.01
実施例 111	—	—	< 0.01
実施例 117	—	—	< 0.01
実施例 122	—	—	< 0.01
実施例 125	—	—	0.01
実施例 126	—	—	0.8
実施例 127	—	—	0.2
実施例 128	—	—	0.2
実施例 129	—	—	2
実施例 132	—	—	0.07
実施例 133	—	—	0.2
実施例 134	—	—	0.2
実施例 136	—	—	0.2
実施例 137	—	—	2
実施例 138	—	—	1
実施例 139	—	—	4

表 8 8

	I C ₅₀ (μM)		
	I L - 1 β	TNF	I L - 8
実施例 140	-	-	13
実施例 141	-	-	3
実施例 142	-	-	0.4
実施例 143	-	-	3
実施例 144	-	-	29
実施例 146	-	-	5
実施例 147	-	-	2
実施例 148	-	-	4
実施例 149	-	-	3
実施例 152	-	-	7
実施例 153	-	-	1
実施例 155	-	-	0.2
実施例 156	-	-	2

試験例 2 : L P S 誘発腹膜炎に対する抑制作用

雄性 B a 1 b / c マウスの腹腔に 0.5% CMC (カルボキシメチルセルロース) を含んだ生理食塩水で調製した L P S (30 μg / m l, 1 m l) を注入し、腹膜炎を惹起させた。1 時間後に炭酸ガスで屠殺、腹腔液中の TNF α 量を E L I S A キットにて測定した。

検体は L P S 投与 60 分前に 50 mg / k g 尾静脈内投与しておき、その抑制程度を検討した。なお、検体の抑制作用は対照群に対する抑制率にて示した。

抑制率 (%) = 100 - (検体処理群の TNF 量 / 対照群の TNF 量) × 100

結果を表 8 9 に示す。

表中、** は対照群との有意差 $p < 0.01$ を示す。

表 8 9

	抑制率 (%)
実施例 1	64 **
実施例 4	38 **
実施例 9	21
実施例 19	32 **
実施例 51	38 **
実施例 52	31 **
実施例 148	19
実施例 155	28 **

試験例 3 : L P S / D - ガラクトサミン誘発肝炎モデルに対する抑制作用

雄性 C 5 7 B L / 6 マウスに L P S (5 μ g / k g) / D - ガラクトサミン (500 mg / k g) 生理食塩水溶液を腹腔内投与し、肝炎を発症させた。L P S / D - ガラクトサミン生理食塩水溶液投与 6 時間後に、マウス眼窩静脈叢より血液を採取した。血液より血漿を分離し、生化学分析装置にて血中の A L T 値を測定した。検体は、L P S / D - ガラクトサミン生理食塩水溶液投与 10 分前に尾静脈内投与しておき、その抑制程度を検討した。なお、検体の抑制作用は対照群に対する抑制率にて示した。

$$\text{抑制率 (\%)} = 100 - (\text{検体処理群の A L T 量} / \text{対照群の A L T 量}) \times 100$$

結果を表 9 0 ~ 9 1 に示す。

表 9 0

	用量 (mg/kg)	抑制率 (%)
実施例 1	5	8 8
	1 0	7 8
実施例 2	1 0	6 5
実施例 4	1 0	4 2
実施例 1 0	1 0	7 7
実施例 1 8	1 0	8 6
実施例 2 2	1 0	5 1
実施例 2 4	1 0	6 3
実施例 2 7	1 0	6 7
実施例 3 1	5	8 7
実施例 3 2	1 0	7 8
実施例 3 6	1 0	4 7
実施例 3 7	1 0	8 0

表 9 1

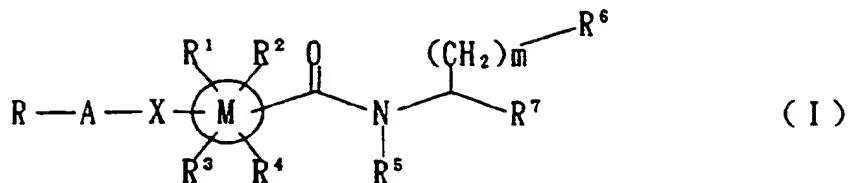
	用量 (mg/kg)	抑制率 (%)
実施例 4 0	1 0	4 9
実施例 4 5	1 0	3 0
実施例 4 6	1 0	5 7
実施例 5 0	1 0	1 5
実施例 5 4	5	7 4
実施例 6 0	1 0	4 2
実施例 6 1	1 0	6
実施例 1 0 5	1 0	4 0
実施例 1 1 7	1 0	5 4
実施例 1 2 3	1 0	4 1
実施例 1 2 6	1 0	2 7
実施例 1 2 7	5	8 2
実施例 1 3 8	5	2 2

上記結果より、本発明化合物は、炎症性サイトカイン產生抑制作用を有し、慢性関節リウマチ等のリウマチ性疾患、痛風による関節炎、全身性エリトマトーデス、乾癬・膿疱症・アトピー性皮膚炎等の皮膚疾患、気管支喘息・気管支炎・A R D S・びまん性間質性肺炎等の呼吸器疾患、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、激症肝炎を含む急性・慢性肝炎、急性・慢性糸球体腎炎、腎孟腎炎、ベーチェット病・vogt-小柳・原田病等に伴うぶどう膜炎、地中海熱（多発性漿膜炎）、心筋梗塞等の虚血疾患、敗血症に伴う全身循環不全や多臓器不全等に代表される好中球の浸潤を伴う非感染性、感染性疾患等の予防又は治療に有用であることがわかる。

また、IL-6、GM-CSF等の炎症性サイトカインについても試験を行った結果、これらの炎症性サイトカインも抑制することが確認された。

請求の範囲

1. 一般式 (I) :



{式中、RはR₁ ; R₂で置換されたアルコキシ基；R₃で置換されたアルキルチオ基；R₄で置換されたアルキルアミノ基；置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基；又は水酸基〔ここで、R₅はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）である〕を表し、

Aは置換されていてもよく、かつ鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基；又は単結合を表し、

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR⁸-；-SO-；-SO₂-；-CR⁹R¹⁰-；-C=C-；-C≡C-；-CO-；-COO-；-OOC-；-NR⁸CO-；-CONR⁸-；-NR⁸SO₂-；-SO₂NR⁸-；-CS-；-COS-；-O-CO-O-；-NR⁸-COO-；-OOC-NR⁸-；-NH-CO-NH-；-NH-CS-NH-；-NH-C(=NH)-NH-；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、R⁸は水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、R⁹、R¹⁰は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；又はアラルキル基を示す〕を表し、

Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ 〔ここで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていてもよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す〕を表し、

R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を表し、

m は0又は1～6から選ばれる整数を表し、

R^6 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい低級アルキル基；置換されていてもよい低級アルコキシ基；置換されていてもよい低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；又は置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基を表し、

R^7 は水素原子；置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ば

れる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y)R^{12}$ [ここで、Yは酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13}-$ ；又は $-NR^{13}-SO_2-(R^{13}$ は水素原子；アルキル基；アラルキル基；水酸基；アルコキシ基；アリール基；又はアミノ保護基を示す)を、

pは0又は1を、

R^{12} は水素原子；水酸基、アルコキシ基、アルコキシアルコキシ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基はアルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルケニル基；置換されていてもよいアルキニル基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいアラルキル基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す）を表す}で表されるアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩。

2. 一般式 (I) においてR、A、X、M、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、m、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第1項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

Rは R_{11} ； R_{11} で置換されたアルコキシ基； R_{11} で置換されたアルキルチオ基； R_{11} で置換されたアルキルアミノ基；又は低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基 [ここで、 R_{11} はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドログアニジノ基、ヒドログアニジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）で

ある]を示す。

Aは鎖中に1以上の中重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基；又は単結合を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR^{8'}-；-SO-；-SO₂-；-CR^{9'}R^{10'}-；-C=C-；-C≡C-；-CO-；-COO-；-OOC-；-NR^{8'}CO-；-CONR^{8'}-；-NR^{8'}SO₂-；-SO₂NR^{8'}-；-CS-；-COS-；-O-CO-O-；-NR^{8'}-COO-；-OOC-NR^{8'}-；-NH-CO-NH-；-NH-CS-NH-；-NH-C(=NH)-NH-；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、R^{8'}は水素原子；低級アルキル基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、R^{9'}、R^{10'}は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；又はアラルキル基を示す〕を示す。

Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルコキシ基；メルカプト基；低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；低級アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は-O-CO-R^{11'}〔ここで、R^{11'}はアミノ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アシル基、低級アルコキシ基又はカルボキシル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい）；低級アルコキシ基；低級アルキル基、カルボキシル基又はベンジルオキ

シカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアリール基；又は置換されていてもよいシクロアルキル基を示す]を示す。

R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を示す。

m は0又は1～6から選ばれる整数を示す。

R^6 はアリール基；シクロアルキル基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基〔ここで、アリール基、シクロアルキル基及び窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基は、低級アルキル基、ハロゲン原子、水酸基、低級アルコキシ基、アミノ基、カルボキシル基又は低級アルコキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい〕を示す。

R^7 は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、メルカブト基、低級アルキルチオ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y')$ ， $R^{12'}$ 〔ここで、 Y' は酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13'}$ ；又は $-NR^{13'}-SO_2-$ （ $R^{13'}$ は水素原子；低級アルキル基；アラルキル基；水酸基；低級アルコキシ基；又はアミノ保護基を示す）を、 p は0又は1を、 $R^{12'}$ は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロアルキル基；低級アルキル基、ハロゲン原子、アミノ基、カルボキシル基、水酸基又は低級アルコキシ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアリール基；アラルキル基；低級アルキル基、ハロゲン原子、アミノ

基、カルボキシル基、水酸基又は低級アルコキシ基から選ばれる置換基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す]を示す。

3. 一般式(I)においてR、A、X、M、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、m、R⁶又はR⁷から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第1項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

RはR₁₂；R₁₂で置換されたアルコキシ基；又は低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基〔ここで、R₁₂はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基又はカルバモイル基（これらの基は、低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい）である〕を示す。

Aは直鎖のアルキレン基；又は単結合を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR^{8''}-；-CR^{9''}R^{10''}-；-COO-；-OOC-；-NR^{8''}CO-；-CONR^{8''}-；-NR^{8''}SO₂-；-SO₂NR^{8''}-；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基〔ここで、R^{8''}は水素原子；低級アルキル基；又はアミノ保護基を、R^{9''}、R^{10''}は同一又は異なって、水素原子；又は低級アルキル基を示す〕を示す。

Mはアリーレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルコキシ基；又は-O-CO-R^{11''}〔ここで、R^{11''}はアミノ基、アシルオキシ基又はアラルキルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基（ここで、アミノ基は

低級アルキル基で置換されていてもよい) ; 低級アルコキシ基 ; 低級アルキル基で置換されていてもよいアリール基 ; 又はシクロアルキル基を示す] を示す。

R^5 は水素原子 ; 低級アルキル基 ; 又はアミノ保護基を示す。

m は 1 を示す。

R^6 はアリール基 ; 又はシクロアルキル基 [ここで、アリール基及びシクロアルキル基は、ハロゲン原子又は水酸基で置換されていてもよい] を示す。

R^7 は水素原子 ; 水酸基又は低級アルコキシ基で置換されていてもよい低級アルキル基 ; 低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基 ; 又は $-CO(Y'')$, $R^{12''}$ (ここで、 Y'' は酸素原子 ; 硫黄原子 ; 又は $-NR^{13''}-$ ($R^{13''}$ は水素原子 ; 低級アルキル基 ; 水酸基 ; 又はアミノ保護基を示す) を、 p は 0 又は 1 を、 $R^{12''}$ は水素原子 ; 水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基 (ここで、アミノ基は低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい) ; 低級アルキル基で置換されていてもよいシクロアルキル基 ; ハロゲン原子で置換されていてもよいアリール基 ; アラルキル基 ; 低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基 ; アダマンチル基 ; 又はシクロアルキリデンアミノ基を示す] を示す。

4. 一般式 (I) において R 、 A 、 X 、 M 、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 m 、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも 1 つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第 1 項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

R はアミノ基 ; アミノ基で置換された低級アルコキシ基 ; 低級アルキル基で置

換されていてもよいピペラジニル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基〔ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい〕を示す。

Aは直鎖のアルキレン基を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NH-；又は-CH₂-を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R¹¹¹¹¹〔ここで、R¹¹¹¹¹はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す〕を示す。

R⁵は水素原子を示す。

mは1を示す。

R⁶はフェニル基を示す。

R⁷は-COO-R¹²¹¹¹〔ここで、R¹²¹¹¹は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基；アダマンチル基；又はシクロヘキシリデンアミノ基を示す〕を示す。

5. Mがフェニレン基である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

6. R⁷が-COO-R¹²¹¹¹〔ここで、R¹²¹¹¹は低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基を示す〕である請求の範囲

第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

7. Xが酸素原子又は $-\text{CH}_2-$ である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

8. R^6 がフェニル基であり、かつmが1である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

9. Rが低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基、低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

10. R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 が同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；又は $-\text{O}-\text{CO}-\text{R}^{11\dots\dots}$ 〔ここで、 $\text{R}^{11\dots\dots}$ は低級アルキル基又はフェニル基を示す〕である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

11. 一般式 (I-a)



〔式中、Rは R_1 ； R_2 で置換されたアルコキシ基； R_3 で置換されたアルキルチオ基； R_4 で置換されたアルキルアミノ基；置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基；又は水酸基〔ここで、 R_5 はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基か

ら選ばれる置換基で置換されていてもよい)である]を表し、

Aは置換されていてもよく、かつ鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基;又は単結合を表し、

Xは酸素原子;硫黄原子; $-NR^8-$; $-SO-$; $-SO_2-$; $-CR^8R^{10}-$;
 $-C=C-$; $-C\equiv C-$; $-CO-$; $-COO-$; $-OOC-$; $-NR^8CO-$;
 $-CONR^8-$; $-NR^8SO_2-$; $-SO_2NR^8-$; $-CS-$; $-COS-$;
 $-O-CO-O-$; $-NR^8-COO-$; $-OOC-NR^8-$;
 $-NH-CO-NH-$; $-NH-CS-NH-$; $-NH-C(=NH)-NH-$;
 窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基;又はシクロアルキレン基(ここで、 R^8 は水素原子;アルキル基;シクロアルキル基;アリール基;アラルキル基;又はアミノ保護基を、 R^8 、 R^{10} は同一又は異なって、水素原子;アルキル基;シクロアルキル基;アリール基;又はアラルキル基を示す)を表し、

Mはアリーレン基;シクロアルキレン基;又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子;水酸基;ハロゲン原子;水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基;アルコキシ基;メルカプト基;アルキルチオ基;アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基;ニトロ基;シアノ基;カルボキシル基;アルコキシカルボニル基;アリールオキシカルボニル基;アシル基;又は $-O-CO-R^{11}$ (ここで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基(ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換

されていてもよい) ; 置換されていてもよいアルコキシ基; 置換されていてもよいアリール基; 置換されていてもよいシクロアルキル基; 置換されていてもよいアリールオキシ基; 置換されていてもよいアラルキルオキシ基; 置換されていてもよいアルキルチオ基; 又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す) を表す} で表されるカルボン酸化合物。

12. 一般式 (I-a) において R、A、X、M、R¹、R²、R³ 又は R⁴ から選ばれる少なくとも 1 つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第 11 項記載のカルボン酸化合物。

R はアミノ基; アミノ基で置換された低級アルコキシ基; 低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基; 又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基 [ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい] を示す。

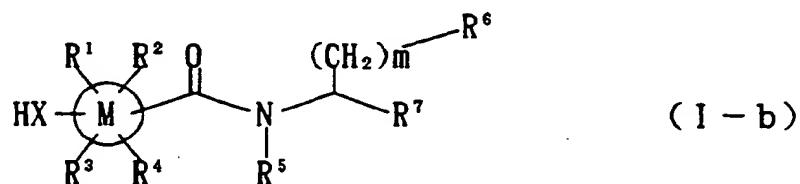
A は直鎖のアルキレン基を示す。

X は酸素原子; 硫黄原子; -NH-; 又は -CH₂- を示す。

M はアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴ は同一又は異なって、水素原子; 水酸基; ハロゲン原子; 又は -O-CO-R¹¹¹¹¹¹ [ここで、R¹¹¹¹¹¹ はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基; 又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す] を示す。

13. 一般式 (I-b)



{式中、X は酸素原子; 硫黄原子; -NR⁸-; -SO-; -SO₂-;

$-CR^8R^{10}-$; $-C=C-$; $-C\equiv C-$; $-CO-$; $-COO-$; $-OOC-$;
 $-NR^8CO-$; $-CONR^8-$; $-NR^8SO_2-$; $-SO_2NR^8-$;
 $-CS-$; $-COS-$; $-O-CO-O-$; $-NR^8-COO-$;
 $-OOC-NR^8-$; $-NH-CO-NH-$; $-NH-CS-NH-$;
 $-NH-C(=NH)-NH-$; 窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる
 1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基
 (ここで、 R^8 は水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；アラ
 ルキル基；又はアミノ保護基を、

R^8 、 R^{10} は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；ア
 リール基；又はアラルキル基を示す)を表し、

M はアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子
 から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の
 複素環基を表し、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；
 水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されてい
 てもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル
 基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換され
 ていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカル
 ボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ [こ
 こで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、
 アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラ
 ルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級ア
 ルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換され
 ていてもよいアルキル基(ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換
 されていてもよい)；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよ
 いアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい
 アリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていて

もよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す）を表し、

R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を表し、

m は 0 又は 1 ～ 6 から選ばれる整数を表し、

R^6 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい低級アルキル基；置換されていてもよい低級アルコキシ基；置換されていてもよい低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；又は置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基を表し、

R^7 は水素原子；置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y)$ ， R^{12} （ここで、Y は酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13}-$ ；又は $-NR^{13}-SO_2-(R^{13}$ は水素原子；アルキル基；アラルキル基；水酸基；アルコキシ基；アリール基；又はアミノ保護基を示す）を、

p は 0 又は 1 を、

R^{12} は水素原子；水酸基、アルコキシ基、アルコキシアルコキシ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基はアルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルケニル基；置換されていてもよいアルキニル基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいアラルキル基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基；

アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す)を表す}で表されるアミド化合物。

14. 一般式(I-b)においてX、M、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、m、R⁶又はR⁷から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第1~3項記載のアミド化合物。

Xは酸素原子；硫黄原子；又は-NH-を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R^{11'...}〔ここで、R^{11'...}はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す〕を示す。

R⁵は水素原子を示す。

mは1を示す。

R⁶はフェニル基を示す。

R⁷は-COO-R^{12'...}〔ここで、R^{12'...}は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基；アダマンチル基；又はシクロヘキシリデンアミノ基を示す〕を示す。

15. 薬学的に許容される担体及び請求の範囲第1~10項のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を含んでなる医薬組成物。

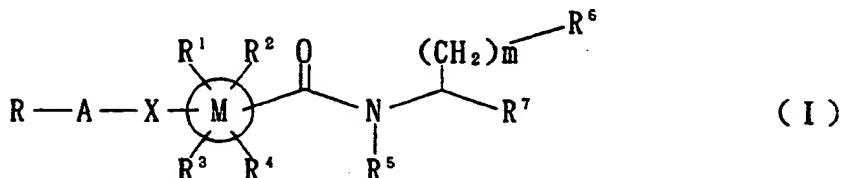
16. 請求の範囲第1～10項のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を有効成分とする炎症性サイトカイン産生抑制剤。

17. 請求の範囲第1～10項のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を有効成分とする炎症性疾患の為の治療又はその予防薬。

補正書の請求の範囲

[1997年1月10日(10.01.97) 国際事務局受理:出願当初の請求の範囲1-4及び10-14は補正された;他の請求の範囲は変更なし。(15頁)]

1. (補正後) 一般式(I) :



[式中、RはR₁ ; R₂ で置換されたアルコキシ基 ; R₃ で置換されたアルキルチオ基 ; R₄ で置換されたアルキルアミノ基 ; 置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基 ; 又は水酸基〔ここで、R₅ はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基(これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい)である〕を表し、

Aは鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基 ; 又は単結合を表し、

Xは酸素原子 ; 硫黄原子 ; -NR⁸- ; -SO- ; -SO₂- ; -CR⁹R¹⁰- ; -C=C- ; -C≡C- ; -CO- ; -COO- ; -OOC- ; -NR⁸CO- ; -CONR⁸- ; -NR⁸SO₂- ; -SO₂NR⁸- ; -CS- ; -COS- ; -O-CO-O- ; -NR⁸-COO- ; -OOC-NR⁸- ; -NH-CO-NH- ; -NH-CS-NH- ; -NH-C(=NH)-NH- ; 窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基 ; 又はシクロアルキレン基〔ここで、R⁸ は水素原子 ; アルキル基 ; シクロアルキル基 ; アリール基 ; アラルキル基 ; 又はアミノ保護基を、R⁹ 、R¹⁰ は同一又は異なって、水素原子 ; アルキル基 ; シクロアルキル基 ; アリール基 ; 又はアラルキル基を示す〕を表し、

Mはアリーレン基 ; シクロアルキレン基 ; 又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子（但し、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ [ここで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていてもよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す] を表し、 R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を表し、 m は 0 又は 1 ～ 6 から選ばれる整数を表し、

R^6 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい低級アルキル基；置換されていてもよい低級アルコキシ基；置換されていてもよい低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；又は置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基を表し、

R^7 は水素原子；置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ば

れる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y)R^{12}$ [ここで、Y は酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13}-$ ；又は $-NR^{13}-SO_2-(R^{13}$ は水素原子；アルキル基；アラルキル基；水酸基；アルコキシ基；アリール基；又はアミノ保護基を示す) を、

p は 0 又は 1 を、

R^{12} は水素原子；水酸基、アルコキシ基、アルコキシアルコキシ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基はアルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルケニル基；置換されていてもよいアルキニル基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいアラルキル基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す] を表す] で表されるアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩。

2. (補正後) 一般式 (I) において R、A、X、M、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、m、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも 1 つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第 1 項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

R は R_{a1} ； R_{a1} で置換されたアルコキシ基； R_{a1} で置換されたアルキルチオ基； R_{a1} で置換されたアルキルアミノ基；又は低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基 [ここで、 R_{a1} はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドログイノ基、ヒドログイノカルボニル基又はイミノ基 (これらの基は、低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい) で

ある] を示す。

A は鎖中に 1 以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基；又は単結合を示す。

X は酸素原子；硫黄原子； $-NR^{8''}-$ ； $-SO-$ ； $-SO_2-$ ； $-CR^{9''}R^{10''}-$ ； $-C=C-$ ； $-C\equiv C-$ ； $-CO-$ ； $-COO-$ ； $-OOC-$ ； $-NR^{8''}CO-$ ； $-CONR^{8''}-$ ； $-NR^{8''}SO_2-$ ； $-SO_2NR^{8''}-$ ； $-CS-$ ； $-COS-$ ； $-O-CO-O-$ ； $-NR^{8''}-COO-$ ； $-OOC-NR^{8''}-$ ； $-NH-CO-NH-$ ； $-NH-CS-NH-$ ； $-NH-C(=NH)-NH-$ ；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する 2 個の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、 $R^{8''}$ は水素原子；低級アルキル基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、 $R^{9''}$ 、 $R^{10''}$ は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；又はアラルキル基を示す〕を示す。

M はアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい 2 個の複素環基を示す。

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子（但し、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルコキシ基；メルカプト基；低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；低級アルコキカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11''}$ 〔ここで、 $R^{11''}$ はアミノ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アシル基、低級アルコキシ基又はカルボキシル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい）；低級アル

コキシ基；低級アルキル基、カルボキシル基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアリール基；又は置換されていてもよいシクロアルキル基を示す]を示す。

R^5 は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を示す。

m は 0 又は 1 ~ 6 から選ばれる整数を示す。

R^6 はアリール基；シクロアルキル基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基 [ここで、アリール基、シクロアルキル基及び窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基は、低級アルキル基、ハロゲン原子、水酸基、低級アルコキシ基、アミノ基、カルボキシル基又は低級アルコキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい]を示す。

R^7 は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、メルカプト基、低級アルキルチオ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y')$ ， $R^{12'}$ [ここで、 Y' は酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13'}-$ ；又は $-NR^{13'}-SO_2-$ ($R^{13'}$ は水素原子；低級アルキル基；アラルキル基；水酸基；低級アルコキシ基；又はアミノ保護基を示す) を、 p は 0 又は 1 を、 $R^{12'}$ は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基 (ここで、アミノ基は低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい)；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロアルキル基；低級アルキル基、ハロゲン原子、アミノ基、カルボキシル基、水酸基又は低級アルコキシ基から選ばれる置換基で置換されて

いてもよいアリール基；アラルキル基；低級アルキル基、ハロゲン原子、アミノ基、カルボキシル基、水酸基又は低級アルコキシ基から選ばれる置換基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す]を示す。

3. (補正後) 一般式(I)においてR、A、X、M、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、m、R⁶又はR⁷から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第1項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

RはR₁₂；R₁₂で置換されたアルコキシ基；又は低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基〔ここで、R₁₂はアミノ基、グアニジノ基、アミジノ基又はカルバモイル基（これらの基は、低級アルキル基又はアミノ保護基で置換されていてもよい）である〕を示す。

Aは直鎖のアルキレン基；又は単結合を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NR^{8''}-；-CR^{9''}R^{10''}-；-COO-；-OOC-；-NR^{8''}CO-；-CONR^{8''}-；-NR^{8''}SO₂-；-SO₂NR^{8''}-；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基〔ここで、R^{8''}は水素原子；低級アルキル基；又はアミノ保護基を、R^{9''}、R^{10''}は同一又は異なって、水素原子；又は低級アルキル基を示す〕を示す。

Mはアリーレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子（但し、R¹、R²、R³、R⁴の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルコキシ基；又は-O-CO-R^{11''}〔ここで、

R^{1111} はアミノ基、アシルオキシ基又はアラルキルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい）；低級アルコキシ基；低級アルキル基で置換されていてもよいアリール基；又はシクロアルキル基を示す] を示す。

R^5 は水素原子；低級アルキル基；又はアミノ保護基を示す。

m は 1 を示す。

R^6 はアリール基；又はシクロアルキル基 [ここで、アリール基及びシクロアルキル基は、ハロゲン原子又は水酸基で置換されていてもよい] を示す。

R^7 は水素原子；水酸基又は低級アルコキシ基で置換されていてもよい低級アルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y'')$ ， R^{121} [ここで、 Y'' は酸素原子；硫黄原子；又は $-NR^{131}$ — (R^{131} は水素原子；低級アルキル基；水酸基；又はアミノ保護基を示す) を、 p は 0 又は 1 を、 R^{121} は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロアルキル基；ハロゲン原子で置換されていてもよいアリール基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基；アダマンチル基；又はシクロアルキリデンアミノ基を示す] を示す。

4. (補正後) 一般式 (I) において R 、 A 、 X 、 M 、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 m 、 R^6 又は R^7 から選ばれる少なくとも 1 つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第 1 項記載のアミド化合物又は薬学

的に許容される酸付加塩。

Rはアミノ基；アミノ基で置換された低級アルコキシ基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基〔ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい〕を示す。

Aは直鎖のアルキレン基を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NH-；又は-CH₂-を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子（但し、R¹、R²、R³、R⁴の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R^{12''''}〔ここで、R^{12''''}はアミノ基、アシルオキシ基又はベンジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す〕を示す。

R⁵は水素原子を示す。

mは1を示す。

R⁶はフェニル基を示す。

R⁷は-COO-R^{12''''}〔ここで、R^{12''''}は水素原子；水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基；アラルキル基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基；アダマンチル基；又はシクロヘキシリデンアミノ基を示す〕を示す。

5. Mがフェニレン基である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

6. R^7 が $-COO-R^{12} \cdots \cdots$ (ここで、 $R^{12} \cdots \cdots$ は低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシリル基を示す) である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

7. Xが酸素原子又は $-CH_2-$ である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

8. R^6 がフェニル基であり、かつmが1である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

9. Rが低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基、低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

10. (補正後) R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 が同一又は異なって、水素原子(但し、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 の少なくとも一つは水素原子ではない)；水酸基；ハロゲン原子；又は $-O-CO-R^{11} \cdots \cdots$ [ここで、 $R^{11} \cdots \cdots$ は低級アルキル基又はフェニル基を示す] である請求の範囲第4項記載のアミド化合物又は薬学的に許容される酸付加塩。

11. (補正後) 一般式 (I-a)



(式中、Rは R_a ； R_b で置換されたアルコキシ基； R_c で置換されたアルキルチオ基； R_d で置換されたアルキルアミノ基；置換されていてもよい窒素含有非芳香族複素環基；又は水酸基 [ここで、 R_e はアミノ基、グアニジノ基、アミジ

ノ基、カルバモイル基、ウレイド基、チオウレイド基、ヒドラジノ基、ヒドラジノカルボニル基又はイミノ基（これらの基は、低級アルキル基、ハロゲン化低級アルキル基、シクロアルキル基、アラルキル基、アリール基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよい）である]を表し、

Aは鎖中に1以上の二重結合又は三重結合を有していてもよい直鎖又は分岐状のアルキレン基；又は単結合を表し、

Xは酸素原子；硫黄原子； $-NR^8-$ ； $-SO-$ ； $-SO_2-$ ； $-CR^9R^{10}-$ ； $-C=C-$ ； $-C\equiv C-$ ； $-CO-$ ； $-COO-$ ； $-OOC-$ ； $-NR^8CO-$ ； $-CONR^8-$ ； $-NR^8SO_2-$ ； $-SO_2NR^8-$ ； $-CS-$ ； $-COS-$ ； $-O-CO-O-$ ； $-NR^8-COO-$ ； $-OOC-NR^8-$ ； $-NH-CO-NH-$ ； $-NH-CS-NH-$ ； $-NH-C(=NH)-NH-$ ；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、 R^8 は水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、 R^9 、 R^{10} は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；又はアラルキル基を示す〕を表し、

Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 は同一又は異なって、水素原子（但し、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は $-O-CO-R^{11}$ 〔ここで、 R^{11} はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリール

オキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキシカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていてもよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す]を表す）で表されるカルボン酸化合物。

12. (補正後) 一般式 (I-a) においてR、A、X、M、R¹、R²、R³又はR⁴から選ばれる少なくとも1つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第11項記載のカルボン酸化合物。

Rはアミノ基；アミノ基で置換された低級アルコキシ基；低級アルキル基で置換されていてもよいピペラジニル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基〔ここで、アミノ基は低級アルキル基で置換されていてもよい〕を示す。

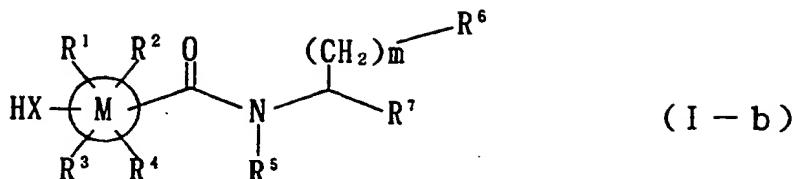
Aは直鎖のアルキレン基を示す。

Xは酸素原子；硫黄原子；-NH-；又は-CH₂-を示す。

Mはアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子（但し、R¹、R²、R³、R⁴の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；又は-O-CO-R¹¹¹¹¹〔ここで、R¹¹¹¹¹はアミノ基、アシルオキシ基又はベニジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基；又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す〕を示す。

13. (補正後) 一般式 (I-b)



[式中、Xは酸素原子；硫黄原子；-NR⁸-；-SO-；-SO₂-；-CR⁹R¹⁰-；-C=C-；-C≡C-；-CO-；-COO-；-OOC-；-NR⁸CO-；-CONR⁸-；-NR⁸SO₂-；-SO₂NR⁸-；-CS-；-COS-；-O-CO-O-；-NR⁸-COO-；-OOC-NR⁸-；-NH-CO-NH-；-NH-CS-NH-；-NH-C(=NH)-NH-；窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する2価の芳香族複素環基；又はシクロアルキレン基〔ここで、R⁸は水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；アラルキル基；又はアミノ保護基を、R⁹、R¹⁰は同一又は異なって、水素原子；アルキル基；シクロアルキル基；アリール基；又はアラルキル基を示す〕を表し、Mはアリーレン基；シクロアルキレン基；又は窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有し、かつ縮合環を形成してもよい2価の複素環基を表し、R¹、R²、R³、R⁴は同一又は異なって、水素原子（但し、R¹、R²、R³、R⁴の少なくとも一つは水素原子ではない）；水酸基；ハロゲン原子；水酸基、低級アルコキシ基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基；アルコキシ基；メルカプト基；アルキルチオ基；アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；ニトロ基；シアノ基；カルボキシル基；アルコキシカルボニル基；アリールオキシカルボニル基；アシル基；又は-O-CO-R¹¹〔ここで、R¹¹はアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アリールオキシカルボニル基、アラルキルオキシ基、アラルキルオキ〕

シカルボニル基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アシル基、低級アルコキシ基、カルボキシル基又はハロゲン原子から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基は低級アルキル基又はアシル基で置換されていてもよい）；置換されていてもよいアルコキシ基；置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよいアリールオキシ基；置換されていてもよいアラルキルオキシ基；置換されていてもよいアルキルチオ基；又は置換されていてもよいアリールチオ基を示す]を表し、R⁵は水素原子；ハロゲン原子で置換されていてもよいアルキル基；置換されていてもよいアラルキル基；又はアミノ保護基を表し、

m は0又は1～6から選ばれる整数を表し、

R^6 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよいシクロアルキル基；置換されていてもよい低級アルコキシ基；置換されていてもよい低級アルキルチオ基；低級アルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアミノ基；又は置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基を表し、

R^7 は置換されていてもよいアリール基；置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する芳香族複素環基；又は $-CO(Y)$ ， R^{12} [ここで、Y は酸素原子；硫黄原子； $-NR^{13}-$ ；又は $-NR^{13}-SO_2-$ (R^{13} は水素原子；アルキル基；アラルキル基；水酸基；アルコキシ基；アリール基；又はアミノ保護基を示す) を、

p は 0 又は 1 を、

$R^{1,2}$ は水素原子；水酸基、アルコキシ基、アルコキシアルコキシ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、カルボキシル基、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる1個以上のヘテロ原子を有する複素環基又はアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基（ここで、アミノ基はアルキル基、アリール基、アラルキル基又はアミノ保護基から選ばれる置換基で置換されてい

てもよい) ; 置換されていてもよいアルケニル基 ; 置換されていてもよいアルキニル基 ; 置換されていてもよいシクロアルキル基 ; 置換されていてもよいアリール基 ; 置換されていてもよいアラルキル基 ; 置換されていてもよく、かつ窒素原子、硫黄原子又は酸素原子から選ばれる 1 個以上のヘテロ原子を有する複素環基 ; アダマンチル基 ; 又はシクロアルキリデンアミノ基を示す] を表す] で表されるアミド化合物。

14. (補正後) 一般式 (I - b) において X、M、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、m、R⁶ 又は R⁷ から選ばれる少なくとも 1 つの記号が、下記定義を満足するものであることを特徴とする請求の範囲第 13 項記載のアミド化合物。

X は酸素原子 ; 硫黄原子 ; 又は -NH- を示す。

M はアリーレン基を示す。

R¹、R²、R³、R⁴ は同一又は異なって、水素原子 (但し、R¹、R²、R³、R⁴ の少なくとも一つは水素原子ではない) ; 水酸基 ; ハロゲン原子 ; 又は -O-CO-R^{12''''} [ここで、R^{12''''} はアミノ基、アシルオキシ基又はベニジルオキシカルボニル基から選ばれる置換基で置換されていてもよい低級アルキル基 ; 又は低級アルキル基で置換されていてもよいフェニル基を示す] を示す。

R⁵ は水素原子を示す。

m は 1 を示す。

R⁶ はフェニル基を示す。

R⁷ は -COO-R^{12''''} [ここで、R^{12''''} は水素原子 ; 水酸基、低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基、低級アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ピペラジニル基、又は低級アルキル基で置換されていてもよいアミノ基から選ばれる置換基で置換されていてもよいアルキル基 ; 低級アルキル基で置換されていてもよいシクロヘキシル基 ; アラルキル基 ; 低級アルキル基で置換されていてもよいピペリジル基 ; アダマンチル基 ; 又はシクロヘキシリデンアミノ基を示す] を示す。

15. 薬学的に許容される担体及び請求の範囲第1～10項のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を含んでなる医薬組成物。

16. 請求の範囲第1～10項のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を有効成分とする炎症性サイトカイン産生抑制剤。

17. 請求の範囲第1～10項のいずれかに記載のアミド化合物又はその薬学的に許容される酸付加塩を有効成分とする炎症性疾患の為の治療又はその予防薬。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP96/02305

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. Cl⁶ C07C235/60, 279/08, C07D211/34, 241/04, 295/08, 295/10, 263/58, 271/06, A61K31/215, 31/445, 31/495

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl⁶ C07C235/60, 279/08, C07D211/34, 241/04, 295/08, 295/10, 263/58, 271/06, A61K31/215, 31/445, 31/495

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

CAS ONLINE

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 63-238051, A (Showa Denko K.K., Yusuke Okamoto), October 4, 1988 (04. 10. 88), Claim; pages 5 to 11 (Family: none)	1-3, 11, 12, 15, 17
A	JP, 63-239256, A (Showa Denko K.K., Yusuke Okamoto), October 5, 1988 (05. 10. 88), Claim; pages 6 to 16, 20 to 22 (Family: none)	4-10, 16
X	JP, 48-18241, A (Imperial Chemical Industries Ltd.), March 7, 1973 (07. 03. 73), Claim; page 2; page 5, lower left column; page 8, upper left column & GB, 1391444, A & CH, 573393, A & CH, 575908, A	1-3, 11, 12, 15, 17
A		4-10, 16
X		1-3, 13, 15, 17
A		14, 16

Further documents are listed in the continuation of Box C.

See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

- "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- "E" earlier document but published on or after the international filing date
- "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

November 7, 1996 (07. 11. 96)

Date of mailing of the international search report

November 19, 1996 (19. 11. 96)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Faxsimile No.

Authorized officer

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. C1⁶ C07C235/60, 279/08, C07D211/34, 241/04, 295/08, 295/10, 263/58, 271/06, A61K31/215, 31/445, 31/495

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. C1⁶ C07C235/60, 279/08, C07D211/34, 241/04, 295/08, 295/10, 263/58, 271/06, A61K31/215, 31/445, 31/495

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

CAS ONLINE

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP, 63-238051, A (昭和電工株式会社, 岡本彰祐) 4. 10月. 1988 (04. 10. 88) 特許請求の範囲, 第5-11頁 (ファミリーなし)	1-3, 11, 12, 15, 17
A		4-10, 16
X	JP, 63-239256, A (昭和電工株式会社, 岡本彰祐) 5. 10月. 1988 (05. 10. 88) 特許請求の範囲, 第6-16, 20-22頁 (ファミリーなし)	1-3, 11, 12, 15, 17
A		4-10, 16
X	JP, 48-18241, A (インペリヤル・ケミカル・インダストリーズ・ リミテッド) 7. 3月. 1973 (07. 03. 73) 特許請求の範囲, 第2頁, 第5頁左下欄, 第8頁左上欄 &GB, 1391444, A &CH, 573393, A &CH, 575908, A	1-3, 13, 15, 17
A		14, 16

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

07. 11. 96

国際調査報告の発送日

19.11.96

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

今村 玲英子

印 4H 9547

電話番号 03-3581-1101 内線 3444

